

令和3年第1回 湯沢市教育委員会議事録

開会日時	令和3年1月22日（金） 午後2時00分
閉会日時	令和3年1月22日（金） 午後2時55分
場 所	湯沢市役所本庁舎 4階 会議室44
出席者	教育長 和田 隆彦 教育委員 議席番号1 芳賀 誠 教育委員 議席番号2 後藤 美喜子 教育委員 議席番号3 阿部 和榮 教育委員 議席番号4 佐藤 恵
欠席者	なし
出席職員	教育部長 佐藤 司 教育総務課長 高橋 一 学校教育課長 寺田 玲子 生涯学習課長 藤山 英信 生涯学習課社会教育班長 谷藤真希子 生涯学習課スポーツ振興班長 石川 一光 湯沢図書館館長 高山 見美子 教育総務課総務班長（書記） 木村 了
傍聴人	なし

【会議に提出された議案】

- 議案第1号 第4次湯沢市社会教育中期計画の策定について
- 議案第2号 第4次湯沢市スポーツ推進計画の策定について
- 議案第3号 第2次湯沢市子ども読書活動推進計画の策定について

【前回議事録の承認】

今回承認を要する議事録なし

【議事録署名委員の指名】

教育長が議事録署名委員として議席番号1番及び2番の委員を指名した。

【教育長の報告】

- ・令和3年度入学の児童生徒数について
- ・卒業式・入学式の実施内容について
- ・市校長会について

令和3年第1回 湯沢市教育委員会議事録

【議 事】

○議案第1号 第4次湯沢市社会教育中期計画の策定について

(生涯学習課長が資料に基づき説明)

<質疑等>

委員	パブリックコメントが寄せられなかったのは残念である。充実した中身の計画であり、社会の動きやいろいろな事案に臨機応変に対応して取り組んでもらえたらいいと思う
委員	この内容でよろしいと思う。

○議案第2号 第4次湯沢市スポーツ推進計画の策定について

(生涯学習課長が資料に基づき説明)

<質疑等>

委員	スポーツ環境の整備は非常に大事だと思っており、基本施策2「市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備」に関して、総合型地域スポーツクラブの活動を充実させ、人のつながりを強くし、それにより地域が活性化すると考える。 高齢者が多い地域であり、スポーツを通じた人とのつながり、仲間づくり、安心できる場の提供が可能となる体制が構築できればいいと思っているが、その役割を担える総合型地域スポーツクラブの更なる充実を目指してほしい。
生涯学習課長	今後も総合型地域スポーツクラブの育成に努めていく。コロナ禍で活動に制限があったが、感染対策を講じた上でスポーツ活動が継続できるよう支援していく。
委員	基本施策4「スポーツを活用した地域づくり」は予算の掛かる事業だと思うが、地域に活力を与える非常に大事なことであるので、予算を確保できるようがんばってもらいたい。
生涯学習課長	地域に与える影響は大きいと考えており、「する」だけでなく「見る」「支える」スポーツ振興も続けていきたい。

○議案第3号 第2次湯沢市子ども読書活動推進計画の策定について

(生涯学習課長が資料に基づき説明)

<質疑等>

委員	情報提供の仕方を充実させられたらと思っている。コロナ禍で「家読(うちどく)」の時間が増えている。今回図書館にい
----	---

令和3年第1回 湯沢市教育委員会議事録

	<p>い本があることを再確認した。外での活動が制限されている状況なので、もっと多く利用してもらいたいと思う。</p> <p>図書館まで来るのが難しい人向けに、例えば各支所などへの配本は行っているだろうか。</p>
湯沢図書館長	<p>各支所への配本は行っていないが、希望のあった学校への配本や、閉校する三関小、須川小児童の読書の歩みを止めないための特別配本などを行っている。</p> <p>また、老人施設等に配本車で訪問し、読書機会を提供しているが、図書館に来ることができない人たちへの対応に関しては課題だと考えている。</p>
委員	<p>計画書の表紙にある「本を開くたび、こころが育つ」という言葉を声を大にして呼び掛けていきたいと思う。</p>

議案等の処理結果

議案等の番号	件 名	議決結果
議案第1号	第4次湯沢市社会教育中期計画の策定について	可 決
議案第2号	第4次湯沢市スポーツ推進計画の策定について	可 決
議案第3号	第2次湯沢市子ども読書活動推進計画の策定について	可 決

令和3年 第1回 湯沢市教育委員会

日 時 令和3年1月22日(金) 午後2時
場 所 市役所本庁舎4階 会議室44

会 議 次 第

1. 開 会

2. 前議事録の承認

※議事録署名委員の指名（2名）

3. 教育長の報告

4. 議 事

議案第1号 第4次湯沢市社会教育中期計画の策定について

議案第2号 第4次湯沢市スポーツ推進計画の策定について

議案第3号 第2次湯沢市子ども読書推進計画の策定について

5. 協議・報告

6. そ の 他

7. 閉 会

令和3年 第1回 湯沢市教育委員会 提出案件

議案第1号 第4次湯沢市社会教育中期計画の策定について

議案第2号 第4次湯沢市スポーツ推進計画の策定について

議案第3号 第2次湯沢市子ども読書推進計画の策定について

議事録署名委員

1番 芳賀 誠 委員

2番 後藤 美喜子 委員

議案第1号

第4次湯沢市社会教育中期計画の策定について

次のとおり第4次湯沢市社会教育中期計画を策定することについて、教育委員会の議決を求める。

令和3年1月22日提出

湯沢市教育委員会教育長 和田 隆彦

記

- 1 計画の名称 第4次湯沢市社会教育中期計画
- 2 計画の内容 別紙第4次湯沢市社会教育中期計画（案）のとおりに
- 3 計画の期間 令和3年度から令和7年度まで

提案理由

教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第2項の規定に基づき、社会教育中期計画を策定するものです。

議案第2号

第4次湯沢市スポーツ推進計画の策定について

次のとおり第4次湯沢市スポーツ推進計画を策定することについて、教育委員会の議決を求める。

令和3年1月22日提出

湯沢市教育委員会教育長 和田 隆彦

記

- 1 計画の名称 第4次湯沢市スポーツ推進計画
- 2 計画の内容 別紙第4次湯沢市スポーツ推進計画（案）のとおりに
- 3 計画の期間 令和3年度から令和7年度まで

提案理由

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項の規定に基づき、地域スポーツ計画を策定するものです。

議案第3号

第2次湯沢市子ども読書活動推進計画の策定について

次のとおり第2次湯沢市子ども読書活動推進計画を策定することについて、教育委員会の議決を求める。

令和3年1月22日提出

湯沢市教育委員会教育長 和田 隆彦

記

- 1 計画の名称 第2次湯沢市子ども読書活動推進計画
- 2 計画の内容 別紙第2次湯沢市子ども読書活動推進計画（案）のとおりに
- 3 計画の期間 令和3年度から令和7年度まで

提案理由

子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項の規定に基づく子ども読書活動推進計画を策定する。

(案)

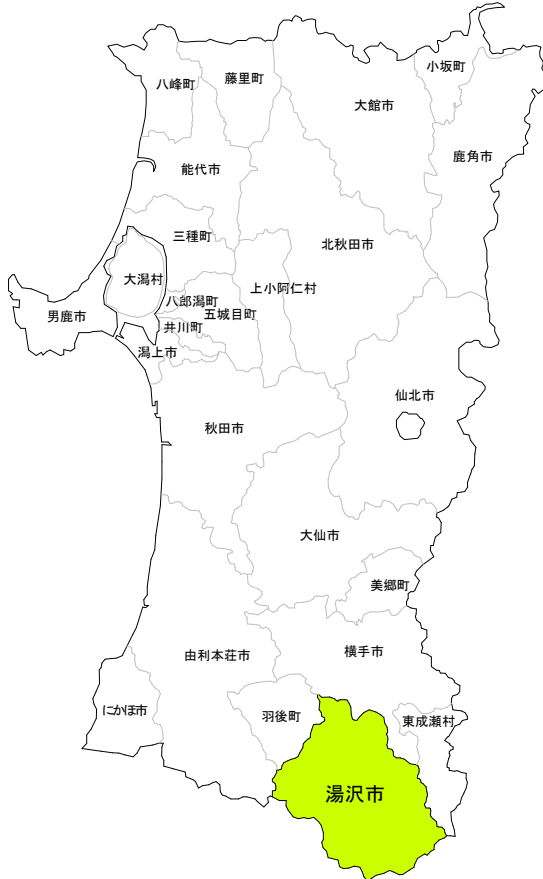
第 4 次 湯沢市社会教育中期計画

(令和 3 年度～令和 7 年度)

令和 3 年 月
湯沢市教育委員会



湯沢市の概要



位置・地勢

湯沢市は、山形県、宮城県に隣接する秋田県の最南東部に位置し、県都秋田市へは直線距離で約70km、宮城県仙台市へも同じく約95kmに位置しています。隣接する両県とは国道13号、108号及び398号で結ばれており、秋田県の南の玄関口となっています。

また面積は790.91km²で秋田県の面積の約6.8%を占めています。

東方の奥羽山脈、西方の出羽丘陵に囲まれた横手盆地を貫流する雄物川と、その支流である皆瀬川、役内川沿いに豊かな水田地帯を形成しています。県境付近の西栗駒一帯は、雄大な自然林を有しているほか、豊富な温泉群にも恵まれています。

気象は、内陸性で気温の差が大きく、四季折々の自然美を見せてくれます。

歴史

この地域には古くから人が住み、縄文時代の遺跡が多数発掘されています。

平安期の謎に包まれた才女「小野小町」は湯沢市小野が生誕地と言われ、岩屋洞などの多くの史跡や伝承が守り継がれています。

鎌倉時代の後期、小野寺氏が稲庭城を築き、長きにわたり統治したと言われ、関ヶ原の戦いの後、1602年には佐竹領となり、市内各所に小野寺氏、佐竹氏の時代から伝わる祭りや文化財などが多く見られます。

1602年の佐竹氏秋田入部にともなって、佐竹南家義種が城代として湯沢城に入城以来、湯沢は佐竹南家の城下町としてその街並みが形成されました。1606年には院内銀山が発見され、藩直営の銀山として繁栄し、最盛期には銀山の人口が15,000人を数えました。明治38年には奥羽本線が全線開通し、昭和38年に皆瀬ダムが完成、平成8年に国道108号鬼首道路、平成9年に湯沢横手道路が開通し、生活基盤の整備が進みました。

目 次

ページ

第1章 総論

第1節 策定の趣旨	1
第2節 計画の期間	1

第2章 基本計画

第1節 基本理念	2
1 基本理念	2
2 基本目標	2
3 基本計画の推進施策	2
4 重点方針	3

第3章 具体的計画

第1節 計画内容	5
第2節 計画策定の視点	6
第3節 具体的目標と施策	9
1 生涯学習推進体制の整備	9
2 生涯学習環境の整備	11
3 生涯学習活動の展開	13
4 芸術文化活動の展開	15

第4章 具体的目標・施策に対する評価

第1節 具体的目標・施策における年次計画及び評価	17
1 年次計画と評価	17
2 年度評価表	21
3 補助様式	25

資料編	26
-----	----

第1章 総論

第1節 策定の趣旨

近年、少子高齢化やグローバル化、情報化の進展による社会の変化は著しく、政府が進める経済政策や地方創生、さらには、新たな脅威となる新型コロナウイルス等の出現による生活様式の急激な変化などにより、私たちを取り巻く社会情勢は、加速的に様変わりし続けており、私たちの地域社会や家庭生活にも大きな影響を及ぼしています。

さらに、物質的な豊かさよりも、個々の生活の質の向上や個人のニーズに合わせた多様な体験等を求める新たな価値観が社会に浸透してきています。

また、平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている「SDGs（持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals））」では、持続可能な世界を実現するための17のゴールのひとつとして「4 質の高い教育をみんなに — すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」ことが掲げられています。

「人生100年時代」を迎えるにあたり、市民一人ひとりが生涯にわたって目標や生きがいを持ち、自分らしく潤いのある人生を送ることはますます大切となっており、生涯学習の重要性は一層高まっています。

第4次社会教育中期計画策定にあたっては、平成28年度から平成32（令和2）年度までの第3次社会教育中期計画における施策の検証や客観的な評価等を踏まえ、現状と課題を的確に把握し5か年で取り組む具体的な目標を定めることで、真の生涯学習社会の実現を目指し、本市が目指す^{エネルギー}熱あふれる豊かな地域社会の構築へと結び付けていきます。

このような観点に立ち、体系的な施策の推進と組織の機能向上を目指し令和3年度からの5か年を展望する具体的施策を掲げて、社会教育事業推進の指針となる「社会教育中期計画」を策定します。

第2節 計画の期間

この計画は、令和3年度から令和7年度までの5か年とします。

第2章 基本計画

第1節 基本理念

1 基本理念

第2次湯沢市総合振興計画（平成29年度から令和8年度までの10か年。以下「総合振興計画」という。）では、市の将来像を「人のつながりで磨かれる、^{エネルギー}熱あふれる美しいまち」とし、3つの基本理念を掲げています。

- (1) 安心と幸せがある、豊かなまちへ育てる
- (2) 地域を誇れる、存在感のあるまちへ育てる
- (3) 可能性が広がる、夢が生まれるまちへ育てる

2 基本目標

将来像の実現に向けて、総合振興計画基本計画（平成29年度から令和3年度までの5か年。以下「基本計画」という。）には次の基本目標が掲げられ、市が取り組む施策の方向性が示されています。

- (1) みんなの信頼で築く丈夫なまち
- (2) 健康と暮らしを共に支え合う笑顔があふれるまち
- (3) ふるさとの技が光る、存在感あふれるまち
- (4) あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち
- (5) 豊かな自然が輝く安全で暮らしやすいまち

この5つの基本目標のうち「(4) あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち」を本市社会教育の目指す方針とします。

3 基本計画の推進施策

基本計画には、基本目標である「あたたかな心と豊かな文化で人が集うまち」の実現のための推進施策として、次のことが掲げられています。

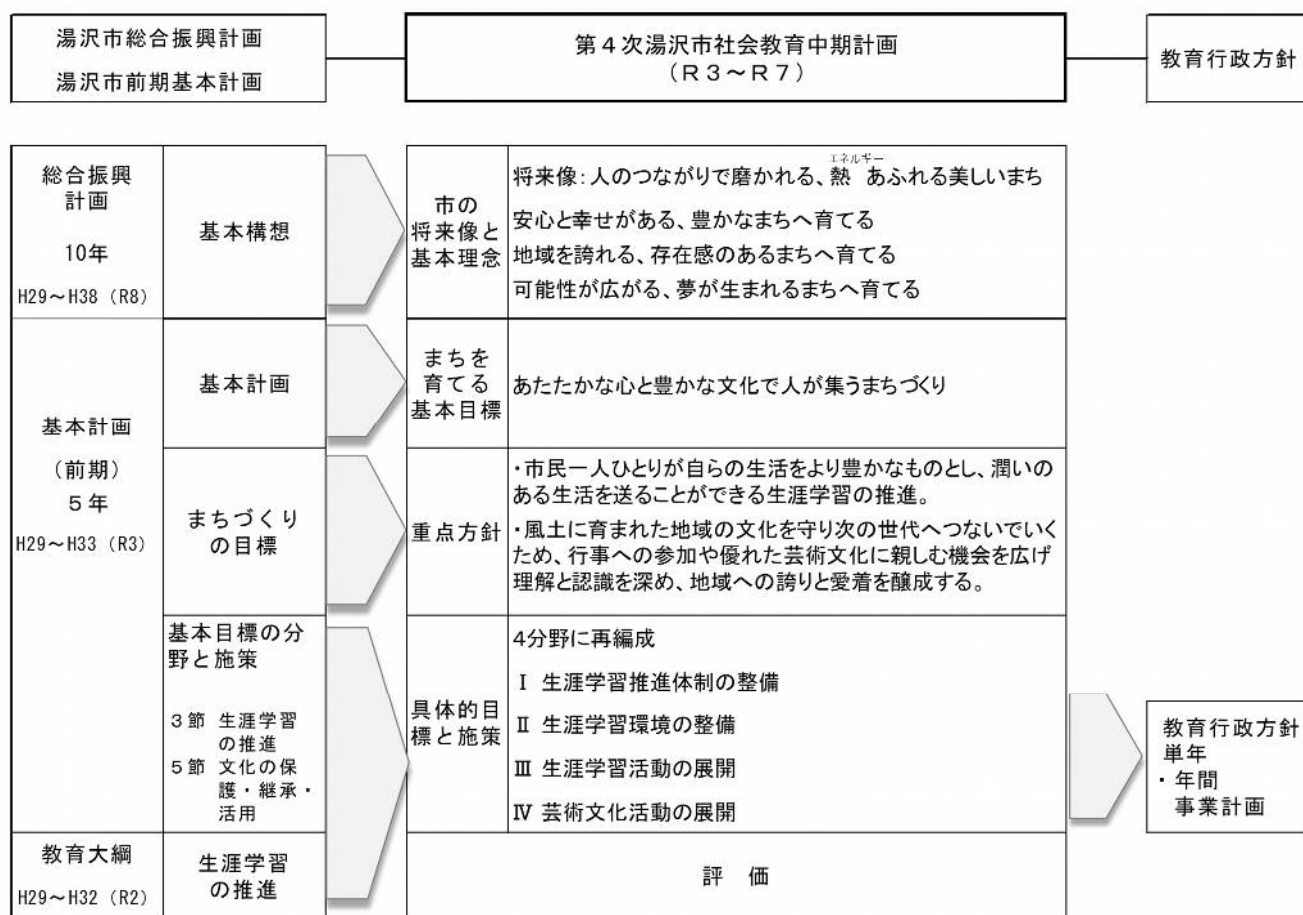
(1) 生涯学習の推進

- ・ 生涯学習推進体制の整備
- ・ 生涯学習環境の整備
- ・ 生涯学習活動の展開

(2) 文化の保護・継承・活用

- ・ 地域の伝統行事の継承と文化活動の活性化

第4次社会教育中期計画と他計画との関係



4 重点方針

市民一人ひとりが生涯にわたって自分らしく生き生きと学び、地域課題解決に取り組み豊かな人生を送ることができる生涯学習の推進と、だれもが芸術文化に親しみ、地域に根付く芸術文化活動の継承・発展や新たな活動の創出に主体的に参加できる機会の提供を本

計画の重点方針とします。

また、国や県の社会教育に関する法令や各種施策、中央教育審議会の各種答申等との整合性も図りながら、総合振興計画に掲げる市のあるべき姿の実現を目指します。

なお、学校教育の充実、スポーツの振興及び文化財の保護・活用に関することについては、教育行政方針や第4次スポーツ推進計画、文化財保存活用地域計画など個々に推進目標が定められており本計画からは除かれます。



第3章 具体的計画

第1節 計画内容

本計画では、第2章 基本計画 の推進施策と重点方針に基づき、次のとおり具体的目標を定めます。

1 生涯学習推進体制の整備

- ①市民と行政の協働体制の促進
- ②生涯学習推進本部体制の充実
- ③学習活動の支援と生涯学習指導者の活用
- ④読書活動推進体制の充実

2 生涯学習環境の整備

- ①社会教育施設の整備と学習設備の充実
- ②既存施設の有効活用と利用促進施策の推進
- ③市組織間の連携強化による生涯学習環境の充実

3 生涯学習活動の展開

- ①家庭教育支援の推進
- ②青少年健全育成の推進
- ③成人期の生涯学習への支援強化
- ④人生100年時代を見据えたキャリア形成支援の推進
- ⑤共生社会の実現に向けた学習活動の推進

4 芸術文化活動の展開

- ①芸術文化を学習する機会の提供と支援

- ②芸術文化に触れる機会と情報発信の拡充
- ③「音楽のまち“ゆざわ”」の推進

第2節 計画策定の視点

本計画は以下の4つの基本的な視点により取り組みます。

1 生涯学習推進への取り組み

市町村合併後15年が経過した本市の教育行政の推進にあたっては、それぞれの地域の特色を生かしつつ、地域間の連携も図りながら、優れた人材をはじめとする豊かな地域資源を最大限に活用することで、市全域にわたる効果の浸透と施策の質の向上を目指します。

「まちづくりは人づくり」と言われるとおり、豊かな生涯学習社会は、地域課題の解決による持続可能な地域社会を実現させ、芸術文化の振興に大きな効果をもたらします。

これからの地域社会の発展には、あらゆる場面で地域住民と行政による「共創と協働」が大切です。生涯学習を教育行政のものと限定せず行政全体や地域社会全体のものとして捉え、個人や団体の別なく相互に連携を深めながら、生涯学習に対する意識向上に取り組みます。

2 学校教育を取り巻く変化への対応

持続可能な開発のための教育「ESD(イーエスディー)」の推進のため、現在小中学校の教科書には、「環境」、「エネルギー」、「福祉」、「国際理解」等の内容が盛り込まれ、社会の一員として主体的に生きる力を育むグローバル・シチズン教育や、文化の多様性などの学びが実践されています。

知・徳・体にわたる「生きる力」を育むことを掲げた学習指導要領（平成29年告示）では、子どもたちに求める資質・能力とは何かを学校と社会が共有し連携することの必要性が示され、コミュニティ・スクールの推進等による地域と学校の関わりなど、子どもたちの様々な学びの場面において、学校教育と社会教育の連携はこれまで以上に重要となっています。

また、キャリア教育、インターンシップの導入など学校教育段階から望ましい勤労観、職業観の育成を図ることが重要視されており、市の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略にも、地元企業等と学校が連携したキャリア教育により地元への理解や関心を高め、郷土愛に満ちた人材の育成を図ることが掲げられるなど、社会教育とのつながりがより一層強まってきています。

学校の内外における学習活動の変化に対応しながら、地域社会が子どもたちとの関わりを深め、共に学び合い、生涯にわたる学びの大切さを次世代へ引き継いで行く必要があります。

3 社会情勢の変化への対応

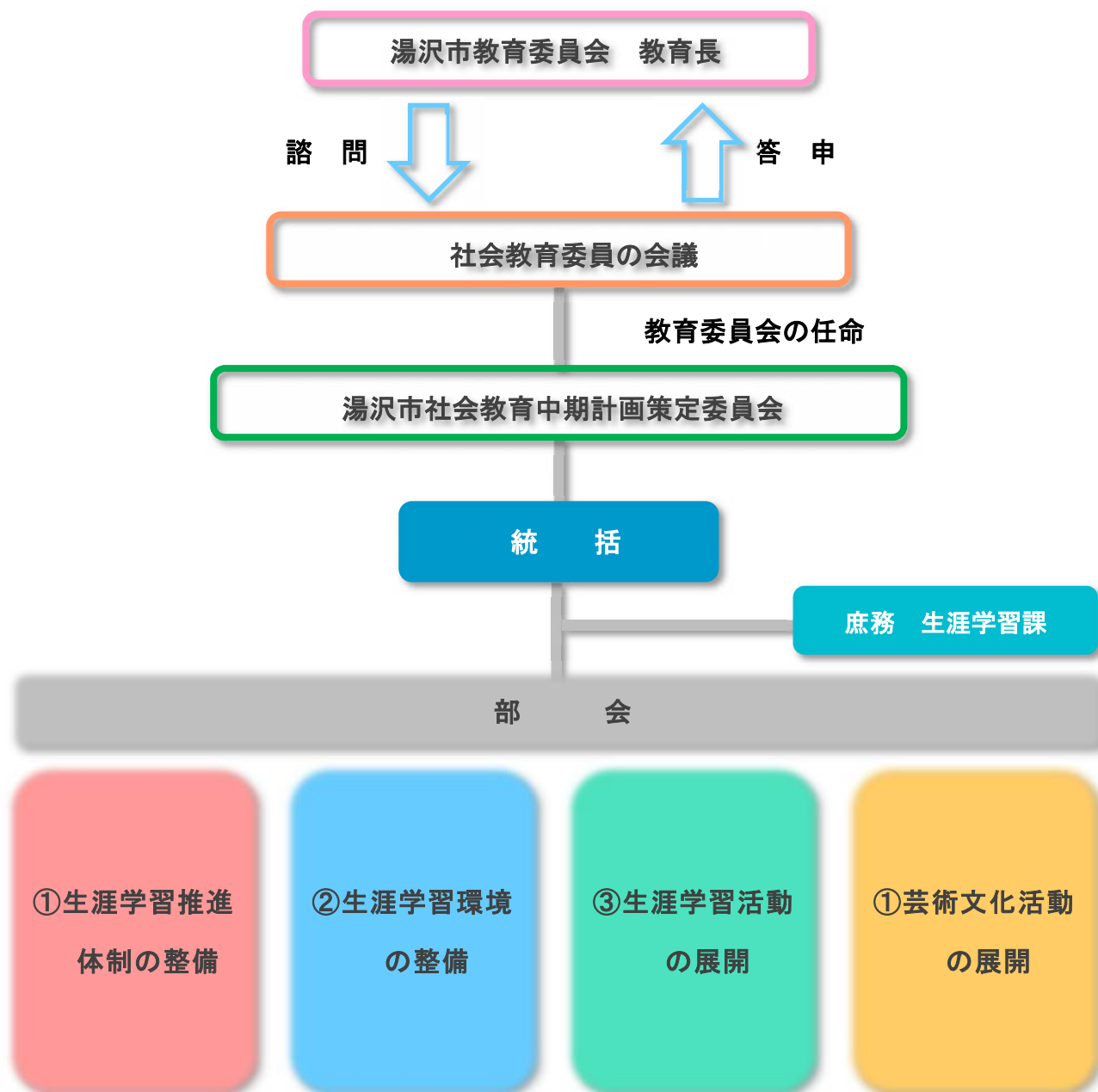
グローバル化や急速な情報化、加速する少子高齢化、働き方・家族のあり方と地域社会の構造変化に伴う子育て環境の変化、多様な価値観の出現により、現代の社会情勢は急激に変わり続けています。新しいメディアの普及により、個人のニーズに合わせた多様な生涯学習機会が得られるようになった反面、読書離れへの影響も指摘されています。市民一人ひとりが生涯にわたって学ぶ喜びを実感し、自らの生活をより豊かで潤いのあるものにしてながら豊かな地域社会を共に創造するためには、時代の要請に応じた、地域課題の解決を目指す生涯学習の取り組みが必要です。

4 年次計画と年度評価

年度毎に年次計画を設定し重点的に取り組む施策を明確にするとともに、各年度の終了後には年度評価を行うことで、本計画が柔軟で即応性のあるものとなるよう努めます。

策定委員会組織図

第4次湯沢市社会教育中期計画策定



第3節 具体的目標と施策

1 生涯学習推進体制の整備

現状・問題点・課題

めまぐるしく変わる近年の社会情勢に加え、予期せぬ自然災害の発生や環境問題、加速する少子高齢化・核家族化に伴う家族のあり方や働き方の変化など、地域課題は複雑化・多様化しています。このような時勢において、市民が地域に参画し学び合う生涯学習が地域社会に果たす役割は更に大きく重要になっています。

時代の要請や変化する市民ニーズに即応した学習機会を提供するためには、各地域の文化や特色を尊重しながら地域間の資源の相互活用を図り、市民・民間企業・行政・学校・生涯学習センターや図書館など地域のあらゆる担い手が、多角的・多層的に連携する体制の構築が必要です。

さらに、市の各部局が横断的に連携する「生涯学習推進本部」がより実効性のあるものとなるよう、体制を強化して行かなくてはなりません。

加えて、情報化社会の中であって、読書によって育まれる「豊かな心」と「知識を身に付け活用していく能力」はますます重要となっており、読書活動の推進体制を更に充実させていく必要があります。

人生100年時代を迎えるにあたり、「いつでも、どこでも、だれでも」が生涯自分らしい学びを継続し地域へ還元できる仕組みをつくり、地域課題の解決に取り組むことで世代を越えてすべての市民が生き生きと活躍できる豊かな生涯学習社会を実現し、総合振興計画に掲げる「^{エネルギー}熱 あふれる美しいまち」を目指します。

具体的目標	具体的な施策
①市民と行政の協働体制の促進	◆生涯学習センター等を拠点として、生涯学習や地域課題解決の取り組みへの支援体制の充実を図ります。 ◆地域学校協働活動により、学校・家庭・地域を取り巻く

	<p>人材や各組織のネットワークの強化を図ります。</p> <p>◆関係機関との連携等により、障害者の生涯学習への支援体制の充実を図ります。</p>
②生涯学習推進本部体制の充実	◆市組織の部局を越えた連携を強化し、事業の相互活用と生涯学習情報の共有を推進します。
③学習活動の支援と生涯学習指導者の活用	◆学習者と指導者をつなぐ「生涯学習人材バンク」等の充実を図り、時代の要請や市民ニーズに対応した学習機会の提供を推進します。
④読書活動推進体制の充実	◆公立図書館・学校図書館やボランティア等、読書に関わる様々な機関や人材が相互連携し読書機会の提供に努めます。



2 生涯学習環境の整備

現状・問題点・課題

社会教育施設は、子どもから高齢者までの個人や各種団体に活用されていますが、核家族化等の家族構成の変化や、人口減少と高齢化に伴う地域コミュニティ機能の低下による地域の住民同士のつながりの希薄化等により、特定の利用者が繰り返し利用する反面、インターネット等を活用した生涯学習環境の多様化を背景に、若年世代の利用率は低下するなど、利用者が固定化される傾向にあります。

また、生涯学習事業の一部においては、人口に比例して参加者数の減少が見受けられます。

市公共施設再編計画に基づき社会教育施設の適切な維持管理を行うほか、市民の更なる学習意欲の向上と新たな施設利用者の確保のため、時代のニーズに応じた新たな学習方法にも対応した快適な学習環境が求められています。

市組織間の連携強化と事業の合同化・合理化を図り、令和新時代にふさわしい事業内容と実施方法を模索するとともに、施設の相互利用等により利用者のニーズに合わせた会場を提供していく必要があります。

具体的目標	具体的な施策
①社会教育施設の整備と学習設備の充実	<ul style="list-style-type: none">◆市公共施設再編計画により、社会教育施設の適切な保全と計画的な改修を進めます。◆市民のニーズに対応した快適な学習環境の整備に努めます。
②既存施設の有効活用と利用促進施策の推進	<ul style="list-style-type: none">◆地域の特性と施設の特徴を生かした事業の充実を図ります。◆多様な学習機会の提供・充実に努めます。◆新しいつながりを生むきっかけとなる情報提供やPRに努めます。

③市組織間の連携強化による生涯学習環境の充実

- ◆生涯学習推進本部機能の充実により、多様な学習環境の提供を図ります。
- ◆学習活動がより効果的になるよう関係する市組織間の連携強化に努めます。



3 生涯学習活動の展開

現状・問題点・課題

家庭を取り巻く環境は複雑多様化し、核家族化の進行、少子化や地縁的つながりの希薄化等を背景として、子育ての悩みや不安を抱えた保護者の孤立が懸念されています。

また、目まぐるしく変化する社会情勢に対応して多様化した就労形態は、従来の方式で提供される生涯学習事業への参加を難しくしています。

家庭のあり方や働き方の変化により、支援を必要とする市民の実態や求められる学習支援は一層多様化する傾向にあります。すべての人が心豊かな人生を送ることができる生涯学習社会を実現するためには、幅広い世代のニーズを的確に把握する必要があります。

学校・家庭・地域が連携を強化し、気軽に相談できる体制の確立や関係機関等と保護者を繋ぐネットワークの構築、現代社会の実情に即した学習機会の提供により、社会的な孤立の解消と防止に努めるとともに学びを通じた社会参画の促進を図る必要があります。

具体的目標	具体的な施策
①家庭教育支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆関係機関と連携し、官民一体となった子育て支援事業を推進し、家庭教育力向上を図ります。 ◆保護者の学び合いの機会等、子育て支援事業や家庭教育に関する情報提供に努め、相談体制の充実を図ります。 ◆SNS等を活用した家庭教育ネットワークの構築に努めます。
②青少年健全育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域学校協働活動事業を活用した学校・家庭・地域が連携して取り組む多様な体験活動の推進と機会の提供に努めます。 ◆ボランティア活動の機会を提供し、地域社会に参画する

	<p>活動を推奨します。</p> <p>◆安全・安心な暮らしの確保のため、青少年関係団体が行う事業や活動を支援します。</p> <p>◆コミュニティ・スクールとの連携充実を図り、地域学校協働活動を推進します。</p>
③成人期の生涯学習への支援強化	<p>◆就労実態に配慮した学習機会の提供に努めます。</p> <p>◆社会活動への参加促進を図ります。</p> <p>◆ニーズを的確に捉えた教室や講座の開設に努めます。</p>
④人生100年時代を見据えたキャリア形成支援の推進	<p>◆長年培った技術や経験、豊かな知識を生かす場や機会の提供に努めます。</p> <p>◆地域づくり等の社会参画を奨励・支援します。</p> <p>◆生きがいを感じて学べる場や自己実現に向けて学べる機会の提供に努めます。</p>
⑤共生社会の実現に向けた学習活動の推進	<p>◆社会情勢の変化から生じる地域の課題を的確に把握し、基本的人権の尊重を念頭においた平等な学習機会の提供に努めます。</p> <p>◆異文化、異世代交流による相互理解の促進を図ります。</p>



4 芸術文化活動の展開

現状・問題点・課題

市民の豊かな心の醸成を図り、芸術文化に触れられる機会を提供していますが、事業の分野及び参加者の年齢層が限られており、固定化してきています。幅広い世代の市民がより多く参加できるよう、より工夫を凝らした事業の企画と、積極的な情報発信が求められます。

平成20年に宣言した「音楽のまち“ゆざわ”」の認知度は、音楽のまちゆざわ推進協議会の設立、行政と市民が一体となった事業の実施により年々向上し、音楽を愛する環境づくりが進んでいます。市民のだれもが「音楽のまち“ゆざわ”」をより実感できるよう活動への支援を継続するとともに、更に効果的な情報提供を図り、音楽があふれる明るいまちづくりを推進していく必要があります。

また、芸術文化団体の活動を支援することにより、市民が継続して学習できる機会を提供していますが、その学習者は高齢化や固定化し、減少傾向にあります。

幅広い世代の市民が、芸術文化活動により多く参加できるよう、市民ニーズを反映した事業の企画が一層求められます。

具体的目標	具体的な施策
①芸術文化を学習する機会の提供と支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆芸術文化への理解と関心を高めるため、成人はもとより子どもたちにも、優れた芸術を鑑賞する機会や、学習の成果を発表する場を提供します。 ◆芸術文化団体に関する情報の提供と活動支援を行います。
②芸術文化に触れる機会と情報発信の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ◆幅広い分野の芸術文化を鑑賞する機会や、子どもから成人まで多くの市民が事業に参加する機会を提供するため、各種公演や民間との共催による事業を拡充します。 ◆子どもの芸術文化への関心を高めるため、学校と連携し

	<p>情報共有を行います。</p> <p>◆ SNS等の活用により積極的に情報を発信し、優れた芸術や文化活動に親しむ機会を広げ、芸術文化に対する市民の意識の高揚を図ります。</p>
<p>③「音楽のまち“ゆざわ”」の推進</p>	<p>◆ 音楽のまちゆざわ推進協議会への活動支援と、市民への情報提供を行います。</p> <p>◆ 「音楽のまち“ゆざわ”」に関する環境づくりを進め、音楽活動の促進を図ります。</p>



第4章 具体的目標・施策に対する評価

第1節 具体的目標・施策における年次計画及び評価

1 年次計画と評価

1. 生涯学習推進体制の整備

【計画／年度 重点…◎ 継続…○ 検討・準備…□】

目 標	施 策	年次計画と評価											
		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		総合評価	
		計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価
①市民と行政の協働体制の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習センター等を拠点として、生涯学習や地域課題解決の取り組みへの支援体制の充実を図ります。 ◆地域学校協働活動により、学校・家庭・地域を取り巻く人材や各組織のネットワークの強化を図ります。 ◆関係機関との連携等により、障害者の生涯学習への支援体制の充実を図ります。 												
②生涯学習推進本部体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆市組織の部局を越えた連携を強化し、事業の相互活用と生涯学習情報の共有を推進します。 												
③学習活動の支援と生涯学習指導者の活用	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習者と指導者をつなぐ「生涯学習人材バンク」等の充実を図り、時代の要請や市民ニーズに対応した学習機会の提供を推進します。 												
④読書活動推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆公立図書館・学校図書館やボランティア等、読書に関わる様々な機関や人材が相互連携し読書機会の提供に努めます。 												
<令和3年度>		<令和6年度>											
<令和4年度>		<令和7年度>											
<令和5年度>		<総合評価>											

【達成状況評価／5段階評価 5…充分達成できた 4…概ね達成できた 3…まあまあ達成できた 2…あまり達成できなかった 1…全く達成できなかった】

2. 生涯学習環境の整備

【計画／年度 重点…◎ 継続…○ 検討・準備…□】

目 標	施 策	年次計画と評価											
		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		総合評価	
		計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価
①社会教育施設の整備と学習設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆市公共施設再編計画により、社会教育施設の適切な保全と計画的な改修を進めます。 ◆市民のニーズに対応した快適な学習環境の整備に努めます。 												
②既存施設の有効活用と利用促進施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の特性と施設の特徴を生かした事業の充実を図ります。 ◆多様な学習機会の提供・充実に努めます。 ◆新しいつながりを生むきっかけとなる情報提供やPRに努めます。 												
③市組織間の連携強化による生涯学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習推進本部機能の充実により、多様な学習環境の提供を図ります。 ◆学習活動がより効果的になるよう関係する市組織間の連携強化に努めます。 												
<令和3年度>		<令和6年度>											
<令和4年度>		<令和7年度>											
<令和5年度>		<総合評価>											

【達成状況評価／5段階評価 5…充分達成できた 4…概ね達成できた 3…まあまあ達成できた 2…あまり達成できなかった 1…全く達成できなかった】

3. 生涯学習活動の展開

【計画／年度 重点…◎ 継続…○ 検討・準備…□】

目 標	施 策	年次計画と評価											
		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		総合評価	
		計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価
①家庭教育支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆関係機関と連携し、官民一体となった子育て支援事業を推進し、家庭教育力向上を図ります。 ◆保護者の学び合いの機会等、子育て支援事業や家庭教育に関する情報提供に努め、相談体制の充実を図ります。 ◆SNS等を活用した家庭教育ネットワークの構築に努めます。 												
②青少年健全育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域学校協働活動事業を活用した学校・家庭・地域が連携して取り組む多様な体験活動の推進と機会の提供に努めます。 ◆ボランティア活動の機会を提供し、地域社会に参画する活動を推奨します。 ◆安全・安心な暮らしの確保のため、青少年関係団体が行う事業や活動を支援します。 ◆コミュニティ・スクールとの連携充実を図り、地域学校協働活動を推進します。 												
③成人期の生涯学習への支援強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆就労実態に配慮した学習機会の提供に努めます。 ◆社会活動への参加促進を図ります。 ◆ニーズを的確に捉えた教室や講座の開設に努めます。 												
④人生100年時代を見据えたキャリア形成支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆長年培った技術や経験、豊かな知識を生かす場や機会の提供に努めます。 ◆地域づくり等の社会参画を奨励・支援します。 ◆生きがいを感じて学べる場や自己実現に向けて学べる機会の提供に努めます。 												
⑤共生社会の実現に向けた学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会情勢の変化から生じる地域の課題を的確に把握し、基本的人権の尊重を念頭においた平等な学習機会の提供に努めます。 ◆異文化、異世代交流による相互理解の促進を図ります。 												
<令和3年度>		<令和6年度>											
<令和4年度>		<令和7年度>											
<令和5年度>		<総合評価>											

【達成状況評価／5段階評価 5…充分達成できた 4…概ね達成できた 3…まあまあ達成できた 2…あまり達成できなかった 1…全く達成できなかった】

4. 芸術文化活動の展開

【計画／年度 重点…◎ 継続…○ 検討・準備…□】

目 標	施 策	年次計画と評価											
		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		総合評価	
		計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価	計画	評価
①芸術文化を学習する機会の提供と支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆芸術文化への理解と関心を高めるため、成人はもとより子どもたちにも、優れた芸術を鑑賞する機会や、学習の成果を発表する場を提供します。 ◆芸術文化団体に関する情報の提供と活動支援を行います。 												
②芸術文化に触れる機会と情報発信の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ◆幅広い分野の芸術文化を鑑賞する機会や、子どもから成人まで多くの市民が事業に参加する機会を提供するため、各種公演や民間との共催による事業を拡充します。 ◆子どもの芸術文化への関心を高めるため、学校と連携し情報共有を行います。 ◆SNS等の活用により積極的に情報を発信し、優れた芸術や文化活動に親しむ機会を広げ、芸術文化に対する市民の意識の高揚を図ります。 												
③「音楽のまち“ゆざわ”」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆音楽のまちゆざわ推進協議会への活動支援と、市民への情報提供を行います。 ◆「音楽のまち“ゆざわ”」に関する環境づくりを進め、音楽活動の促進を図ります。 												
<令和3年度>		<令和6年度>											
<令和4年度>		<令和7年度>											
<令和5年度>		<総合評価>											

【達成状況評価／5段階評価 5…充分達成できた 4…概ね達成できた 3…まあまあ達成できた 2…あまり達成できなかった 1…全く達成できなかった】

2 年度評価表

第4次湯沢市社会教育中期計画の令和〇年度評価表

1. 生涯学習推進体制の整備

【計画／年度 重点…◎ 継続…○ 検討・準備…□】

目 標		R○ 評価	
①市民と行政の協働体制の促進			
計 画			
R3	R4	R5	R6
施 策			
<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習センター等を拠点として、生涯学習や地域課題解決の取り組みへの支援体制の充実を図ります。 ◆地域学校協働活動により、学校・家庭・地域を取り巻く人材や各組織のネットワークの強化を図ります。 ◆関係機関との連携等により障害者の生涯学習への支援体制の充実を図ります。 			
事業内容			
成果（達成事項）			
課題（未達成事項）			
目 標		R○ 評価	
②生涯学習推進本部体制の充実			
計 画			
R3	R4	R5	R6
施 策			
◆市組織の部局を越えた連携を強化し、事業の相互活用と生涯学習情報の共有を推進します。			
事業内容			
成果（達成事項）			
課題（未達成事項）			
目 標		R○ 評価	
③学習活動の支援と生涯学習指導者の活用			
計 画			
R3	R4	R5	R6
施 策			
◆学習者と指導者をつなぐ「生涯学習人材バンク」等の充実を図り、時代の要請や市民ニーズに対応した学習機会の提供を推進します。			
事業内容			
成果（達成事項）			
課題（未達成事項）			
目 標		R○ 評価	
④読書活動推進体制の充実			
計 画			
R3	R4	R5	R6
施 策			
◆公立図書館・学校図書館やボランティア等、読書に関わる様々な機関や人材が相互連携し読書機会の提供に努めます。			
事業内容			
成果（達成事項）			
課題（未達成事項）			

【達成状況評価／5段階評価 5…充分達成できた 4…概ね達成できた 3…まあまあ達成できた 2…あまり達成できなかった 1…全く達成できなかった】

第4次湯沢市社会教育中期計画の令和○年度評価表

2. 生涯学習環境の整備

【計画／年度 重点…◎ 継続…○ 検討・準備…□】

目 標		R○ 評価	
①社会教育施設の整備と学習設備の充実			
計 画			
R3	R4	R5	R6
施 策			
<ul style="list-style-type: none"> ◆市公共施設再編計画により、社会教育施設の適切な保全と計画的な改修を進めます。 ◆市民のニーズに対応した快適な学習環境の整備に努めます。 			
事業内容			
成果（達成事項）			
課題（未達成事項）			
目 標		R○ 評価	
②既存施設の有効活用と利用促進施策の推進			
計 画			
R3	R4	R5	R6
施 策			
<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の特性と施設の特徴を生かした事業の充実を図ります。 ◆多様な学習機会の提供・充実に努めます。 ◆新しいつながりを生むきっかけとなる情報提供やPRに努めます。 			
事業内容			
成果（達成事項）			
課題（未達成事項）			
目 標		R○ 評価	
③市組織間の連携強化による生涯学習環境の充実			
計 画			
R3	R4	R5	R6
施 策			
<ul style="list-style-type: none"> ◆生涯学習推進本部機能の充実により、多様な学習環境の提供を図ります。 ◆学習活動がより効果的になるよう関係する市組織間の連携強化に努めます。 			
事業内容			
成果（達成事項）			
課題（未達成事項）			
目 標		R○ 評価	
計 画			
R3	R4	R5	R6
施 策			
事業内容			
成果（達成事項）			
課題（未達成事項）			
目 標		R○ 評価	
計 画			
R3	R4	R5	R6
施 策			
事業内容			
成果（達成事項）			
課題（未達成事項）			

【達成状況評価／5段階評価 5…充分達成できた 4…概ね達成できた 3…まあまあ達成できた 2…あまり達成できなかった 1…全く達成できなかった】

第4次湯沢市社会教育中期計画の令和〇年度評価表

3. 生涯学習活動の展開

【計画／年度 重点…◎ 継続…○ 検討・準備…□】

目 標		R○ 評価
①家庭教育支援の推進		
計 画		
R3	R4	R5
R6	R7	
施 策		
<ul style="list-style-type: none"> ◆関係機関と連携し、官民一体となった子育て支援事業を推進し、家庭教育力向上を図ります。 ◆保護者の学び合いの機会等、子育て支援事業や家庭教育に関する情報提供に努め、相談体制の充実を図ります。 ◆SNS等を活用した家庭教育ネットワークの構築に努めます。 		
事業内容		
成果（達成事項）		
課題（未達成事項）		
目 標		R○ 評価
②青少年健全育成の推進		
計 画		
R3	R4	R5
R6	R7	
施 策		
<ul style="list-style-type: none"> ◆地域学校協働活動事業を活用した学校・家庭・地域が連携して取り組む多様な体験活動の推進と機会の提供に努めます。 ◆ボランティア活動の機会を提供し、地域社会に参画する活動を推奨します。 ◆安全・安心な暮らしの確保のため、青少年関係団体が行う事業や活動を支援します。 ◆コミュニティ・スクールとの連携充実を図り、地域学校協働活動を推進します。 		
事業内容		
成果（達成事項）		
課題（未達成事項）		
目 標		R○ 評価
③成人期の生涯学習への支援強化		
計 画		
R3	R4	R5
R6	R7	
施 策		
<ul style="list-style-type: none"> ◆就労実態に配慮した学習機会の提供に努めます。 ◆社会活動への参加促進を図ります。 ◆ニーズを的確に捉えた教室や講座の開設に努めます。 		
事業内容		
成果（達成事項）		
課題（未達成事項）		
目 標		R○ 評価
④人生100年時代を見据えたキャリア形成支援の推進		
計 画		
R3	R4	R5
R6	R7	
施 策		
<ul style="list-style-type: none"> ◆長年培った技術や経験、豊かな知識を活かす場や機会の提供に努めます。 ◆地域づくり等の社会参画を奨励・支援します。 ◆生きがいを感じて学べる場や自己実現に向けて学べる機会の提供に努めます。 		
事業内容		
成果（達成事項）		
課題（未達成事項）		
目 標		R○ 評価
⑤共生社会の実現に向けた学習活動の推進		
計 画		
R3	R4	R5
R6	R7	
施 策		
<ul style="list-style-type: none"> ◆社会情勢の変化から生じる地域の課題を的確に把握し、基本的人権の尊重を念頭においた平等な学習機会の提供に努めます。 ◆異文化、異世代交流による相互理解の促進を図ります。 		
事業内容		
成果（達成事項）		
課題（未達成事項）		

【達成状況評価／5段階評価 5…充分達成できた 4…概ね達成できた 3…まあまあ達成できた 2…あまり達成できなかった 1…全く達成できなかった】

第4次湯沢市社会教育中期計画の令和〇年度評価表

4. 芸術文化活動の展開

【計画／年度 重点…◎ 継続…○ 検討・準備…□】

目 標		R○ 評価	目 標		R○ 評価	目 標		R○ 評価	目 標		R○ 評価	目 標		R○ 評価															
①芸術文化を学習する機会の提供と支援			②芸術文化に触れる機会と情報発信の拡充			③「音楽のまち“ゆざわ”」の推進																							
計 画			計 画			計 画			計 画			計 画																	
R3	R4	R5	R6	R7		R3	R4	R5	R6	R7		R3	R4	R5	R6	R7		R3	R4	R5	R6	R7		R3	R4	R5	R6	R7	
施 策			施 策			施 策			施 策			施 策																	
<ul style="list-style-type: none"> ◆芸術文化への理解と関心を高めるため、成人はもとより子どもたちにも、優れた芸術を鑑賞する機会や、学習の成果を発表する場を提供します。 ◆芸術文化団体に関する情報の提供と活動支援を行います。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆幅広い分野の芸術文化を鑑賞する機会や、子どもから成人まで多くの市民が事業に参加する機会を提供するため、各種公演や民間との共催による事業を拡充します。 ◆子どもの芸術文化への関心を高めるため、学校と連携し情報共有を行います。 ◆SNS等の活用により積極的に情報を発信し、優れた芸術や文化活動に親しむ機会を広げ、芸術文化に対する市民の意識の高揚を図ります。 			<ul style="list-style-type: none"> ◆音楽のまちゆざわ推進協会への活動支援と、市民への情報提供を行います。 ◆「音楽のまち“ゆざわ”」に関する環境づくりを進め、音楽活動の促進を図ります。 																							
事業内容			事業内容			事業内容			事業内容			事業内容																	
成果（達成事項）			成果（達成事項）			成果（達成事項）			成果（達成事項）			成果（達成事項）																	
課題（未達成事項）			課題（未達成事項）			課題（未達成事項）			課題（未達成事項）			課題（未達成事項）																	

【達成状況評価／5段階評価 5…充分達成できた 4…概ね達成できた 3…まあまあ達成できた 2…あまり達成できなかった 1…全く達成できなかった】

3 補助様式

年度評価にあたり、第3章第3節 具体的目標と施策 の効果をよりの確且つ容易に評価できるよう、実施する個別の事業との関連をわかりやすくするため、この補助様式（社会教育関係主要事業一覧）を活用します。

なお、補助様式及びその活用方法については、より効果的な年度評価に資するよう、本計画の期間中も必要に応じて適宜改善します。

補助様式

令和〇年度社会教育関係主要事業一覧

重点施策・目標 【〇〇課〇〇班】 (1) (2)									
事業名称	〇〇事業		事業目的				評価	5…充分達成できた 4…概ね達成できた 3…まあまあ達成できた 2…あまり達成できなかった 1…全く達成できなかった	
課題			成果						
中期計画 (番号)	事業概要	計画	対象	人数	会場	内容等	回数	予算 (千円)	備考
		実績	〃	〃	〃	〃	〃	決算 (千円)	
〇 - 〇		計画							
		実績							
〇 - 〇		計画							
		実績							
〇 - 〇		計画							
		実績							
〇 - 〇		計画							
		実績							
〇 - 〇		計画							
		実績							

資 料 編

- ◇ 計画策定に関する諮問・答申
- ◇ 教育委員会組織図
- ◇ 策定委員
- ◇ 策定の経過

湯 教 生 第 119 号

令 和 2 年 5 月 22 日

湯 沢 市 社 会 教 育 委 員 の 会 議

議 長 宮 原 保 夫 様

湯 沢 市 教 育 委 員 会
教 育 長 和 田 隆 彦



第 4 次 湯 沢 市 社 会 教 育 中 期 計 画 (令 和 3 年 度 ~ 7 年 度) の
策 定 に つ い て (諮 問)

標 記 の 事 項 に つ い て 、 理 由 を 添 え て 諮 問 い た し ま す 。

な お 、 答 申 の 期 日 に つ き ま し て は 、 令 和 3 年 1 月 29 日 (金) ま で に 戴 け ま す よ う
特 段 の 御 配 慮 を お 願 い 申 し 上 げ ま す 。

(諮 問 理 由)

湯 沢 市 で は 、 平 成 27 年 度 に 策 定 し ま し た 「 第 3 次 湯 沢 市 社 会 教 育 中 期 計 画 (平 成
28 年 度 ~ 32 年 度) 」 に 基 づ き 社 会 教 育 事 業 を 実 施 し て ま い り ま し た 。

本 計 画 は 令 和 2 年 度 で 最 終 年 度 と な る こ と か ら 、 令 和 3 年 度 か ら の 第 4 次 湯 沢 市
社 会 教 育 中 期 計 画 の 基 本 と な る べ き 答 申 を 戴 き た く 諮 問 い た し ま す 。

新 湯 沢 市 が 誕 生 し て 15 年 を 経 過 し た 今 、 地 域 的 な 広 が り と 豊 富 な 地 域 人 材 の 力 を
活 か し 、 こ れ ま で の 課 題 の 解 決 と 地 域 が 求 め る 施 策 の 更 な る 具 現 化 が 求 め ら れ ま す 。

市 民 一 人 一 人 が 生 き が い と 目 標 を 持 ち 心 豊 か で 充 実 し た 人 生 を 送 る こ と が 可
能 な よ う 、 活 力 あ る 生 涯 学 習 社 会 の 実 現 を 目 指 し 、 本 市 社 会 教 育 の 将 来 に わ た る 着 実
な 発 展 を 期 す る 方 策 に つ き 諮 問 す る も の で す 。

令和3年1月18日

湯沢市教育委員会

教育長 和田隆彦様

湯沢市社会教育委員の会議

議長 宮原保夫

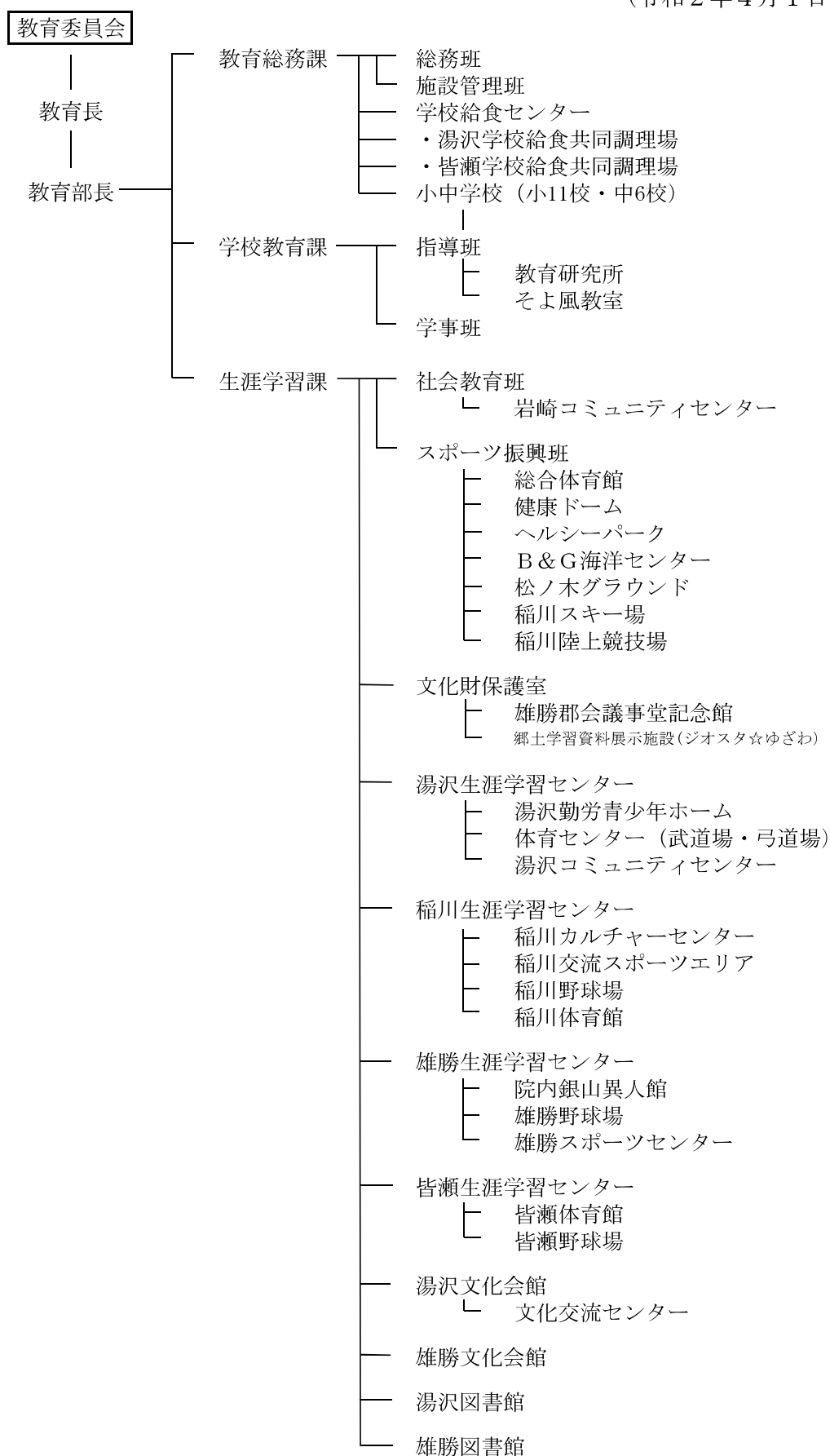


第4次湯沢市社会教育中期計画（令和3年度～7年度）の
策定について（答申）

令和2年5月22日付け、湯教生第119号で当会議に対して諮問がありました「第4次湯沢市社会教育中期計画」の策定について、社会教育中期計画策定委員会を設置し慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり取りまとめましたので、答申いたします。

教育委員会組織図

(令和2年4月1日現在)



策定委員会

◇社会教育委員

議 長 宮 原 保 夫
副議長 高 嶋 江美子
委 員 佐 藤 ヒデ子
〃 小野田 敏 昭
〃 三 春 恒 子
〃 阿 部 浩 美
〃 高 橋 昭 尚
〃 近 田 浩 治

◇策定委員

総 括

1	社会教育委員	議 長	宮 原 保 夫
2	教育部	部 長	佐 藤 司
3	生涯学習課	課 長	藤 山 英 信

部会委員（「○印」は部会座長）

1. 生涯学習推進体制の整備

1	社会教育委員	議 長	○ 宮 原 保 夫
2	社会教育委員	委 員	阿 部 浩 美
3	湯沢生涯学習センター	所 長	高 橋 一 志
4	学校教育課	課 長	寺 田 玲 子
5	湯沢図書館	館 長	高 山 見美子
6	生涯学習課社会教育班	班 長	谷 藤 真希子

2. 生涯学習環境の整備

1	社会教育委員	委員	○ 小野田 敏 昭
2	社会教育委員	委員	三 春 恒 子
3	皆瀬生涯学習センター	所 長	丹 洋 介
4	湯沢文化会館	館 長	高 橋 官
5	生涯学習課社会教育班	主 査 (社会教育主事)	佐 藤 公 章

3. 生涯学習活動の展開

1	社会教育委員	副議長	○ 高 嶋 江美子
2	社会教育委員	委員	高 橋 昭 尚
3	稲川生涯学習センター	所 長	佐 藤 耕
4	生涯学習課社会教育班	社会教育 指 導 員	鎌 田 功
5	生涯学習課社会教育班	主 幹	佐 藤 崇

4. 芸術文化活動の展開

1	社会教育委員	委員	○ 佐 藤 ヒデ子
2	社会教育委員	委員	近 田 浩 治
3	音楽のまちゆざわ推進協議会		大 野 多加志
4	雄勝生涯学習センター	所 長	高 橋 浩 樹
5	生涯学習課社会教育班	主 任	藤 原 裕希子

策定の経過

令和2年

5月22日(金)	第1回社会教育委員の会議<諮問>
7月3日(金)	第2回社会教育委員の会議 (策定委員会開催前の事前説明)
7月31日(金)	第1回策定委員会(全体会及び各部会)
8月18日(火)	第2回策定委員会(第4部会)
8月21日(金)	第2回策定委員会(第1部会)
8月24日(月)	第2回策定委員会(第3部会)
8月26日(水)	第2回策定委員会(第2部会)
9月25日(金)	第3回策定委員会(第1部会)
10月19日(月)	第4回策定委員会(第1部会)
11月11日(水)	第5回策定委員会(全体会)
12月18日(金)	社会教育中期計画に対する意見募集 (パブリックコメント)

令和3年

1月8日(金)	
1月18日(月)	答申

第4次 湯沢市社会教育中期計画
(令和3年度～令和7年度)

〒012-8501 湯沢市佐竹町1番1号
湯沢市教育委員会事務局教育部生涯学習課
電話 0183-73-2163 / FAX 0183-72-8515

(案)
第4次
湯沢市スポーツ推進計画
(令和3年度～令和7年度)

令和3年 月

湯沢市教育委員会

目 次

1 趣旨	2
2 基本理念	3～4
3 計画の主要課題	5
4 実施の期間	5
5 現状と課題	
(1) ライフステージに応じたスポーツの推進	6
(2) 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	7
(3) スポーツ情報の充実	8
(4) スポーツを活用した地域の活性化	8
6 基本施策	
(1) ライフステージに応じたスポーツの推進	9
(2) 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	10～11
(3) スポーツ情報の充実	11
(4) スポーツを活用した地域づくり	11
7 施策の体系図	12～13
8 資料	
(1) 計画策定の経過	14
(2) 計画策定に関する諮問・答申	15～16
(3) 計画策定委員（スポーツ推進審議会委員）名簿	17
(4) スポーツ関係団体	18

1 趣旨

スポーツは、私たち人間の健康な「心」と「体」の発達を促し、体力の向上はもちろんのこと、爽快感や達成感、仲間との連帯感をもたらすとともに、楽しさや喜びを与えるなど、人生をより豊かなものにしてくれます。

また、心身の両面に影響を与えるスポーツは、ストレスを発散し体力の向上、生活習慣病の予防・改善など、健康寿命の延伸が期待できるほか、人間形成にも影響を与えるなど、健全な発達、健康の保持増進に寄与するものです。

さらに近年の急速な高齢化社会の進展や価値観の多様化によるライフスタイルの変化、生活利便化による運動不足、人間関係の希薄化、新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式など、社会環境が大きく変わる中、スポーツの果たす役割は、ますます重要となってきています。青少年の健全育成や地域コミュニティの形成のみならず、産業や観光と結び付くことによる地域経済の活性化など、地方創生の側面からもスポーツによる効果が期待されます。

国では、平成23年6月にスポーツ振興法（昭和36年法律第141号）を全面改正したスポーツ基本法（平成23年法律第78号）で、「スポーツを通じ幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利であり、青少年の体力向上と健全育成、地域の一体感や活力の醸成、地域社会の再生、心身の健康の保持増進等、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である」としています。平成24年3月、国はこのスポーツ基本法に基づき、国、地方公共団体、スポーツ団体などの関係者が一体となって、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進していくための重要な指針としてスポーツ基本計画を策定し、平成29年3月に第2期スポーツ基本計画を策定しています。また、県も平成30年3月に「第3期秋田県スポーツ推進計画『スポーツ立県あきた』推進プラン2018-2021」を策定し、スポーツ推進に関する目標や施策がより具体的に示されています。

本市では、新市合併1年後の平成18年4月に「湯沢市スポーツ振興計画」を策定し、スポーツ振興に関する様々な施策を実践してきましたが、社会情勢の変化に対応するとともに、国・県の上位計画を踏まえ、本市の実情に即した計画の見直しを行う必要があることから、令和3年4月以降5年間の推進計画を策定することにいたしました。

2 基本理念

スポーツの意義と基本目標

平成23年6月に制定されたスポーツ基本法に基づいて国が策定した第2期スポーツ基本計画のうち、「中長期的なスポーツ政策の基本方針」の中で、スポーツに取り組む意義について、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことでみんながその価値を享受できること、スポーツを生活の一部とすることで、人生を楽しく健康で生き生きとしたものにできること、さらには、スポーツの価値を共有し、人々の意識や行動が変わることで、社会の発展に貢献できるなどとして、様々なスポーツ活動に、主体的に関わっていくことが重要であるとしています。

本市ではこれまで、市民各層を対象としたスポーツ・レクリエーション機会の提供、交流人口拡大を考慮した各種スポーツ大会を開催及び支援するとともに、スポーツ施設の整備・充実に努めてきましたが、今日の長寿社会において、健康づくりや体力向上など、様々な観点からスポーツに対する市民の関心をより高めるとともに、市民ニーズを踏まえ、スポーツ機会の更なる拡充やスポーツを通じた、にぎわいあるまちづくりに努めていく必要があります。

これらのことから「市民の誰もがスポーツに親しみ、健康で心豊かに暮らせるために」を基本理念とし、子どもから高齢者までが生涯にわたって、それぞれの状況に合わせて気軽にスポーツに親しみ、次代を担う子どもたちがスポーツを通じて夢や希望を抱けるような環境づくりを進めます。

基本理念

市民の誰もがスポーツに親しみ

健康で心豊かに暮らせるために

～年代を問わず市民の誰もが様々なかたちでスポーツに関わり

心身ともに健康で豊かに暮らせるまちを目指して～

本市においても「する」「みる」「ささえる」の多様なスポーツへの関わり方が求められています。また、子どもから高齢者まで分け隔てなくスポーツに親しむことで、スポーツの価値を共有した共生社会の実現も求められています。

本計画では、前記の基本理念に従い、市民はもとより、行政、学校、スポーツ団体等、スポーツに関係する機関や団体が連携・協働して「年代を問わず市民の誰もが様々なかたちでスポーツに関わり、心身ともに健康で豊かに暮らせるまち」を目指すための基本的な方針を次のように定めます。

基本方針

生涯スポーツ社会の実現と
スポーツを通じたまちづくり



3 計画の主要課題

ライフステージに応じたスポーツの推進

市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

スポーツ情報の充実

スポーツを活用した地域づくり

4 実施の期間

本計画は、スポーツ基本法に基づき、策定するスポーツ推進に関する計画であり、計画期間は令和3年度から令和7年度までの5か年とします。



5 現状と課題

(1) ライフステージに応じたスポーツの推進

① 生涯スポーツについて

市民の誰もが生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送る中で、スポーツへの関心やスポーツを行う動機付け、習慣化への取組など日常のかつ気軽にスポーツに親しむ機会、年齢による生活の変化に合わせた習慣的なスポーツ活動の実践などが、十分とはいえません。

このため、いつでも気軽にスポーツに親しめる生涯スポーツ社会を実現できる環境の充実が求められています。

② 子どものスポーツ運動能力について

義務教育期における活動は、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎となるものです。ライフスタイルの変化やゲーム機及びスマートフォンの普及などにより、日常生活で体を動かす機会が減少している状況にあります。

こうした中、運動機会を定期的に提供し、体力の向上を図るためには、保護者をはじめとした地域住民や、スポーツ関係団体との連携を強化し、多様なスポーツ活動を効果的に実践していく取組が求められています。

③ 競技スポーツについて

アスリートの活躍は、市民に誇りと喜び、夢と感動を与え、スポーツへの関心を高めるとともに、応援機運を醸成するなど、社会全体に活力を与えます。ジュニア期からの中長期にわたる一貫した指導や、支援等による継続的かつ効果的なアスリートの育成や強化が求められています。

④ 障がい者スポーツ活動について

障がい者にとってスポーツは総合的なリハビリテーションとして効果的であり、社会参加の促進に寄与しています。障がい者が能力や個性、意欲に応じて、自主的にスポーツを行う環境づくりが重要となり、そのために、障がい者スポーツ指導者の育成や支援者の確保など支援体制の充実が求められています。

(2) 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

① 総合型地域スポーツクラブの活動について

本市においては、複数の総合型地域スポーツクラブが設立され、市民が様々なスポーツにふれる機会を提供する地域スポーツの担い手としての役割を果たしていますが、自立的なクラブ運営のため自己財源の確保など、経営基盤の強化が課題となっています。

そのため、総合型地域スポーツクラブが、安定的かつ継続的に運営され、スポーツを通じた地域コミュニティの核としての重要な役割を果たしていけるよう、それぞれの実情に応じたきめ細かな支援策を講じ、更なる成長と活動の充実に向けて後押しする必要があります。

② スポーツ施設について

市民の誰もが気軽に、かつ安全にスポーツに親しむことができるように環境の改善や機能の充実等を計画的に進めていくことが求められています。また、スポーツ施設の長寿命化や今後の施設のあり方、利便性、地域の実情に応じた施設の管理運営方法についても検討していく必要があります。

③ スポーツ関係組織のネットワークについて

湯沢市体育協会をはじめとするスポーツ関係団体と更なる連携や協力を行うことで、スポーツによる市民の健康づくりの推進や、本市の競技水準の向上を目指すため、学校や地域も含めたネットワークを構築するなど、官民一体でスポーツ推進に努めていく必要があります。

④ 市スポーツ推進委員会との関わりについて

スポーツ基本法の制定に伴い、地域のスポーツ推進体制の重要な部分を担うこととされている「スポーツ推進委員」については、市が実施する事業の運営等の業務や実技指導は概ね実施されているものの、更なる資質向上と優れた人材発掘に努め、地域におけるスポーツ活動全般にわたるコーディネート等の役割を強化していく必要があります。

(3) スポーツ情報の充実

① スポーツ情報の積極的な発信について

スポーツ情報は、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツに親しむきっかけづくりに繋がります。そのため、様々な市民のニーズや、個々のライフスタイルに合わせた発信、さらにスポーツに興味がある人、ない人それぞれに対する情報提供など、より効果的な発信方法を検討していくことが求められています。

(4) スポーツを活用した地域の活性化

① スポーツ大会・イベント等の開催誘致について

大規模イベント等の円滑な開催や誘致を通して、スポーツを「する」ことに加え、間近で競技レベルの高いスポーツを「みる」機会の拡大を図り、市民に夢や感動を届けることで、スポーツに関心をもつきっかけづくりを推進できます。さらに、大会や選手を「ささえる」ボランティア活動を通じて、スポーツに対する参加意欲を高める取組が期待されています。

また、地域における世代間や地域間交流、そして地域経済の活性化が促進されるよう、広く市民が自主的にスポーツに関わることができる機会の創出、そしてその体制づくりによるスポーツ交流人口の拡大が求められています。



6 基本施策

(1) ライフステージに応じたスポーツの推進

市民の誰もが、体力や年齢、興味、目的等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

① 生涯スポーツの充実

市民の誰もが、スポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、あるいはスポーツを支える活動に参画することができる社会の実現に向け、総合型地域スポーツクラブやスポーツ関係団体等と連携・協働による効果的な事業の実施に努め、生涯スポーツの推進を図ります。

② 子どものスポーツ運動能力向上

体育や保健体育の授業だけでなく、地域やスポーツ団体、スポーツ推進委員等と連携を図り、子どもたちの興味や関心、意欲を高め、体力や運動能力向上を図るとともに、生涯にわたりスポーツに親しむ資質等の育成につながる取組を推進します。

③ 競技スポーツの充実

本市のスポーツ環境で育った競技選手が、その技能をレベルアップさせ、オリンピックをはじめとする国際大会や全国大会で活躍することは、市民に夢や感動を与えるだけでなく、青少年のスポーツに対する意識を高めます。ジュニア競技力の向上を図るため、競技団体と連携し、アスリート育成の取組を推進します。

④ 障がい者スポーツ活動の支援

誰もが楽しむことができるスポーツを普及するとともに、障がいの有無に関わらず参加できるスポーツイベントや教室等を開催し、あるいはその支援を行い、お互いの理解と認識を深めることで、共生社会の実現を目指します。

また、障がい者スポーツへの関心が高まるよう情報発信に努め、ボランティア等の支援者確保を行います。

(2) 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備

市民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備するため、総合型地域スポーツクラブ運営の活性化やスポーツ関係団体との更なる連携を図るとともに、スポーツ指導者・スポーツ施設の充実等を推進します。

① 総合型地域スポーツクラブの活動充実

地域のスポーツ推進を図る総合型地域スポーツクラブは、様々なスポーツにふれる機会を提供し、地域スポーツの担い手としての役割を果たしています。

世代間の交流や地域のコミュニティづくりが推進されるよう、総合型地域スポーツクラブの会員募集や活動内容等の広報等に積極的に協力し、認知度向上を支援します。さらにスポーツを通じた「新しい公共」を担う地域コミュニティの核として充実・発展するため、地域自治組織など関係機関とも連携しながら、各地域の実情に応じたきめ細かな支援策を推進します。

② スポーツ施設の整備と有効活用

市は17のスポーツ施設を所有していますが、多くの施設の老朽化が進んでいます。そこで、「湯沢市公共施設等総合管理計画」（平成29年2月策定）を基本とした個別施設の方向性等を示した「湯沢市公共施設再編計画」（令和2年5月策定）、「湯沢市スポーツ施設整備実施計画（後期）」（令和3年2月策定予定）に基づき、スポーツ施設の長寿命化や利便性向上等、より安全、安心、快適な施設づくりに向けた総合的かつ計画的な施設の修繕や改修、機能向上に取り組むとともに、市民ニーズに応える設備の充実など、環境整備を進めることで利用促進を図ります。

また、地域に身近な施設として、学校体育施設開放を継続し、市民が利用しやすい環境を整えます。スポーツ施設に指定管理者制度を導入する際は、総合型地域スポーツクラブやスポーツ関係団体を登用するなど、市民が安心して利用できるよう施設の管理・運営方法について検討します。

③ スポーツ関係組織のネットワークづくり

市のスポーツ振興推進母体となる総合型地域スポーツクラブやスポーツ関係団体等との連携強化を図り、多様な市民ニーズに応えられる体制づくりに努めます。

また、教職員の働き方改革を踏まえ、子どもたちが放課後や休日に継続してスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブやスポーツ関係団体等で指導者の確保や育成を図り、学校と地域の連携強化及びスポーツ習慣の形成や定着化を図る取組を支援します。

④ 市スポーツ推進委員会との連携強化

スポーツ推進委員は、スポーツ活動のコーディネーターとして地域に欠かせない存在であることから、今後もスポーツに深い関心と理解、そしてスポーツに対する熱意と能力を有する人材の確保に努めます。また、より効果的な研修の実施や県が主催する指導者研修等への積極的な参加の呼びかけを通して更なる資質向上に努めます。

(3) スポーツ情報の充実

スポーツのもつ多様な意義をメディアや団体を通じて広く市民に周知し、その価値の共有を図りスポーツの参画人口と関心層の拡大を図ります。

① スポーツ情報の積極的な発信

スポーツに関する地域の魅力あるスポーツイベントや施設の位置情報、設備・用具等の関連情報などについて、広報やラジオ、テレビ、新聞、SNS等、多様な媒体を活用し、あらゆる世代に向け、即時性、拡張性のある情報発信に取り組みます。

また、スポーツのもつ多様な意義を広く市民に周知し、その価値の共有を図ることにより、参画人口と関心層の拡大を図ります。

(4) スポーツを活用した地域づくり

スポーツを通じて、人と人、地域と地域の交流を促進し、活力ある絆の強い地域社会の実現と地域経済の活性化につなげます。

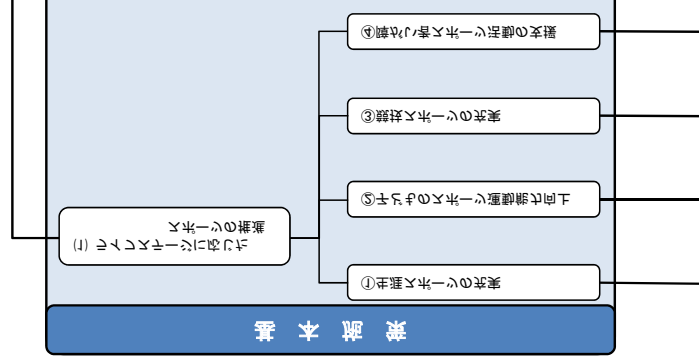
① スポーツ大会・イベント等の開催

スポーツ大会やイベント等の開催を通して、本市の個性と魅力を広く発信するとともに、市民をはじめ、地元団体と連携、協働し、本市独自の特色ある企画やおもてなしをするなど、大会の魅力や満足度の向上を図り、更なる誘客に取り組みます。

また、県内や地域密着型のプロスポーツイベント、スポーツ大会等を誘致することにより、トップアスリートとの交流の機会を提供し、子どもたちに夢と希望を届け、スポーツを通じた交流を推進することで市民のスポーツ機運の醸成を図りながら多くの人を呼び込み、地域の活性化につなげます。

市民の健康を心豊かに暮らせる関わりは心身ともに健康

図案本の築城 7



施策内容

●生涯スポーツ推進体制の充実 ●幼児期からの体力・運動能力向上施策の推進 ●子どもの体育授業以外の運動機会の確保と心の教育の推進 ●若者が気軽に参加できるスポーツイベントや家族で参加できるスポーツ教室等の開催 ●健康増進のための教室・講座の開催 ●新しい生活様式の中での感染症予防対策の取組

●子どもの体力・運動能力向上に関する取組の推進 ●地域と連携した子どもの運動機会拡充のための取組の推進 ●望ましい生活習慣の確立と栄養指導等の充実 ●スポーツ医学・科学を活用したスポーツ障害・事故防止等の啓発 ●指導者の資質向上を目指した講習会等の開催

●ジュニアからの一貫指導体制の確立による競技力向上の推進 ●指導者の資質向上を目指した講習会・研修会の開催 ●各競技団体による選手強化等の取組や各種大会参加の支援

●関係団体等との連携による障がい者のスポーツ参加機会拡充の推進 ●指導者の確保・育成と活用による障がい者スポーツの普及・拡大 ●スポーツ施設のバリアフリー化の促進

●総合型地域スポーツクラブとの連携・協働 ●運営基盤強化のための支援の継続 ●クラブマネージャー及び指導者等の情報交流の促進 ●スポーツ施設指定管理者としての積極的な登用 ●活動紹介等の情報発信

●利用者のニーズに応じた施設環境の整備・充実 ●学校体育施設開放事業の実施と利用条件等に関する検討 ●指定管理者制度等による効率的・効果的な施設運営の推進 ●施設利用者に対する新しい生活様式の中での感染症予防対策の取組

●スポーツ団体間の連携強化と活動基盤充実の支援 ●総合型地域スポーツクラブ間のネットワークの構築 ●実用的な指導者登録と指導者派遣システムの構築

●連携・協働による各種事業の実施 ●市スポーツ推進委員会の組織力向上に向けた支援 ●スポーツ推進委員の資質向上を目指した研修等への参加促進

●広報紙・ホームページ等を活用したスポーツ情報の提供 ●SNS等を活用したスポーツイベント等の情報発信 ●施設の位置情報や設備等の関連情報の提供 ●集客力のある大型イベント等に連動した情報発信

●大規模なスポーツ大会やプロスポーツイベント等の開催誘致 ●既存スポーツ大会への市民参加及び観戦機会の拡充 ●大会・イベント等を支えるボランティア登録制度の検討 ●スポーツを通じた国際交流の推進

8 資料

第4次湯沢市スポーツ推進計画策定の経過

令和2年	
6月25日	令和2年度第2回湯沢市スポーツ推進審議会（諮問） - 第1回湯沢市スポーツ推進計画策定委員会 - （策定方針について審議）
8月6日	令和2年度第3回湯沢市スポーツ推進審議会 - 第2回湯沢市スポーツ推進計画策定委員会 - 第4次湯沢市スポーツ推進計画（骨子）の提示
9月18日	第4次湯沢市スポーツ推進計画（素案）の提示 （スポーツ推進審議会委員へ事前配布）
10月1日	令和2年度第4回湯沢市スポーツ推進審議会 - 第3回湯沢市スポーツ推進計画策定委員会 - （計画（素案）について審議）
11月10日	第4次湯沢市スポーツ推進計画（案）提示 （スポーツ推進審議会委員へ事前配布）
11月27日	令和2年度第5回湯沢市スポーツ推進審議会（答申）
12月16日	教育委員会において計画（案）を提案
12月18日	第4次湯沢市スポーツ推進計画（案）に対する意見募集 （パブリックコメントの実施）

湯教生第202号
令和2年6月25日

湯沢市スポーツ推進審議会
会長 柿崎 清 様

湯沢市教育委員会
教育長 和田 隆 彦

第4次湯沢市スポーツ推進計画の策定について（諮問）

「第4次湯沢市スポーツ推進計画」の策定にあたり、スポーツ基本法（平成23年法律第78条）第10条及び湯沢市スポーツ推進審議会条例第2条の規定に基づき、次の諮問の理由を添えて諮問いたします。

なお、答申の期日につきましては、令和2年11月末日までとしますので、特段の御配慮をお願い申し上げます。

（諮問理由）

スポーツは、人生をより豊かにするとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や心身の健全な発達に必要不可欠なものであり、人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは大きな意義を有しています。

本市においては、平成27年度に策定した「第3次湯沢市スポーツ推進計画」を指針として、スポーツの推進に努めてきたところでありますが、現計画は今年度が最終年次となります。

つきましては、現計画を踏まえ、令和3年度以後5年間の指針となる「第4次湯沢市スポーツ推進計画」を策定するにあたり、基本となるべき答申をいただきたく、貴審議会に諮問するものです。

令和2年11月27日

湯沢市教育委員会

教育長 和田 隆彦 様

湯沢市スポーツ推進審議会

会長 柿崎 清

第4次湯沢市スポーツ推進計画の策定について（答申）

令和2年6月25日付け湯教生第202号により諮問がありました標記の件について、当審議会で慎重に審議を重ねた結果、別添内容のとおり結論を得ましたので答申します。

なお、計画の推進にあたっては、関係機関等と十分に連携を図るよう望みます。

計画策定委員名簿

湯沢市スポーツ推進審議会委員（任期：令和2年4月30日～令和4年3月31日）

氏名	所属・役職等	備考
柿崎 清	湯沢市体育協会 理事長	会長
高橋 久人	NPO法人 ゆざわサンマリッツスポーツクラブ クラブマネジャー	
村上 聖子	チャレンジスポーツクラブいなかわ クラブマネジャー	
菅 善徳	NPO法人 こまちハートオブゴールド クラブマネジャー	
兼子 正寛	みなせスポーツ・文化クラブ「楽日人」 クラブマネジャー	
寺門 敏子	NPO法人 サポートセンター・ビーイング 理事長	
篠原 育子	秋田県エアロビック連盟 副理事長	
佐藤 隆康	湯沢市観光物産協会 事務局長	
渡部 剛	湯沢市小・中学校長会	
高橋 美雅	湯沢市スポーツ推進委員会 会長	副会長

(敬称略)

スポーツ関係団体

名称	所在地等
湯沢市体育協会	〒012-0031 湯沢市字沖鶴 140 湯沢市総合体育館内
湯沢市スポーツ少年団本部	〒012-0031 湯沢市字沖鶴 140 湯沢市総合体育館内
総合型地域スポーツクラブ NPO法人 サンマリッツゆざわスポーツクラブ	〒012-0031 湯沢市字沖鶴 140 湯沢市総合体育館内
総合型地域スポーツクラブ チャレンジスポーツクラブいなかわ	〒012-0105 湯沢市川連町字大館中野 87-1 稲川交流スポーツエリア内
総合型地域スポーツクラブ NPO法人 こまちハート・オブ・ゴールド	〒019-0321 湯沢市秋ノ宮字中島 365 雄勝スポーツセンター内
総合型地域スポーツクラブ みなせスポーツ・文化クラブ「楽日人」	〒012-0183 湯沢市皆瀬字沢梨台 106 皆瀬生涯学習センター内

湯沢市教育委員会
教育部生涯学習課スポーツ振興班

〒012-8501 湯沢市佐竹町1番1号
TEL 0183-55-8286
FAX 0183-72-8515
E-mail:k-sports@city.yuzawa.lg.jp

(案)

第2次湯沢市子ども読書活動推進計画

～ 本を開くたび、こころが育つ ～

令和3年度～令和7年度



令和3年 月

湯沢市教育委員会

= 目 次 =

第1章	計画の策定にあたって	
1	趣旨	1
2	基本方針	1
3	基本目標	1
4	期間	2
5	対象	2
	アンケート調査の実施	2
	推進体制のイメージ図	3
第2章	子どもの読書活動を推進するための施策	
1	家庭における読書活動の推進	4
2	認定こども園・保育所における読書活動の推進	10
3	学校における読書活動の推進	11
4	地域における読書活動の推進	15
5	市立図書館等における読書活動の推進	17
第3章	計画の推進に向けて	
1	推進体制	21
2	事業の検証	21
3	目標値	21
○	第2次湯沢市子ども読書活動推進計画取組み検証シート	23
資料編		27
1	子どもの読書活動推進等に関する調査結果	29
2	関係法令	57
3	湯沢市子ども読書活動推進計画策定会議名簿	62

第1章 計画の策定にあたって

1 趣旨

子どもの読書は、正しい言葉を学び、豊かな想像力を育むばかりではなく、自ら考え判断し行動できる人間へ成長していくための重要な活動の一つです。

子どもの成長期における読書の重要性が再認識される中で、情報社会の進展によるスマートフォンの普及や、それを活用したコミュニケーションツールの多様化など情勢の急激な変化が、子どもの読書環境に与える影響を考慮しなければなりません。

このような状況が子どもの活字離れ、読書離れの一因となっていることから、子どもたちが活字に親しみ、読書を通して主体的に生きる力を得られるよう、家庭・地域・学校・行政等が連携し社会全体で子どもの読書活動を支援していくことが求められています。

国では、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を施行後、平成30年4月に「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画（第四次）」を策定し、「発達段階に応じた取組による読書習慣の形成」、「読書への関心を高める取組の充実」を推進するための主な方策として示しました。

また、秋田県においても、県民総ぐるみの読書活動を一層盛り上げるため、「第2次秋田県読書活動推進基本計画」を平成28年3月に策定し、さまざまな取り組みを行うこととしました。

湯沢市では、乳幼児期から本に興味をもち「考える力」と「豊かな心」が育つよう、発達の段階に合った読書活動を推進するため平成28年に「湯沢市子ども読書活動推進計画」を策定し、さまざまな取り組みを実施してきました。前計画の成果を踏まえ子どもの読書活動を一層推進させるため、「第2次湯沢市子ども読書活動推進計画」を策定するものです。

2 基本方針

子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣を身に付けていけるよう、子どもの興味・関心を尊重しながら自主的な読書活動を推進します。

3 基本目標

＜家庭・地域・学校・図書館等における子どもの読書活動の推進と連携＞

家庭・地域・学校や図書館などがそれぞれの役割を果たして社会全体で子どもの読書活動を推進し、さらに相互の連携・協力体制の充実を図るとともに、子どもの発達の段階に応じて、子どもが読書の楽しさを知るきっかけづくりにつながる環境の整備に努めます。

<子どもの読書環境の整備・充実>

子どもの読書の幅を広げ、読書体験を深める機会を提供する場である市立図書館や学校図書館等の利用しやすい環境の整備や機能の充実に努めます。

4 期間

計画の期間は令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

ただし、必要に応じて内容の変更・修正等の見直しをします。

5 対象

おおむね18歳以下の子どもと、その保護者をはじめとする子どもの読書活動の推進に携わる関係者を対象とします。

子どもの読書活動推進等に関する調査の実施

湯沢市では、本計画を策定するにあたり、前計画の際のアンケート結果と比較するため、前回（平成27年7月実施）と同様の読書活動の状況に関するアンケート調査を実施しました。

また、学校、認定こども園、放課後児童クラブ等における読書推進に関することについても調査しました。

実施期間 令和2年7月7日～7月30日

実施対象者

小学2年生 261人 (回答者255人)

小学5年生 264人 (回答者264人)

中学2年生 286人 (回答者271人)

高校2年生 374人 (回答者359人)

乳幼児をもつ保護者 1,019人 (回答者464人)

実施対象施設

小学校 11校

中学校 6校

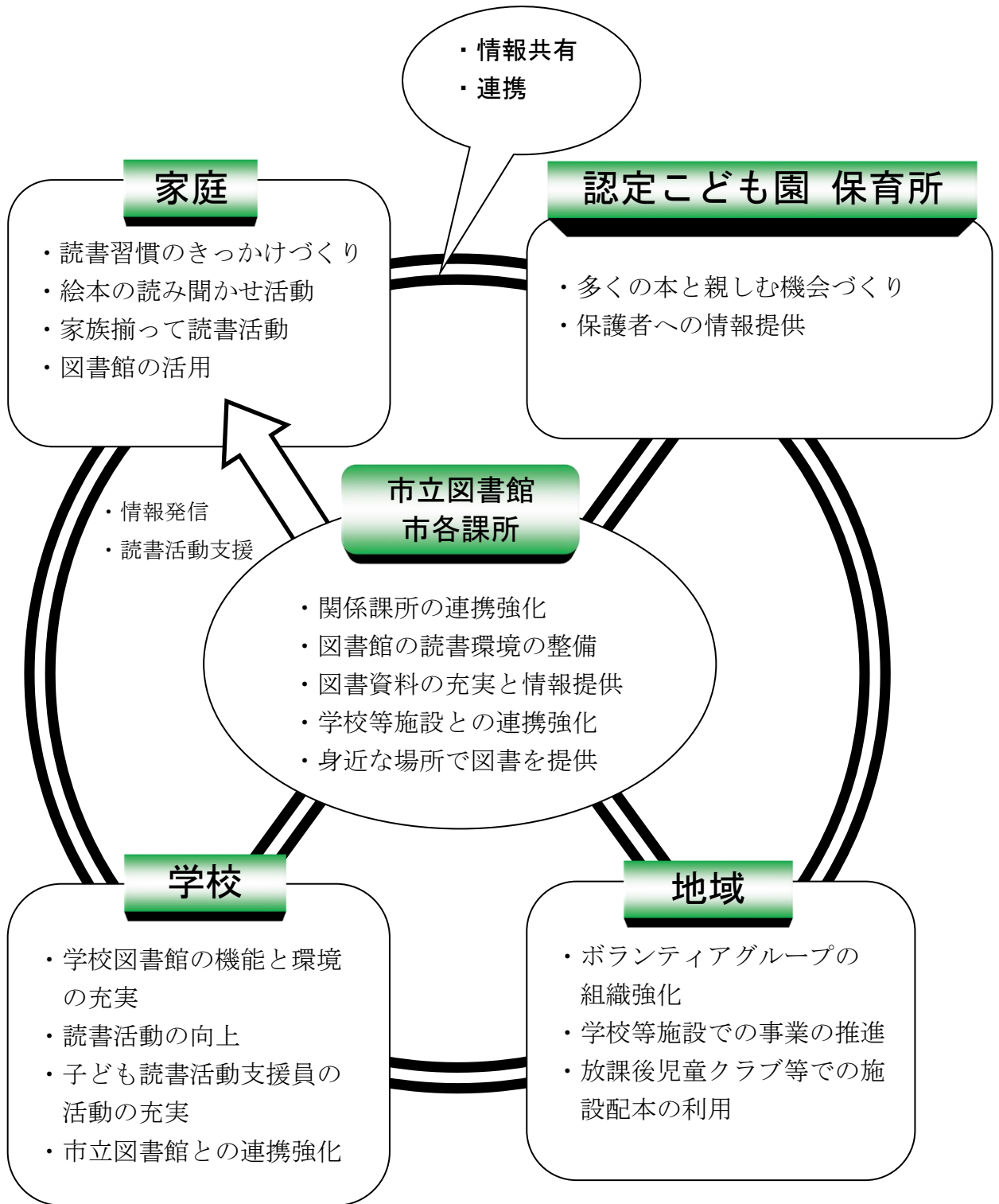
高等学校 3校

認定こども園 9施設

保育所 3施設

放課後児童クラブ等 . 17施設 (回答施設16施設)

推進体制のイメージ図



第2章 子どもの読書活動を推進するための施策

1 家庭における読書活動の推進

子どもの読書習慣は、家族と過ごす日常生活を通して形成されます。子どもは、大好きな家族に絵本を読んでもらったり、話しかけてもらったりすることで、本に親しみ、読書の楽しさを知ります。本を読むことに対する興味や関心を引き出すように働きかける役割が家庭にあります。

【第1次計画の成果と現状】

① 乳幼児

市の7か月児健康診査に併せて行っている「ブックスタート」^{※1}がきっかけとなり、子どもに絵本の読み聞かせを始めたという保護者は多く(P6図1)、読書の重要性に対する意識の高揚にもつながっていると思われまます。事業実施後のアンケートでは、絵本を介した楽しく温かいひとときをもつ意義が伝わったとの好意的な回答や、事業の継続を望む声が多数ありました。しかし、子どもが4歳以上になると読み聞かせの回数が減少しています(図2-1、図2-2)。

さらに、共働き世帯の増加により、保育所や認定こども園に入所する子どもが多くなっています。乳幼児期から本に親しみ、日常的に読書をする習慣を形成するためには、保護者の理解と協力が不可欠であり、家庭において子どもが絵本を十分に楽しみ、家族と心ふれあう楽しい時間をもつための読み聞かせは欠かせないものとなっています。

② 児童・生徒

本を読むことが好き嫌いのアンケート調査で「好き」「どちらかといえば好き」の答えは平成27年度のアンケート調査と同様に8割以上にのぼり(図3)、年齢に関係なく読書に関心をもっているようですが、年齢が上がるにつれ、本を読まない人の割合が高くなる傾向も同じです。特に高校生の不読率が増えており(図4)、本を読まない理由についても、勉強や部活、習いごとなどで時間がないことは平成27年度のアンケート調査と同じですが、放課後の時間の使い方を調査した結果、動画・SNSを見ることに時間を費やしていることがスマートフォンを所持する世代になるほど高くなることが分かりました(図5)。

※1 ブックスタート：赤ちゃんや保護者が絵本を開く楽しい体験を通して、心ふれあう時間が持てるきっかけをプレゼントする活動です。湯沢市では、平成22年4月から7か月児健診時に行っています。

また、小さい頃に絵本の読み聞かせを受けていた子どもの本が好きになる傾向についての変化はなく(図6)、家庭に限らず、多くの本とふれあう読書の時間の確保が重要となっています。

このほか、読書が好きになるための家庭での取り組みの質問に、多くの生徒が「家に本をたくさん置く」ことを挙げており(図7)、本を読む場所の質問では、「自宅や友達の家」と答えた小学生が増加しています(図8)。

市では秋田県で薦めている「^{※2}家族で読書」等を推進していますが、本に興味をもち親しむ家庭環境づくりが、少しずつ浸透してきているようです。

【課題・取組み】

課題	乳幼児期から絵本とふれあい、家庭で読み聞かせを継続できるように支援が必要です。
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○「ブックスタート」をはじめ、乳幼児が集まる機会をとらえて読み聞かせ活動を推進します。 ○「ブックスタート」後の追跡調査を実施し、継続した支援と保護者への啓発活動に努めます。【新規】 ○子育て支援センターにおける読み聞かせ用絵本の提供に努めます。

課題	大人が読書活動の意義を理解し、家族がそろって本を読むなど家庭環境をつくるための支援が必要です。
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○秋田県が推奨している「家族で読書」の推薦図書等を積極的に紹介し、家庭での読書活動の普及に努めます。 ○市立図書館内に設置している子育てに関する本のコーナーを充実し、子育てにかかわる人やこれから親になる人を支援します。【新規】

※2 家族で読書：子どもに読み聞かせをしたり、家族が同じ本を読んだりすることで読書の楽しさを共有し、生活の中で家族そろって読書に親しむ運動です。

【アンケート調査結果】

図1 ブックスタートは読み聞かせのきっかけになったか

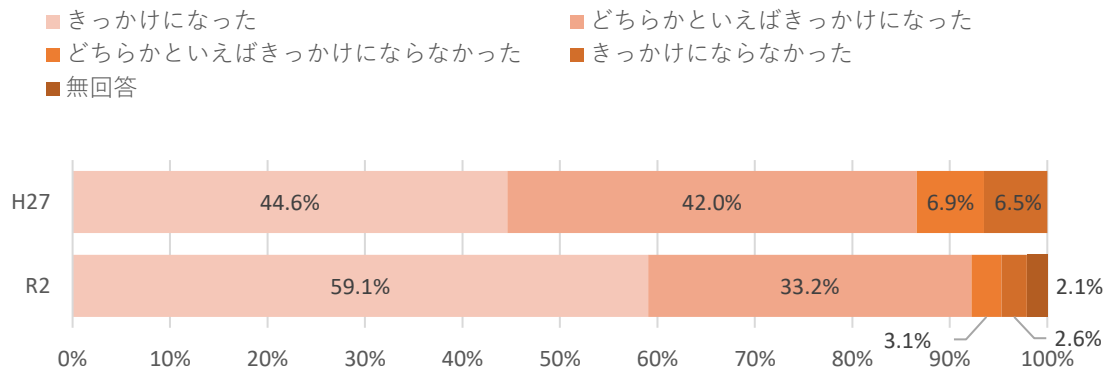


図2-1 年齢別の読み聞かせの頻度

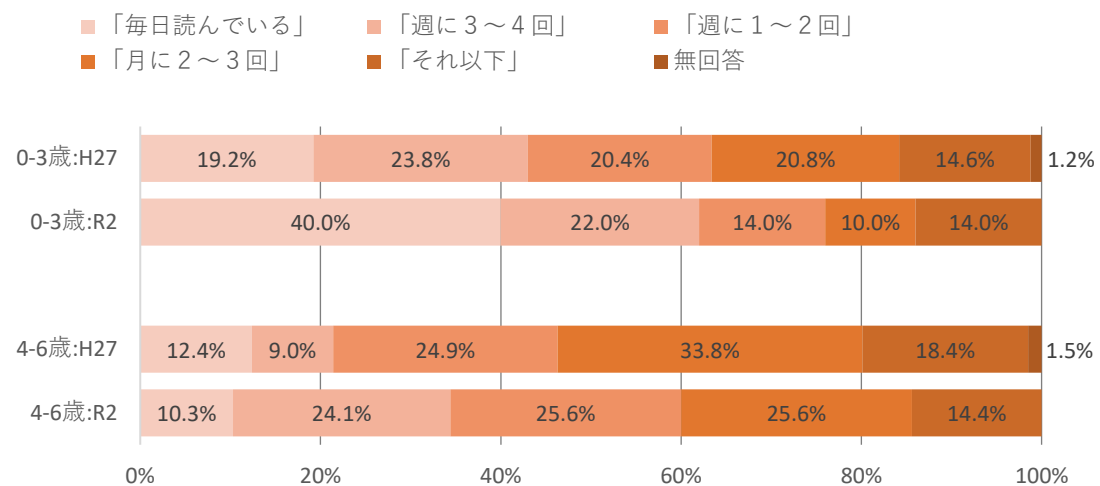
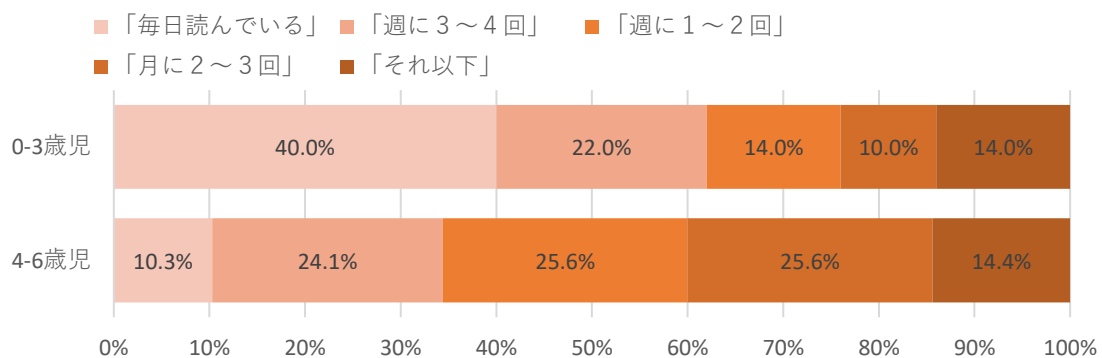
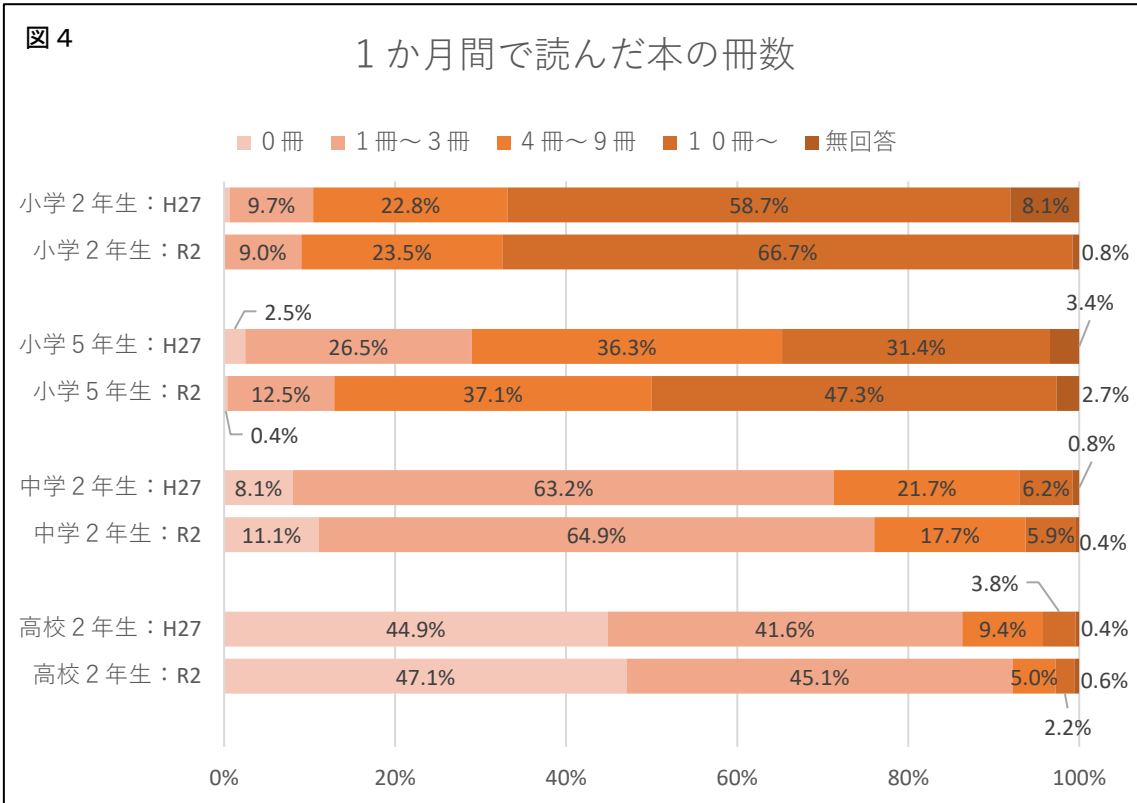
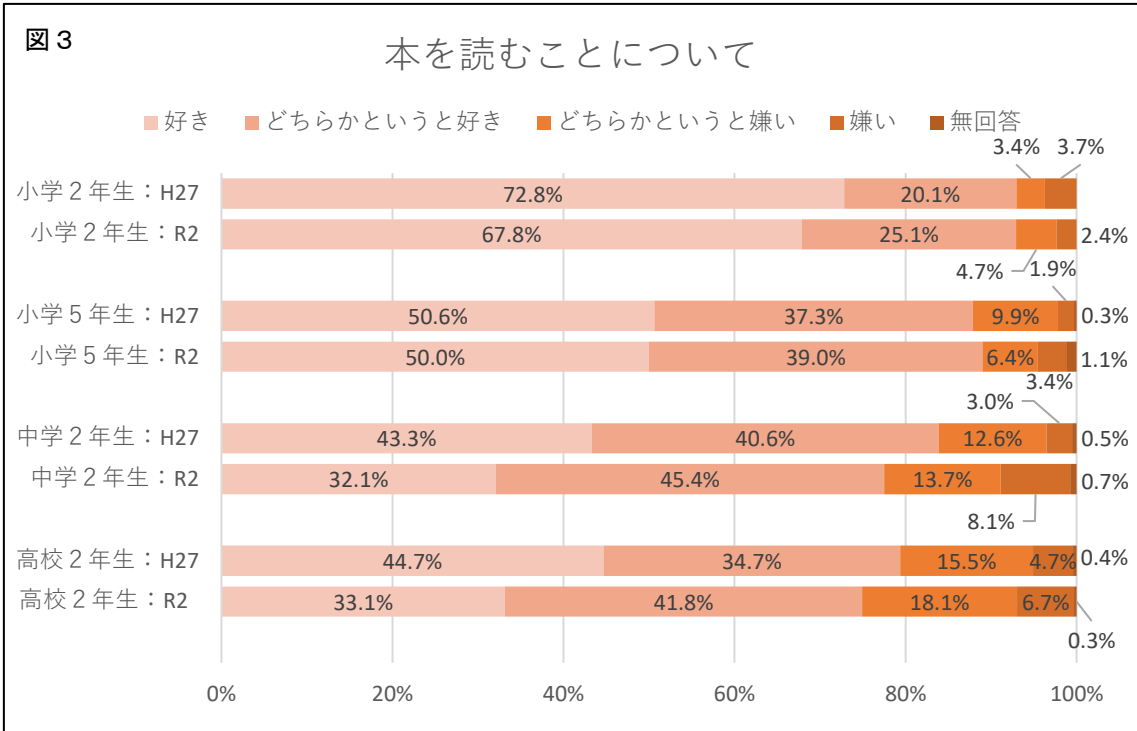
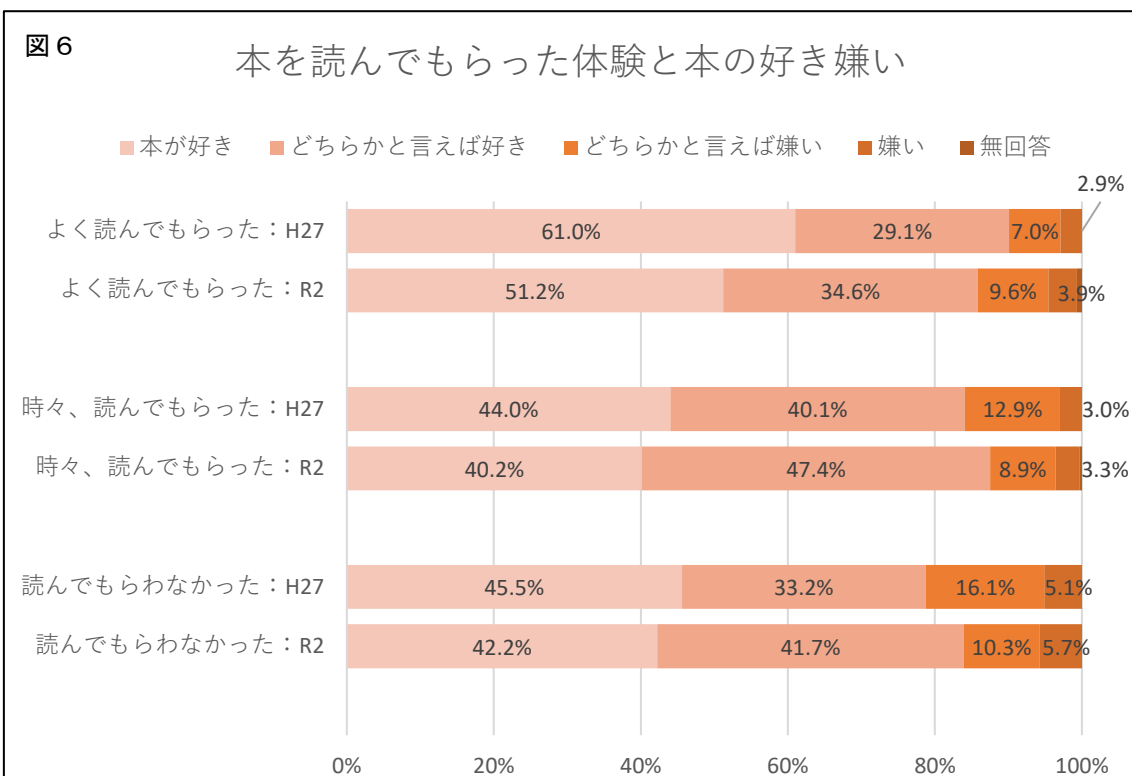
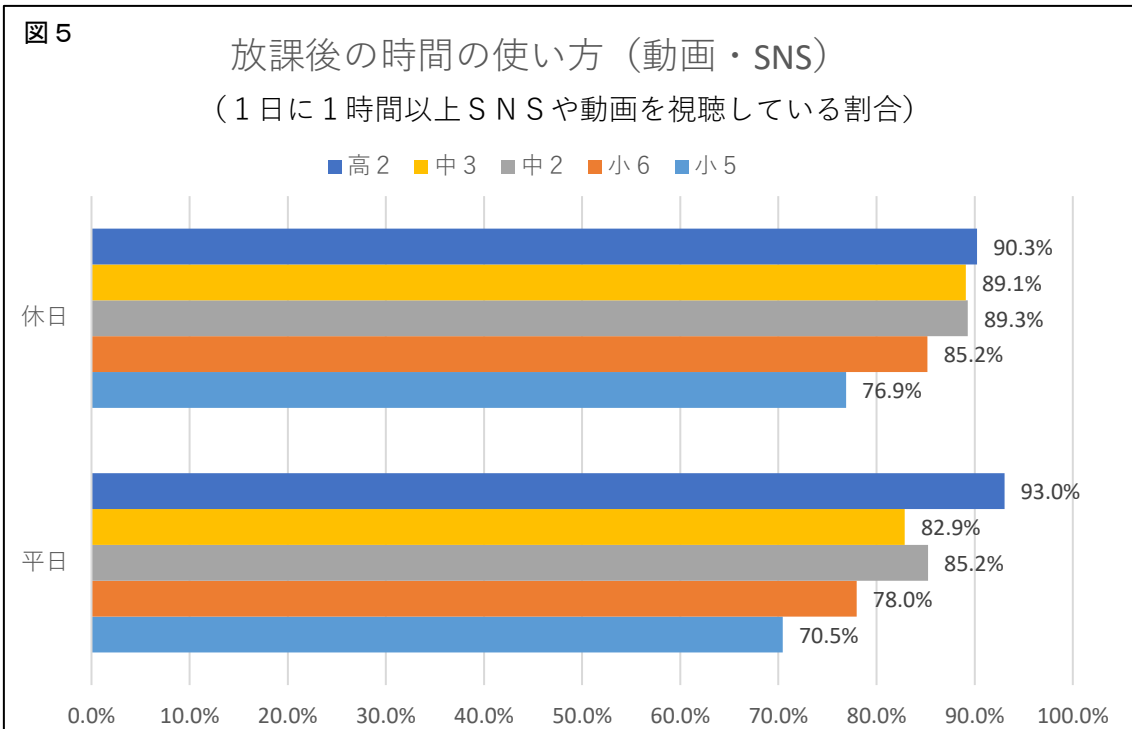
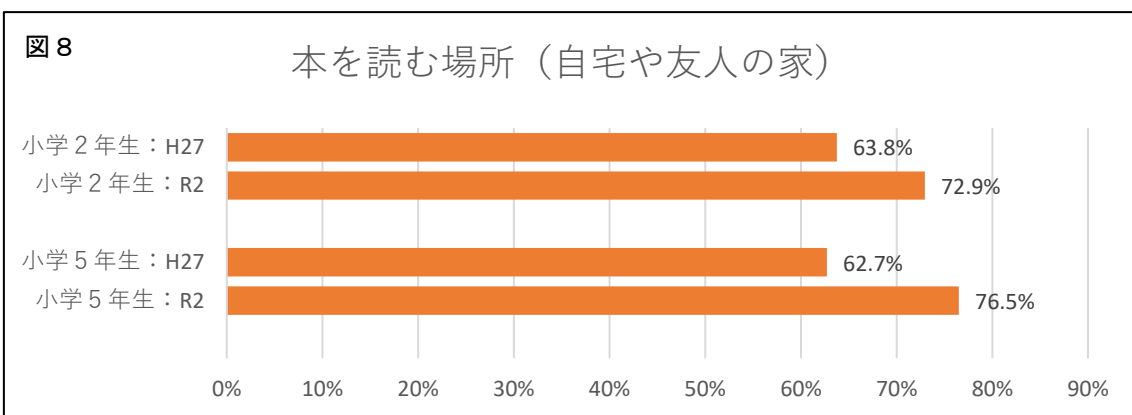
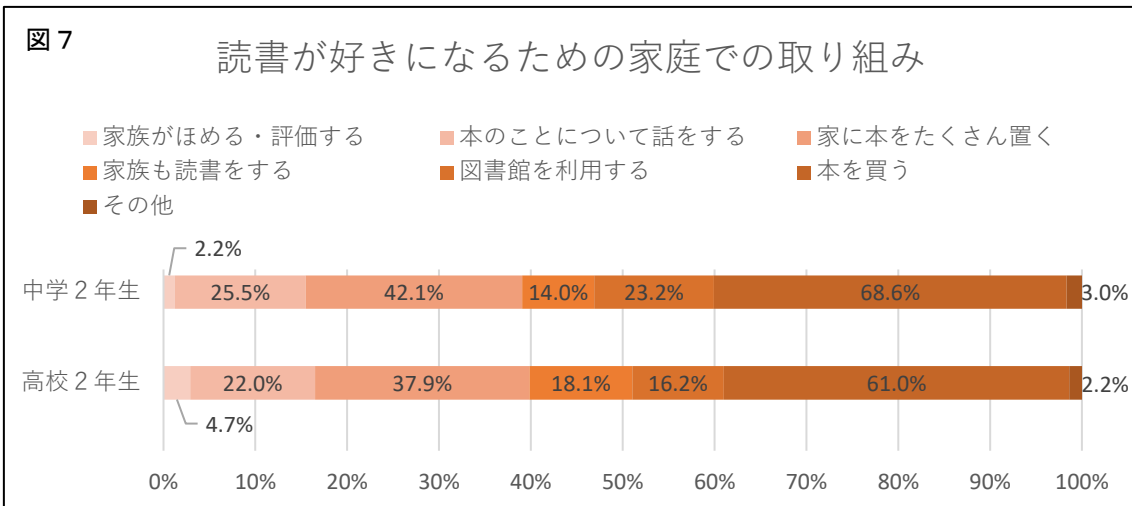


図2-2 R2 0-3歳児と4-6歳児の読み聞かせの頻度









2 認定こども園・保育所における読書活動の推進

認定こども園や保育所は、家庭より多くの本が揃っていて、子どもたちが絵本の楽しさを知る環境が整っています。また、ひとつのお話をみんなで聞いたり、見たりすることで、実際には体験できない場面を共有し子ども同士仲良くなれる場所でもあります。

【第1次計画の成果と現状】

市内の認定こども園や保育所では、子どもの手の届くところに絵本を置き、いつでも取り出してふれあうことができるように配慮しています。また、絵本や紙芝居の読み聞かせを毎日実施し、子どもたちの想像力を養い、集中力を身に付ける機会となるとともに、本の面白さを感じてもらおうきっかけづくりにもなっています。

市立図書館では定期的な施設配本^{※3}を行い、子どもたちに様々な本との出会いを提供しています。

さらに、家庭でも親子が本にふれあうことができるよう、おすすめ本を紹介した「としょかんだより」を配布し、親子で本にふれあうことの大切さを伝えています。

【課題・取組み】

課 題	子どもが多くの本とふれあう機会をつくることです。
取組み	○定期的な施設配本により、子どもたちが多種多様な本の世界を楽しむことができるよう支援します。 ○子どもたちへの読み聞かせを、継続して実施します。

課 題	保護者へ読書活動のより一層の啓発が必要です。
取組み	○市立図書館で推薦図書を含む読書活動情報を施設に提供し、情報紙を発行します。

※3 施設配本：市内40施設を約4週間に1回巡回し、施設内で利用してもらう本の貸出しです。

3 学校における読書活動の推進

学校において読書は、学校教育法や学習指導要領等で教育の重要な柱の一つに位置づけられています。子どもが一日の大半を過ごす「学校」は、子どもに主体的・意欲的な読書習慣の形成を促すことが可能な場所であり、より健やかな成長のために重要な役割を担っています。

【第1次計画の成果と現状】

① 読書活動について

小学校では子どもたちが手軽に本を手にとることができるようにしたり、玄関ホールを利活用したり、読書に対する意欲を喚起するような「おすすめの本の紹介コーナー」を設けるなど、学校図書館の環境整備に努めています。

中学校では、生徒会活動（委員会活動）の一環として生徒が、学校図書館の運営にあたり「図書館だより」を発行しているほか、ビブリオバトルを始めとする読書意欲を喚起するような集会を企画したり、新刊の紹介をしたりしています。また、新聞社に「自分の推薦本」について掲載してもらうなど、子どもたちが自分たちで読書活動の推進のために取り組んでいます。しかし中学生になると読書量が減る傾向があり、全ての中学校で行っている「読書の時間」が唯一の「読書の場」という生徒も少なくありません。

また、全ての小・中学校で「読書の時間」を設け子どもたちが本に接する時間を確保するよう取り組んでいます。さらに家庭学習を読書にする曜日を設定している学校や市の図書館を訪問する学校もあります。その他、ボランティアグループによる読み聞かせ会を定期的を実施し子どもたちの読書意欲の向上を図り、豊かな心が育まれるような機会をつくっています。

高等学校でも、生徒会が積極的に学校図書館の運営に携わっています。しかし、蔵書は古いものが多く、新しい情報を図書館の資料から得ることが難しい状況があります。生徒の足を図書館に向けるために廊下にブックトラックを常設したり、新刊本の展示スペースを工夫したり、新刊本のポスターを作成したりするなど環境整備に取り組んでいます。

② 市立図書館との連携

子ども読書活動支援員の配置により、市立図書館の資料を授業で活用する学校が増えています。また、子ども読書活動支援員と市立図書館職員が定期的に情報交換会を行うことにより、子どもたちと学校と市立図書館の橋渡し役を担っています。

必要に応じて市立図書館の司書が学校へ出向いて助言や読書環境の整備を行い読書環境・意欲の向上のために日々取り組んでいます。そのほか本の

修理講習会を実施し子ども読書活動支援員等の資質向上に努め、学校図書ボランティア向けに講習会を開催するなど、地域とともに子どもたちの読書に対する関心を高められるよう取り組んでいます。

また、小学生は市立図書館の施設見学、中学・高校生は職場体験で図書館の仕事を実際に体験することで図書館を身近に感じるよい機会となっています。

③ 学校図書館の状況

ア、現状

学校図書館では校長が館長としての役割を担い、経営計画に基づき学校図書館を運営しています。館長である校長の下、利用の充実に努めています。また、本市では平成27年度から中学校1校と小学校1校を除く15校に子ども読書活動支援員を配置し、学校図書館の環境整備や読書活動の推進を行っています。

コロナ禍にあっては学校図書館の利用について制限を設けましたが、状況を踏まえ貸出期間の延長と貸出冊数の増量など柔軟に対応してきました。

イ、児童・生徒の利用状況

一人の児童・生徒が、1か月に学校図書館を利用した回数と借りた本の冊数を平成27年度のアンケート結果と比較したところ、学校図書館へ1回も行かなかった割合が、小学校5年生と中学校2年生で減少しています（P14図9）。1冊も借りなかった割合は各学年とも大幅に減少しており、中学2年生においては44%減少しています（図10）。このことから、全く本を手にとらなかった児童・生徒が減ったことが分かります。小学生では3～6冊借りる割合が大幅に増加しています。

また、学校図書館へ行かない理由として、平成27年度のアンケート結果では学校図書館へ「行く時間がない」がすべての学年で首位でしたが、今回の調査では「行きたいと思わない」が小学5年生と中学2年生で首位となり割合も多くなっています。本の入手先についても「買う」と答えた割合は学年が上がるにつれて増えています。選択して借りるだけでなく、情報提供の場としての学校図書館の利活用にさらに力を入れていく必要があります。

【課題・取組み】

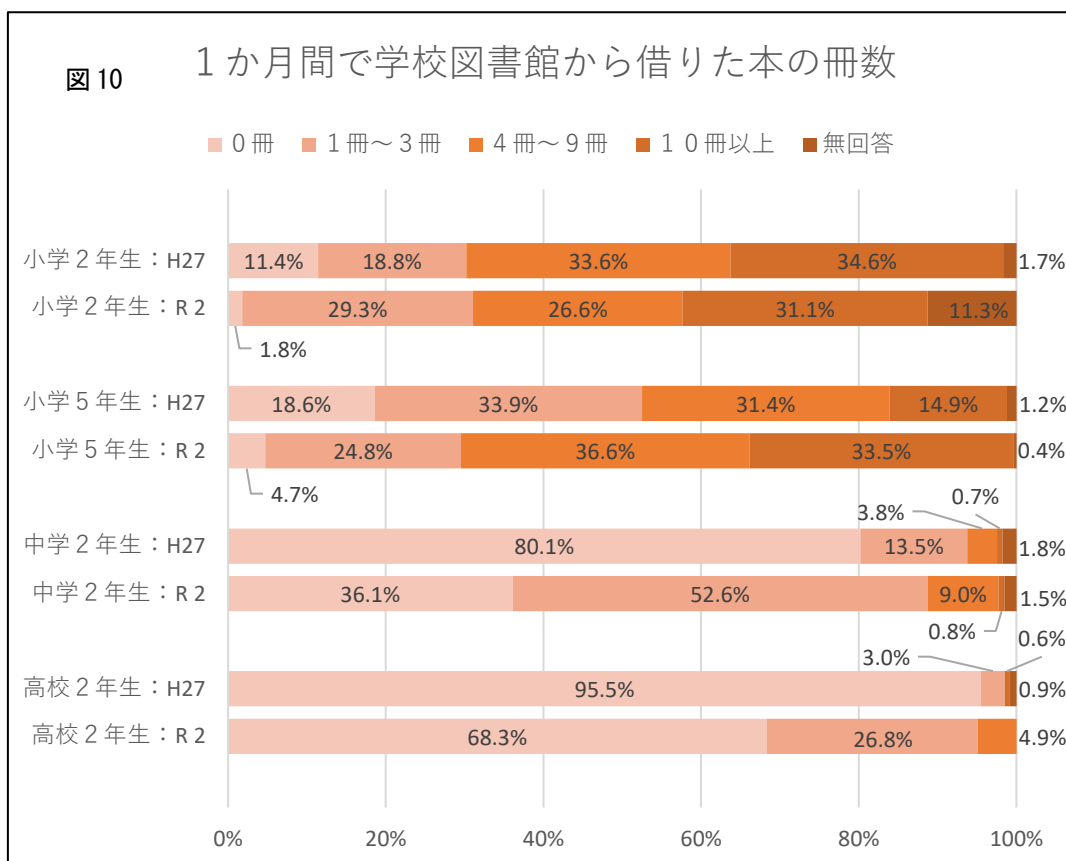
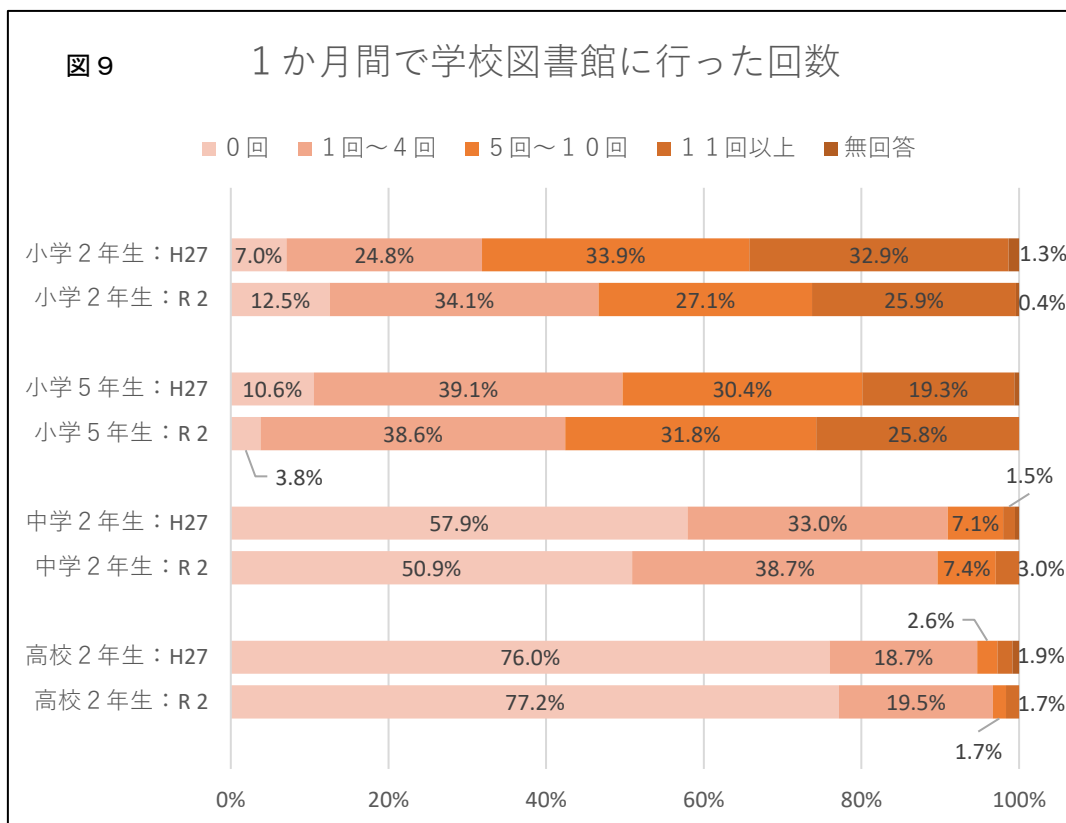
課 題	児童・生徒が学校図書館を利用しやすくなるような環境づくりが必要です。
取組み	<p>○子ども読書活動支援員の読書に関する相談対応や教材準備への支援、図書委員会活動等の活性化を推進し、児童生徒の学びに寄り添う学校図書館を目指します。【拡充】</p> <p>○児童・生徒のリクエストに応じて蔵書を充実させ、推薦図書コーナーなどの図書紹介や児童・生徒の興味を惹く図書展示に努めます。【拡充】</p> <p>○小・中学校の連携を意識し、児童・生徒の成長の実態に合わせた読書環境の整備に努めます。</p>

課 題	市立図書館と学校との連携を強化するとともに、情報発信と共有化が必要です。
取組み	<p>○子ども読書活動支援員と市立図書館職員の連絡会議を継続し、市立図書館の図書案内や情報を共有していきます。【新規】</p> <p>○学校図書館担当職員と市立図書館職員の研修会等を実施します。</p> <p>○市立図書館を知る機会の提供に努めます。【新規】</p> <p>○授業で市立図書館の資料を積極的に活用し、市立図書館が身近に感じられるように努めます。</p>

課 題	児童・生徒が本とふれることができるように読書時間をつくるのが大切です。
取組み	<p>○小学校では、家庭学習を曜日によって読書に替えたり、朝読書やすきま時間を利用して読書時間を確保したりするなど、工夫します。【拡充】</p> <p>○中学校では、朝読書の時間や昼休みに、定期的に読書ができる時間を確保します。【拡充】</p>



【アンケート調査結果】



4 地域における読書活動の推進

子どもの読書活動を支援する取り組みとして、読み聞かせをはじめ様々なボランティアグループが活動しています。また、地域内の施設を利用して、子どもたちが大人と一緒に読書を通してコミュニケーションを図ることは、自分たちが社会全体に支えられていることを実感できるよい機会となります。

【第1次計画の成果と現状】

① ボランティアグループの活動

市内に4団体ある読み聞かせボランティアグループ^{※4}は、図書館に留まらず、各学校や商業施設等で自主的に読み聞かせ会を開催しているほか、グループ同士で研修会を実施するなど積極的に活動し、地域における子どもの読書活動を支援していますが、会員の固定化の解消が課題となっています。

また、令和元年度に市全域に学校支援地域本部が設置され、地域が学校に関わる活動の中で読書活動についても積極的に支援しています。

② 放課後児童クラブへの支援

学校の放課後、子どもが利用する放課後児童クラブは、14施設から15施設に増え、約半数の児童クラブが普段の活動の中に読み聞かせを取り入れています。

各施設の図書設置スペースや、蔵書数は平成27年度のアンケート調査の数値を維持していますが、市立図書館による施設配本の利用率は、平成27年度5割から令和2年度8割強に増え、子どもたちが数多くの本とふれあう有効な手段となっています。

③ 家庭教育支援チームへの支援【新規】

市の家庭教育支援チーム^{※5}は、地域の人材力を生かし、親の学びや育ちを応援するとともに、学校・行政・福祉関係機関と連携し、子育てや家庭教育をサポートする活動を行っています。

市立図書館では、家庭教育支援チームが行っている保護者の交流・相談の場に、本の紹介や読書活動等の情報提供を行っています。

※4 読み聞かせボランティアグループ：「絵本を楽しむ会 お話タイム」「読み聞かせボランティア みんなの森」「おはなし会 ひまわり」「おはなし はあと」「おはなしグループ ワクワクはあと（湯沢南地域学校支援本部）」

※5 家庭教育支援チーム：「湯沢おやじの会」「和輪人（わわっと）」（平成29年文部科学省登録）

【課題・取組み】

課題	ボランティアグループが充実した活動をするために、組織の強化が必要です。
取組み	○読み聞かせボランティア養成講座や研修会の受講を推進します。 ○市立図書館や学校等の施設での読み聞かせ活動を推進します。

課題	放課後児童クラブ等では、図書設置スペースが狭いため蔵書数に限りがあり支援が必要です。
取組み	○放課後児童クラブ等における施設配本の利用の拡充を図り、多種多様な本を子どもたちに提供します。

課題	家庭教育支援チームでは、チーム員の資料を活用し保護者への情報提供しているため、資料の種類に限りがあり支援が必要です。
取組み	○家庭教育・子育て関連図書の拡充を図り、保護者の交流・相談会の際に提供します。【新規】



5 市立図書館等における読書活動の推進

図書館は、多くの図書の中から利用者が読みたい本を自由に選択し、豊富な知識や有効な情報を提供する機関であり、子どもにとっては、読書を楽しんだり、調べものをしたり、保護者にとっては、自分の子どもに与えたい本を選択したり、子どもの読書について相談したりすることができる場所です。

市立図書館では、次世代を担う子どもたちの多様なニーズに応えるため児童室を設置し、子ども向けに様々な本を備え、読書の機会や場所の提供、イベントの開催など子どもの読書活動推進の中核的な役割を担っています。

【第1次計画の成果と現状】

① 地域の図書施設^{※6}の利用状況

「1か月間で地域の図書施設を利用した回数」は、平成27年度のアンケート調査より利用していない割合が高く、小学生では7割弱、中学・高校生・乳幼児の保護者では8割強ほどが、1度も図書施設を利用していませんでした(P20図11)。

本を読むことは、日常過ごしている学校や自宅が多く、さらに読む本は、買うか、学校図書館などから借りる人が多い状況は変わりませんでした。

図書施設を利用しない理由の多くは「行く時間がない」でしたが、「その他」の理由では「家族が連れて行ってくれない」「新型コロナウイルス感染症予防のため外出を控えた」を挙げる人が多くいました。

② 図書施設の読書環境

図書施設では、多種多様な要求に対応できる幅広い分野から図書を取り揃え、いつでも自由に本に親しめる環境をつくっています。

また、「大型絵本」やエプロンシアター用の図書を所蔵し、読み聞かせボランティアの活動を支援するとともに、乳幼児期から読書習慣を身に付けられるように読み聞かせ会を定期的実施しています。

さらに、子どもたちの読書意欲の向上を目指し、令和元年度から通帳型の記録帳「湯沢市読書の記録」を導入したほか、絵本作家等を招聘し開催する「読書フェスタ」や、図書施設に足を運んでくれるよう図書施設共通イベントを実施するなど多様な読書の体験の機会を提供しています。

※6 図書施設：湯沢図書館、雄勝図書館、稲川カルチャーセンター、皆瀬生涯学習センター

③ 学校や乳幼児施設等との連携

市立図書館では、学校の授業に対応した図書の購入を心掛け、教科書掲載の図書や調べ学習用の図書を整備してきました。

平成28年度からは、学校における子どもたちの読書活動の支援や学校図書館の整備のほか、教師と市立図書館をつなぐ役割も担っている子ども読書活動支援員の活動を支援しています。

また、認定こども園や放課後児童クラブ等で子どもたちの発達に応じて多くの絵本や本に親しむ機会を提供できるように施設の要望に沿った施設配本に取り組んでいます。

④ 職員体制

図書の購入においては、特定のニーズに偏らないあらゆる分野からの良書を選書し、また、子どもたちに読書の習慣が身につくサービスを提供するために、職員が専門性や企画力の向上を図り、利用者が満足できる図書館の運営に努めています。

⑤ 電子書籍の普及状況

スマートフォンやタブレット等の急速な普及により、電子書籍が次々に出版され、読書を楽しむためのアプリも相次いで登場しているなか、電子書籍(マンガを除く)の利用について、大きな変動はありませんでした(図12)。

「紙の本」には電子書籍では味わえない読書体験ができるなどの特性がありますが、電子書籍は、読書アクセシビリティ^{※7}に対応し、いつでも、どこでも、手軽に読書を楽しめるという利点があります。学校のGIGAスクール構想との関わりや、電子図書館の導入の可能性も含め、今後の推移を見定めていく必要があります。

【課題・取組み】

課題	親子で読書の楽しみを実感できる魅力的な図書館の環境づくりが求められています。
取組み	○児童室で年代に合わせた図書の展示や装飾を工夫します。 ○読書行事や家族で楽しめるイベントを実施します。 ○市主催のイベントへ積極的に参加し、読書の楽しさを伝えます。 ○「子ども読書の日」等の啓発事業を積極的に推進します。 ○読書意欲を高めるため「湯沢市読書の記録」の発行対象者を拡大し、図書館の利用拡充を図ります。【新規】 ○利用しやすい図書館となるために職員の資質向上に努めます。

※7 アクセシビリティ：年齢や障がいの有無に関係なく、使いやすい方法で誰もが利用できるようにすることです。

課題	利用者ニーズに合った資料の充実と、見てもらえる情報の提供が必要です。
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○中学・高校生向けの図書館情報の提供に努めます。 ○所蔵図書やサービス等の情報を広報紙、ホームページやSNSを活用して積極的に発信します。 ○郷土の資料を積極的に収集し、子どもの学習に役立てます。

課題	学校や乳幼児施設等との連携を強化し、図書館の機能を十分に発揮することが必要です。
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や乳幼児施設等それぞれの施設のニーズに合わせて図書や情報を提供します。 ○図書館の役割や意義を学ぶ機会として職場体験学習や施設見学を受け入れます。 ○学校や乳幼児施設等向けの図書館サービスの周知と利用の拡大を図ります。 ○子ども読書活動支援員への支援の強化を図ります。【新規】

課題	地域の図書施設に来館できない場合のサービスのあり方や、遠い地区に住んでいる子どもたちの読書環境の改善が必要です。
取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校及び福祉施設への配本サービスを拡充します。【拡充】 ○非来館型のサービスとして電子図書館の導入について検討します。【新規】



図11

1か月間で地域の図書館を利用した回数

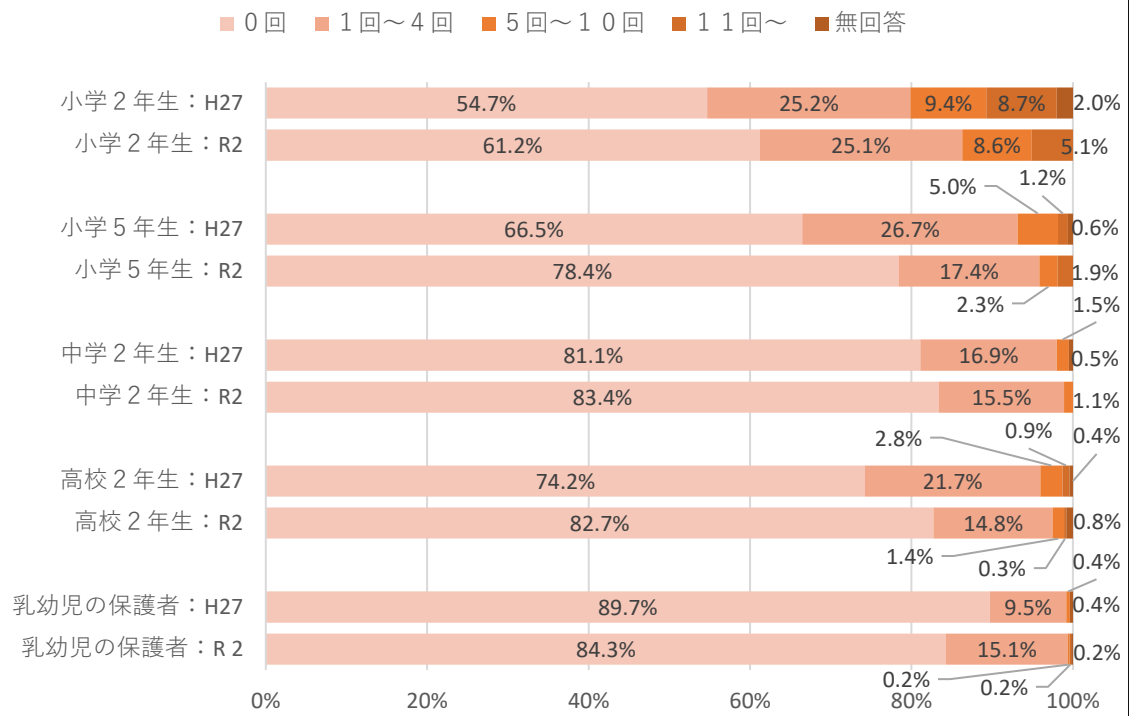
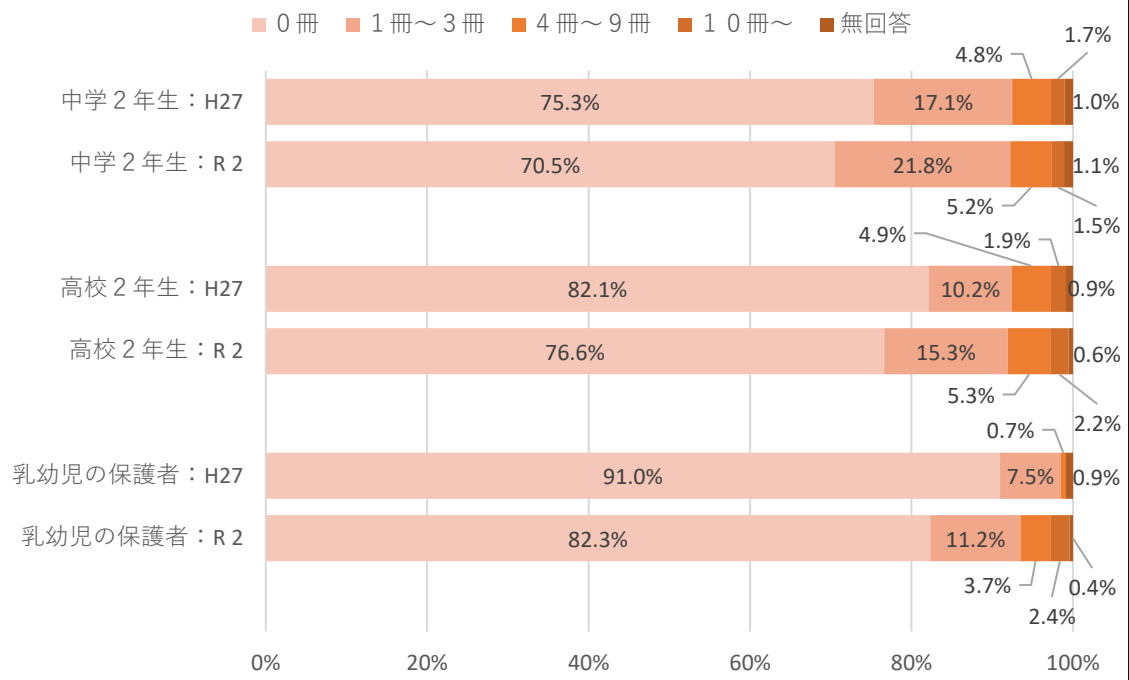


図12

1か月間で電子書籍を読んだ冊数



第3章 計画の推進に向けて

1 推進体制

子どもの読書活動を支援する取り組みは、家庭をはじめ子どもの日常生活に係わる各施設等がそれぞれの機能を十分に発揮できる体制が必要です。

本計画の推進にあたっては、家庭、各施設、学校、市民団体や市立図書館を中心とした子どもの読書活動に係わる市の各課が、情報の共有化を図り連携を強化しそれぞれの役割を担い効果的に事業を展開します。

2 事業の検証

各年度において計画に基づく事業の進捗状況を、平成28年度に設置した子ども読書活動推進会議で検証を行い、次年度事業や次期計画などに反映させます。

3 目標値

- (1) 毎年、小学2年生・小学5年生及び中学2年生を対象としてアンケート調査を実施し、それぞれの項目で令和7年度までに目標の割合の数値となることを目指します。

◎本を読むことについて「好き」な児童・生徒の割合

区分		調査結果	目標値
		令和2年度	令和7年度
小学生	2年生	67.8%	73.0%
	5年生	50.0%	55.0%
中学生	2年生	32.1%	35.0%

◎1か月間に読んだ本の冊数が0冊の児童・生徒の割合

区分		調査結果	目標値
		令和2年度	令和7年度
小学生	2年生	0.0%	0.0%
	5年生	0.4%	0.0%
中学生	2年生	11.1%	10.0%

◎1か月間に、学校の図書館や図書コーナー等に11回行くことを目指します。

- (2) 4歳児以上の保護者が、自分の子どもへ読み聞かせをする頻度「週に3～4回」以上（「毎日読んでいる」を含む）の割合

区分	調査結果	目標値
	令和2年度	令和7年度
4歳以上保護者	34.4%	39.0%



第2次湯沢市子ども読書活動推進計画取組み検証シート

【実施状況評価／ ○…実施した △…概ね実施した ×…実施できなかった】

1. 家庭における読書活動の推進

課題	乳幼児期から絵本とふれあい、家庭で読み聞かせを継続できるように支援が必要です。						
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○「ブックスタート」等読み聞かせ活動の推進						
	○「ブックスタート」後の追跡調査の実施及び保護者への啓発活動						
	○子育て支援センターへ絵本等図書の提供の充実						

課題	大人が読書活動の意義を理解し、家族がそろって本を読むなど家庭環境をつくるための支援が必要です。						
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○推薦図書等の紹介と、家庭での読書活動の普及						
	○子育て関連図書コーナーの充実						

2. 認定こども園・保育所における読書活動の推進

課題	子どもが多くの本とふれあう機会をつくるのが大切です。						
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○定期的な施設配本を利用した多様な本の提供						
	○児童施設での読み聞かせの継続実施						

課題	保護者へ読書活動のより一層の啓発が必要です。						
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○推薦図書を含む読書活動情報紙の発行						

3. 学校における読書活動の推進

課題	児童・生徒が学校図書館を利用しやすくなるような環境づくりが必要です。					
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○子ども読書活動支援員による、児童生徒の学びに寄り添った学校図書館運営					
	○蔵書の充実と手に取りやすい図書展示					
	○児童・生徒の成長に合わせた読書環境の整備					

課題	市立図書館と学校との連携を強化するとともに、情報の共有化が必要です。					
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○子ども読書活動支援員と市立図書館職員の連絡会議による情報の共有化					
	○学校図書館担当職員と市立図書館職員の研修等の実施					
	○市立図書館を知る機会の提供					
	○授業での市立図書館資料の積極的活用					

課題	児童・生徒が本とふれることができるように読書時間をつくるのが大切です。					
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○小学校における読書時間の確保					
	○中学校における読書時間の確保					

4. 地域における読書活動の推進

課題	ボランティアグループが充実した活動をするために、組織の強化が必要です。					
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○ボランティア養成講座等各種研修会の受講の推進					
	○図書館、学校等での読み聞かせ活動の推進					

課題	放課後児童クラブ等では、図書設置スペースが狭いため蔵書数に限りがあり支援が必要です。					
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○施設配本の利用の拡充による多種多様な本の提供					

課題	家庭教育支援チームでは、チーム員の資料を活用し保護者への情報提供しているため、資料の種類に限りがあり支援が必要です。					
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○保護者の交流・相談会の際の本の提供					

5. 市立図書館等における読書活動の推進

課題		親子で読書の楽しみを実感できる魅力的な図書館の環境づくりが求められています。					
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○児童室の図書展示や装飾の工夫						
	○読書行事やイベントを実施						
	○市主催のイベントへの積極的な参加による読書体験の機会の提供						
	○啓発事業の積極的推進						
	○「湯沢市読書の記録」発行対象者拡大						
	○職員の資質向上						

課題		利用者ニーズに合った資料の充実と、見てもらえる情報の提供が必要です。					
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○中学・高校生向けの図書館情報の提供						
	○広報紙、ホームページやSNSを活用しての積極的な発信						
	○郷土資料の収集と学習への提供						

課題		学校や乳幼児施設等との連携を強化し、図書館の機能を十分に発揮することが必要です。					
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○学校や施設のニーズに合わせた図書や情報の提供						
	○職場体験学習や施設見学の受け入れ						
	○学校や乳幼児施設等向けの図書館サービスの周知と利用の拡大						
	○子ども読書活動支援員への支援の強化						

課題		市立図書館等に来館できない場合のサービスのあり方や、遠い地区に住んでいる子どもたちの読書環境の改善が必要です。					
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	総評
取組	○小・中学校及び福祉施設への配本サービスの拡充						
	○電子図書館の導入の検討						

資 料 編

1	子どもの読書活動推進に関する調査結果	
(1)	児童・生徒	29
(2)	乳幼児の保護者	40
(3)	小学校・中学校・高等学校	47
(4)	認定こども園・幼稚園・保育園・放課後児童クラブ等	50
(5)	放課後時間の使い方	53
2	関係法令	
(1)	子どもの読書活動の推進に関する法律	57
(2)	秋田県民の読書活動の推進に関する条例	59
(3)	湯沢市子ども読書活動推進計画策定会議要綱	60
3	湯沢市子ども読書活動推進計画策定会議名簿	62

1 子どもの読書活動推進に関する調査結果

(1)児童・生徒

区分	小学2年生		小学5年生	
	H27	R2	H27	R2
回答者合計	298人	255人	322人	264人

1 男女の別

区分	小学2年生		小学5年生	
	H27	R2	H27	R2
1 男	148人	127人	174人	139人
2 女	150人	128人	145人	125人
3 無回答	0人	0人	3人	0人
合計	298人	255人	322人	264人

4 本を読むことについて

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 好き	217人	72.8%	173人	67.8%	163人	50.6%	132人	50.0%
2 どちらかという好き	60人	20.1%	64人	25.1%	120人	37.3%	103人	39.0%
3 どちらかという嫌い	10人	3.4%	12人	4.7%	32人	9.9%	17人	6.4%
4 嫌い	11人	3.7%	6人	2.4%	6人	1.9%	9人	3.4%
5 無回答	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	0.3%	3人	1.1%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

5 本を読む理由

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 おもしろいから、楽しいから	229人	76.8%	182人	71.4%	252人	78.3%	214人	81.1%
2 ためになるから	126人	42.3%	133人	52.2%	158人	49.1%	128人	48.5%
3 友達が読むから	52人	17.4%	32人	12.5%	11人	3.4%	22人	8.3%
4 家の人や先生が本を読めというから	26人	8.7%	29人	11.4%	21人	6.5%	41人	15.5%
5 本を読むと、家の人や先生にほめられるから	70人	23.5%	48人	18.8%	5人	1.6%	10人	3.8%
6 調べものをするため	130人	43.6%	115人	45.1%	64人	19.9%	70人	26.5%
7 その他	14人	4.7%	11人	4.3%	18人	5.6%	31人	11.7%

6 本を読む場所

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 自宅や友人の家	190人	63.8%	186人	72.9%	202人	62.7%	202人	76.5%
2 地域の図書館	99人	33.2%	62人	24.3%	69人	21.4%	56人	21.2%
3 学校の図書館	196人	65.8%	151人	59.2%	127人	39.4%	107人	40.5%
4 教室	246人	82.6%	215人	84.3%	241人	74.8%	232人	87.9%
5 その他	21人	7.0%	18人	7.1%	6人	1.9%	14人	5.3%

7 好きな本の分野

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 絵本	152人	51.0%	153人	60.0%	82人	25.5%	86人	32.6%
2 物語	164人	55.0%	143人	56.1%	232人	72.0%	202人	76.5%
3 生活科の本	87人	29.2%	72人	28.2%	43人	13.4%	35人	13.3%
4 理科の本	0人	0.0%	49人	19.2%	53人	16.5%	68人	25.8%
5 図鑑	166人	55.7%	152人	59.6%	77人	23.9%	73人	27.7%
6 工作や手芸の本	112人	37.6%	99人	38.8%	86人	26.7%	83人	31.4%
7 スポーツの本	108人	36.2%	90人	35.3%	95人	29.5%	80人	30.3%
8 その他	28人	9.4%	29人	11.4%	53人	16.5%	51人	19.3%

8 本の選び方

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 家族がすすめる本	19人	6.4%	9人	3.5%	11人	3.4%	13人	4.9%
2 先生がすすめる本	11人	3.7%	1人	0.4%	2人	0.6%	4人	1.5%
3 友人がすすめる本	6人	2.0%	10人	3.9%	15人	4.7%	12人	4.5%
4 地域の図書館などですすめる本	10人	3.3%	4人	1.6%	8人	2.5%	1人	0.4%
5 自分で本を見て選ぶ	160人	53.7%	177人	69.4%	259人	80.4%	214人	81.1%
6 人気のある本	89人	29.9%	54人	21.2%	25人	7.8%	20人	7.6%
7 無回答	3人	1.0%	0人	0.0%	2人	0.6%	0人	0.0%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

9 本の入手先

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 学校の図書館で借りる	158人	53.0%	124人	48.6%	160人	49.7%	116人	43.9%
2 地域の図書館で借りる	18人	6.0%	27人	10.6%	23人	7.1%	18人	6.8%
3 友達に借りる	3人	1.0%	1人	0.4%	6人	1.9%	1人	0.4%
4 自宅にある本	52人	17.5%	45人	17.6%	47人	14.6%	31人	11.7%
5 買う	59人	19.8%	54人	21.2%	82人	25.5%	92人	34.8%
6 その他	5人	1.7%	3人	1.2%	3人	0.9%	2人	0.8%
7 無回答	3人	1.0%	1人	0.4%	1人	0.3%	4人	1.5%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

10 小学校入学前に本を読んでもらった頻度

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 よく読んでもらった	133人	44.6%	85人	33.3%	117人	36.3%	92人	34.8%
2 時々読んでもらった	83人	27.9%	87人	34.1%	136人	42.3%	115人	43.6%
3 あまり読んでもらわなかった	39人	13.1%	36人	14.1%	46人	14.3%	33人	12.5%
4 読んでもらわなかった	42人	14.1%	45人	17.6%	20人	6.2%	23人	8.7%
5 無回答	1人	0.3%	2人	0.8%	3人	0.9%	1人	0.4%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

11 本を読んでもらった人

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 父	30人	11.8%	23人	11.1%	26人	8.7%	18人	7.5%
2 母	155人	60.8%	142人	68.3%	206人	68.9%	168人	70.0%
3 兄や姉	21人	8.2%	15人	7.2%	9人	3.0%	10人	4.2%
4 祖父母	37人	14.5%	20人	9.6%	48人	16.1%	30人	12.5%
5 その他	12人	4.7%	8人	3.8%	6人	2.0%	11人	4.6%
6 無回答	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	1.3%	3人	1.3%
合計	255人	100.0%	208人	100.0%	299人	100.0%	240人	100.0%

12 6月中に読んだ本の冊数

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0冊	2人	0.7%	0人	0.0%	8人	2.5%	1人	0.4%
2 1冊	4人	1.3%	5人	2.0%	13人	4.1%	5人	1.9%
3 2冊	12人	4.0%	9人	3.5%	23人	7.1%	13人	4.9%
4 3冊	13人	4.4%	9人	3.5%	49人	15.2%	15人	5.7%
5 4冊～6冊	27人	9.1%	22人	8.6%	66人	20.5%	58人	22.0%
6 7冊～9冊	41人	13.7%	38人	14.9%	51人	15.8%	40人	15.2%
7 10冊～20冊	94人	31.5%	53人	20.8%	65人	20.2%	82人	31.1%
8 21冊以上	81人	27.2%	117人	45.9%	36人	11.2%	43人	16.3%
9 無回答	24人	8.1%	2人	0.8%	11人	3.4%	7人	2.7%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

13-1 読まなかった理由(複数回答)

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 本を読む時間がないから	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	50.0%	1人	100.0%
2 本を読むのが嫌いだから	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	25.0%	0人	0.0%
3 読みたい本がないから	1人	100.0%	0人	0.0%	1人	12.5%	0人	0.0%
4 その他	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	12.5%	0人	0.0%
合計	1人	100.0%	0人	0.0%	8人	100.0%	1人	100.0%

13-2 読む時間のない理由(複数回答)

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 勉強(宿題や塾)があるから	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	20.0%	1人	100.0%
2 スポーツクラブやおけいこごとがあるから	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	80.0%	0人	0.0%
3 友達と遊んでいるから	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	40.0%	0人	0.0%
4 テレビを見たり、ゲームをしているから	0人	0.0%	0人	0.0%	5人	100.0%	0人	0.0%
5 その他	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
6 無回答			0人	0.0%			0人	0.0%
合計	0人		0人	0.0%	12人		1人	100.0%

14 6月中に読んだマンガの冊数

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0冊	66人	22.2%	66人	25.9%	60人	18.6%	42人	15.9%
2 1冊	28人	9.4%	17人	6.7%	31人	9.6%	16人	6.1%
3 2冊	19人	6.4%	7人	2.7%	36人	11.2%	20人	7.6%
4 3冊	28人	9.4%	17人	6.7%	29人	9.0%	16人	6.1%
5 4冊～6冊	32人	10.7%	21人	8.2%	50人	15.5%	32人	12.1%
6 7冊～9冊	20人	6.7%	9人	3.5%	31人	9.6%	26人	9.8%
7 10冊～20冊(小2:10冊以上)	76人	25.5%	112人	43.9%	34人	10.6%	38人	14.4%
8 21冊以上		0.0%			47人	14.6%	73人	27.7%
9 無回答	29人	9.7%	6人	2.4%	4人	1.3%	1人	0.4%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

15 6月中に学校の図書館へ行った回数

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0回	21人	7.0%	32人	12.5%	34人	10.6%	10人	3.8%
2 1回～2回	30人	10.1%	34人	13.3%	57人	17.7%	44人	16.7%
3 3回～4回	44人	14.8%	53人	20.8%	69人	21.4%	58人	22.0%
4 5回～6回	62人	20.8%	34人	13.3%	50人	15.5%	43人	16.3%
5 7回～10回	39人	13.1%	35人	13.7%	48人	14.9%	41人	15.5%
6 11回以上	98人	32.9%	66人	25.9%	62人	19.3%	68人	25.8%
7 無回答	4人	1.3%	1人	0.4%	2人	0.6%	0人	0.0%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

16 学校の図書館へ行かない理由

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 行きたいと思わない	3人	14.3%	6人	18.8%	9人	26.5%	5人	50.0%
2 行く時間がない	7人	33.3%	12人	37.5%	18人	53.0%	2人	20.0%
3 本を買うので行かない	2人	9.5%	0人	0.0%	1人	2.9%	1人	10.0%
4 読みたい本がない	6人	28.6%	6人	18.8%	3人	8.8%	0人	0.0%
5 その他	1人	4.8%	7人	21.9%	3人	8.8%	1人	10.0%
6 無回答	2人	9.5%	1人	3.1%	0人	0.0%	1人	10.0%
合計	21人	100.0%	32人	100.0%	34人	100.0%	10人	100.0%

17 6月中に学校の図書館で借りた本の数

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0冊	34人	11.4%	4人	1.8%	60人	18.6%	12人	4.7%
2 1冊	13人	4.4%	16人	7.2%	28人	8.7%	8人	3.1%
3 2冊	20人	6.7%	27人	12.2%	38人	11.8%	23人	9.1%
4 3冊	23人	7.7%	22人	9.9%	43人	13.4%	32人	12.6%
5 4冊～6冊	46人	15.4%	35人	15.8%	69人	21.4%	63人	24.8%
6 7冊～9冊	54人	18.1%	24人	10.8%	32人	10.0%	30人	11.8%
7 10冊以上	103人	34.6%	69人	31.1%	48人	14.9%	85人	33.5%
8 無回答	5人	1.7%	25人	11.3%	4人	1.2%	1人	0.4%
合計	298人	100.0%	222人	100.0%	322人	100.0%	254人	100.0%

18 学校の図書館ですること

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 本を借りる	182人	61.1%	171人	67.1%	172人	53.5%	152人	57.6%
2 本を読む	59人	19.8%	43人	16.9%	96人	29.8%	74人	28.0%
3 勉強をする	15人	5.0%	10人	3.9%	3人	0.9%	4人	1.5%
4 調べものをする	32人	10.7%	23人	9.0%	35人	10.9%	22人	8.3%
5 その他	2人	0.7%	5人	2.0%	13人	4.0%	9人	3.4%
6 無回答	8人	2.7%	3人	1.2%	3人	0.9%	3人	1.1%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

19 6月中に地域の図書館へ行った回数

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0回	163人	54.7%	156人	61.2%	214人	66.5%	207人	78.4%
2 1回～2回	43人	14.4%	50人	19.6%	65人	20.2%	32人	12.1%
3 3回～4回	32人	10.8%	14人	5.5%	21人	6.5%	14人	5.3%
4 5回～6回	18人	6.0%	10人	3.9%	7人	2.2%	4人	1.5%
5 7回～10回	10人	3.4%	12人	4.7%	9人	2.8%	2人	0.8%
6 11回以上	26人	8.7%	13人	5.1%	4人	1.2%	5人	1.9%
7 無回答	6人	2.0%	0人	0.0%	2人	0.6%	0人	0.0%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

20 地域の図書館へ行かない理由

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 行きたいと思わない	20人	12.3%	20人	12.8%	29人	13.6%	21人	10.1%
2 行く時間がない	55人	33.7%	55人	35.3%	134人	62.6%	99人	47.8%
3 本を買うので行かない	6人	3.7%	10人	6.4%	8人	3.7%	12人	5.8%
4 読みたい本がない	4人	2.4%	11人	7.1%	8人	3.7%	13人	6.3%
5 遠いので行かない	36人	22.1%	31人	19.9%	23人	10.8%	26人	12.6%
6 その他	41人	25.2%	29人	18.6%	10人	4.7%	34人	16.4%
7 無回答	1人	0.6%	0人	0.0%	2人	0.9%	2人	1.0%
合計	163人	100.0%	156人	100.0%	185人	100.0%	207人	100.0%

21 6月中に地域の図書館で借りた本の数

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0冊	179人	60.1%	15人	15.2%	249人	77.3%	11人	20.0%
2 1冊	15人	5.0%	8人	8.1%	14人	4.3%	6人	10.9%
3 2冊	10人	3.4%	11人	11.1%	19人	5.9%	6人	10.9%
4 3冊	16人	5.3%	13人	13.1%	7人	2.2%	10人	18.2%
5 4冊～6冊	25人	8.4%	16人	16.2%	16人	5.0%	10人	18.2%
6 7冊～9冊	10人	3.4%	5人	5.1%	8人	2.5%	3人	5.5%
7 10冊以上	35人	11.7%	25人	25.3%	6人	1.9%	9人	16.4%
9 無回答	8人	2.7%	6人	6.1%	3人	0.9%	0人	0.0%
合計	298人	100.0%	99人	100.0%	322人	100.0%	55人	100.0%

22 地域の図書館へ行く方法

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 徒歩で行く	13人	4.4%	19人	7.5%	15人	4.6%	8人	3.0%
2 自転車で行く	24人	8.0%	6人	2.4%	63人	19.6%	42人	15.9%
3 車で行く	211人	70.8%	176人	69.0%	207人	64.3%	197人	74.6%
4 その他	9人	3.0%	27人	10.6%	20人	6.2%	11人	4.2%
5 無回答	41人	13.8%	27人	10.6%	17人	5.3%	6人	2.3%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

23 地域の図書館で何をする？

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 本を借りる	108人	36.2%	97人	38.0%	133人	41.3%	147人	55.7%
2 本を読む	67人	22.5%	60人	23.5%	115人	35.7%	46人	17.4%
3 勉強をする	18人	6.0%	6人	2.4%	30人	9.3%	40人	15.2%
4 調べものをする	21人	7.1%	9人	3.5%	9人	2.8%	7人	2.7%
5 インターネットを見る	11人	3.7%	3人	1.2%	6人	1.9%	2人	0.8%
6 その他	27人	9.1%	50人	19.6%	22人	6.8%	12人	4.5%
7 無回答	46人	15.4%	30人	11.8%	7人	2.2%	10人	3.8%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

24 地域の図書館イベントへの参加

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 よく参加した	31人	10.4%	20人	7.8%	9人	2.8%	5人	1.9%
2 時々参加した	43人	14.4%	26人	10.2%	26人	8.1%	22人	8.3%
3 あまり参加しなかった	27人	9.1%	29人	11.4%	55人	17.1%	35人	13.3%
4 参加しなかった	192人	64.4%	174人	68.2%	229人	71.1%	201人	76.1%
5 無回答	5人	1.7%	6人	2.4%	3人	0.9%	1人	0.4%
合計	298人	100.0%	255人	100.0%	322人	100.0%	264人	100.0%

25 イベントに参加しない理由

区分	小学2年生				小学5年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 ほかの用事があった	34人	17.7%	26人	14.9%	46人	20.1%	47人	23.4%
2 知らなかった	98人	51.1%	99人	56.6%	99人	43.2%	92人	45.8%
3 図書館にひとりで行くことができない	25人	13.0%	13人	7.4%	20人	8.7%	13人	6.5%
4 興味がない	35人	18.2%	37人	21.1%	64人	28.0%	49人	24.4%
5 無回答	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	192人	100.0%	175人	100.0%	229人	100.0%	201人	100.0%

区分	中学2年生		高校2年生	
	H27	R2	H27	R2
回答者合計	397人	271人	470人	359人

1 男女の別

区分	中学2年生		高校2年生	
	H27	R2	H27	R2
1 男	218人	135人	232人	190人
2 女	177人	135人	233人	169人
3 無回答	2人	1人	5人	0人
合計	397人	271人	470人	359人

4 本を読むことについて

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 好き	172人	43.3%	87人	32.1%	210人	44.7%	119人	33.1%
2 どちらかという人喜欢	161人	40.6%	123人	45.4%	163人	34.7%	150人	41.8%
3 どちらかという嫌い	50人	12.6%	37人	13.7%	73人	15.5%	65人	18.1%
4 嫌い	12人	3.0%	22人	8.1%	22人	4.7%	24人	6.7%
5 無回答	2人	0.5%	2人	0.7%	2人	0.4%	1人	0.3%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

5 本を読む理由

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 おもしろいから、楽しいから	329人	82.9%	220人	81.2%	376人	80.0%	281人	78.3%
2 ためになるから	164人	41.3%	103人	38.0%	141人	30.0%	124人	34.5%
3 友達が読むから	15人	3.8%	13人	4.8%	16人	3.4%	9人	2.5%
4 家の人や先生が本を読めというから	0人	0.0%	30人	11.1%	0人	0.0%	23人	6.4%
5 本を読むと、家の人や先生にほめられるから	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	1人	0.3%
6 調べものをするため	85人	21.4%	63人	23.2%	61人	13.0%	58人	16.2%
7 その他	13人	3.3%	15人	5.5%	17人	3.6%	9人	2.5%

6 本を読む場所

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 自宅や友人の家	276人	69.5%	186人	68.6%	424人	90.2%	312人	86.9%
2 地域の図書館	19人	4.8%	16人	5.9%	50人	10.6%	14人	3.9%
3 学校の図書館	35人	8.8%	62人	22.9%	34人	7.2%	40人	11.1%
4 教室	340人	85.6%	220人	81.2%	78人	16.6%	77人	21.4%
5 その他	5人	1.3%	4人	1.5%	14人	3.0%	14人	3.9%

7 好きな本の分野

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 児童書や絵本	42人	10.6%	41人	15.1%	45人	9.6%	38人	10.6%
2 小説やエッセイなどの文学の本	260人	65.5%	181人	66.8%	331人	70.4%	266人	74.1%
3 歴史や地理の本	71人	17.9%	36人	13.3%	63人	13.4%	30人	8.4%
4 自然科学の本	46人	11.6%	39人	14.4%	36人	7.7%	28人	7.8%
5 芸術(美術・音楽など)の本	30人	7.6%	19人	7.0%	54人	11.5%	30人	8.4%
6 実用書(木工、機械、料理、手芸などの本)	56人	14.1%	25人	9.2%	51人	10.9%	37人	10.3%
7 スポーツの本	137人	34.5%	81人	29.9%	109人	23.2%	65人	18.1%
8 資格取得に必要な本	0人	0.0%	16人	5.9%	0人	0.0%	39人	10.9%
9 その他	31人	7.8%	29人	10.7%	44人	9.4%	31人	8.6%

8 本の選び方

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 家族がすすめる本	21人	5.3%	11人	4.1%	19人	4.0%	8人	2.2%
2 先生がすすめる本	1人	0.3%	3人	1.1%	2人	0.5%	4人	1.1%
3 友人がすすめる本	26人	6.5%	18人	6.6%	19人	4.0%	15人	4.2%
4 地域の図書館などですすめる本	3人	0.8%	4人	1.5%	5人	1.1%	0人	0.0%
5 自分で本を見て選ぶ	297人	74.8%	209人	77.1%	358人	76.2%	294人	81.9%
6 人気のある本	47人	11.8%	25人	9.2%	66人	14.0%	37人	10.3%
7 無回答	2人	0.5%	1人	0.4%	1人	0.2%	1人	0.3%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

9 本の入手先

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 学校の図書館で借りる	34人	8.6%	58人	21.4%	23人	4.9%	21人	5.8%
2 地域の図書館で借りる	5人	1.3%	5人	1.8%	28人	6.0%	6人	1.7%
3 友達に借りる	22人	5.5%	10人	3.7%	29人	6.2%	5人	1.4%
4 自宅にある本	44人	11.1%	28人	10.3%	35人	7.4%	13人	3.6%
5 買う	283人	71.2%	169人	62.4%	346人	73.6%	309人	86.1%
6 その他	5人	1.3%	1人	0.4%	6人	1.3%	3人	0.8%
7 無回答	4人	1.0%	0人	0.0%	3人	0.6%	2人	0.6%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

10 小学校入学前に本を読んでもらった頻度

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 よく読んでもらった	166人	41.8%	110人	40.6%	202人	43.0%	149人	41.5%
2 時々読んでもらった	159人	40.0%	113人	41.7%	190人	40.4%	150人	41.8%
3 あまり読んでもらわなかった	40人	10.1%	24人	8.9%	51人	10.9%	27人	7.5%
4 読んでもらわなかった	30人	7.6%	23人	8.5%	25人	5.3%	33人	9.2%
5 無回答	2人	0.5%	1人	0.4%	2人	0.4%	0人	0.0%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

11 本を読んできた人

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 父	29人	7.9%	13人	5.3%	26人	5.9%	20人	6.1%
2 母	235人	64.4%	162人	65.6%	313人	70.7%	223人	68.4%
3 兄や姉	9人	2.5%	11人	4.5%	9人	2.0%	12人	3.7%
4 祖父母	65人	17.8%	42人	17.0%	67人	15.1%	38人	11.7%
5 その他	21人	5.8%	18人	7.3%	28人	6.3%	31人	9.5%
6 無回答	6人	1.6%	1人	0.4%	0人	0.0%	2人	0.6%
合計	365人	100.0%	247人	100.0%	443人	100.0%	326人	100.0%

12 6月中に読んだ本の冊数

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0冊	32人	8.1%	30人	11.1%	211人	44.9%	169人	47.1%
2 1冊	81人	20.4%	58人	21.4%	88人	18.8%	74人	20.6%
3 2冊	102人	25.7%	81人	29.9%	57人	12.1%	60人	16.7%
4 3冊	68人	17.1%	37人	13.7%	50人	10.6%	28人	7.8%
5 4冊～6冊	65人	16.4%	40人	14.8%	35人	7.5%	13人	3.6%
6 7冊～9冊	21人	5.3%	8人	3.0%	9人	1.9%	5人	1.4%
7 10冊～20冊	20人	5.0%	10人	3.7%	15人	3.2%	5人	1.4%
8 21冊以上	5人	1.2%	6人	2.2%	3人	0.6%	3人	0.8%
9 無回答	3人	0.8%	1人	0.4%	2人	0.4%	2人	0.6%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

13-1 読まなかった理由(複数回答)

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 本を読む時間がないから	19人	59.4%	16人	45.7%	149人	70.6%	122人	67.0%
2 本を読むのが嫌いだから	3人	9.4%	11人	31.4%	21人	10.0%	20人	11.0%
3 読みたい本がないから	9人	28.1%	7人	20.0%	38人	18.0%	36人	19.8%
4 その他	1人	3.1%	1人	2.9%	3人	1.4%	4人	2.2%
合計	32人	100.0%	35人	100.0%	211人	100.0%	182人	100.0%

13-2 読む時間のない理由(複数回答)

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 勉強(宿題や塾)があるから	8人	42.1%	10人	62.5%	62人	41.6%	52人	41.9%
2 スポーツクラブやおけいこごとがあるから	6人	31.5%	3人	18.8%	67人	45.0%	59人	47.6%
3 友達と遊んでいるから	1人	5.3%	0人	0.0%	2人	1.3%	0人	0.0%
4 テレビを見たり、ゲームをしているから	3人	15.8%	3人	18.8%	12人	8.1%	10人	8.1%
5 その他	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	2人	1.6%
6 無回答	1人	5.3%	0人	0.0%	6人	4.0%	1人	0.8%
合計	19人	100.0%	16人	100.0%	149人	100.0%	124人	100.0%

14 6月中に読んだマンガの冊数

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0冊	92人	23.2%	78人	28.8%	138人	29.4%	140人	39.0%
2 1冊	35人	8.8%	20人	7.4%	36人	7.7%	31人	8.6%
3 2冊	30人	7.6%	26人	9.6%	42人	8.9%	28人	7.8%
4 3冊	29人	7.3%	19人	7.0%	34人	7.2%	31人	8.6%
5 4冊～6冊	66人	16.6%	32人	11.8%	70人	14.9%	51人	14.2%
6 7冊～9冊	36人	9.1%	18人	6.6%	40人	8.5%	16人	4.5%
7 10冊～20冊(小2:10冊以上)	59人	14.9%	29人	10.7%	59人	12.5%	33人	9.2%
8 21冊以上	49人	12.3%	44人	16.2%	44人	9.4%	26人	7.2%
9 無回答	1人	0.2%	5人	1.8%	7人	1.5%	3人	0.8%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

15 6月中に学校の図書館へ行った回数

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0回	230人	57.9%	138人	50.9%	357人	76.0%	277人	77.2%
2 1回～2回	93人	23.4%	61人	22.5%	62人	13.2%	59人	16.4%
3 3回～4回	38人	9.6%	44人	16.2%	26人	5.5%	11人	3.1%
4 5回～6回	23人	5.8%	10人	3.7%	9人	1.9%	6人	1.7%
5 7回～10回	5人	1.3%	10人	3.7%	3人	0.6%	0人	0.0%
6 11回以上	6人	1.5%	8人	3.0%	9人	1.9%	6人	1.7%
7 無回答	2人	0.5%	0人	0.0%	4人	0.9%	0人	0.0%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

16 学校の図書館へ行かない理由

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 行きたいと思わない	59人	25.6%	42人	30.4%	136人	38.1%	95人	34.3%
2 行く時間がない	82人	35.7%	38人	27.5%	144人	40.3%	115人	41.5%
3 本を買うので行かない	60人	26.1%	39人	28.3%	34人	9.5%	33人	11.9%
4 読みたい本がない	23人	10.0%	11人	8.0%	33人	9.3%	27人	9.7%
5 その他	6人	2.6%	5人	3.6%	9人	2.5%	4人	1.4%
6 無回答	0人	0.0%	3人	2.2%	1人	0.3%	3人	1.1%
合計	230人	100.0%	138人	100.0%	357人	100.0%	277人	100.0%

17 6月中に学校の図書館で借りた本の数

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0冊	318人	80.1%	48人	36.1%	449人	95.5%	56人	68.3%
2 1冊	28人	7.1%	29人	21.8%	8人	1.7%	11人	13.4%
3 2冊	15人	3.7%	30人	22.6%	4人	0.9%	7人	8.5%
4 3冊	11人	2.8%	11人	8.3%	2人	0.4%	4人	4.9%
5 4冊～6冊	10人	2.5%	10人	7.5%	0人	0.0%	4人	4.9%
6 7冊～9冊	5人	1.3%	2人	1.5%	0人	0.0%	0人	0.0%
7 10冊以上	3人	0.7%	1人	0.8%	3人	0.6%	0人	0.0%
8 無回答	7人	1.8%	2人	1.5%	4人	0.9%	0人	0.0%
合計	397人	100.0%	133人	100.0%	470人	100.0%	82人	100.0%

18 学校の図書館ですること

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 本を借りる	90人	22.7%	56人	20.7%	34人	7.2%	29人	8.1%
2 本を読む	93人	23.4%	86人	31.7%	69人	14.7%	70人	19.5%
3 勉強をする	36人	9.1%	32人	11.8%	207人	44.0%	136人	37.9%
4 調べものをする	153人	38.5%	82人	30.3%	92人	19.6%	85人	23.7%
5 その他	19人	4.8%	14人	5.2%	36人	7.7%	30人	8.4%
6 無回答	6人	1.5%	1人	0.4%	32人	6.8%	9人	2.5%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

19 6月中に地域の図書館へ行った回数

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0回	322人	81.1%	226人	83.4%	349人	74.2%	297人	82.7%
2 1回～2回	50人	12.6%	29人	10.7%	76人	16.2%	46人	12.8%
3 3回～4回	17人	4.3%	13人	4.8%	26人	5.5%	7人	1.9%
4 5回～6回	4人	1.0%	3人	1.1%	8人	1.7%	4人	1.1%
5 7回～10回	2人	0.5%	0人	0.0%	5人	1.1%	1人	0.3%
6 11回以上	0人	0.0%	0人	0.0%	4人	0.9%	1人	0.3%
7 無回答	2人	0.5%	0人	0.0%	2人	0.4%	3人	0.8%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

20 地域の図書館へ行かない理由

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 行きたいと思わない	75人	23.3%	67人	29.6%	118人	33.8%	107人	35.9%
2 行く時間がない	148人	46.0%	70人	31.0%	161人	46.1%	127人	42.6%
3 本を買うので行かない	51人	15.8%	43人	19.0%	28人	8.0%	34人	11.4%
4 読みたい本がない	6人	1.9%	5人	2.2%	12人	3.5%	8人	2.7%
5 遠いので行かない	34人	10.5%	27人	11.9%	26人	7.5%	17人	5.7%
6 その他	6人	1.9%	13人	5.8%	4人	1.1%	5人	1.7%
7 無回答	2人	0.6%	1人	0.4%	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	322人	100.0%	226人	100.0%	349人	100.0%	298人	100.0%

21 6月中に地域の図書館で借りた本の数

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0冊	368人	92.7%	26人	57.8%	448人	95.3%	50人	84.7%
2 1冊	9人	2.3%	7人	15.6%	8人	1.7%	4人	6.8%
3 2冊	10人	2.5%	2人	4.4%	5人	1.1%	1人	1.7%
4 3冊	0人	0.0%	2人	4.4%	0人	0.0%	1人	1.7%
5 4冊～6冊	5人	1.2%	3人	6.7%	3人	0.6%	2人	3.4%
6 7冊～9冊	0人	0.0%	1人	2.2%	2人	0.4%	0人	0.0%
7 10冊以上	2人	0.5%	4人	8.9%	0人	0.0%	0人	0.0%
9 無回答	3人	0.8%	0人	0.0%	4人	0.9%	1人	1.7%
合計	397人	100.0%	45人	100.0%	470人	100.0%	59人	100.0%

22 地域の図書館へ行く方法

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 徒歩で行く	11人	2.8%	10人	3.7%	79人	16.8%	82人	22.8%
2 自転車で行く	222人	55.9%	107人	39.5%	274人	58.3%	158人	44.0%
3 車で行く	125人	31.5%	137人	50.6%	103人	21.9%	96人	26.7%
4 その他	29人	7.3%	14人	5.2%	14人	3.0%	16人	4.5%
5 無回答	10人	2.5%	3人	1.1%	0人	0.0%	7人	1.9%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

23 地域の図書館で何をする？

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 本を借りる	91人	22.9%	75人	27.7%	47人	10.0%	35人	9.7%
2 本を読む	80人	20.2%	47人	17.3%	57人	12.1%	46人	12.8%
3 勉強をする	127人	32.0%	102人	37.6%	308人	65.5%	234人	65.2%
4 調べものをする	56人	14.1%	22人	8.1%	35人	7.5%	14人	3.9%
5 インターネットを見る	6人	1.5%	7人	2.6%	6人	1.3%	8人	2.2%
6 その他	27人	6.8%	15人	5.5%	15人	3.2%	15人	4.2%
7 無回答	10人	2.5%	3人	1.1%	2人	0.4%	7人	1.9%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

24 地域の図書館イベントへの参加

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 よく参加した	13人	3.3%	11人	4.1%	43人	9.1%	19人	5.3%
2 時々参加した	51人	12.8%	33人	12.2%	84人	17.9%	66人	18.4%
3 あまり参加しなかった	71人	17.9%	42人	15.5%	93人	19.8%	49人	13.6%
4 参加しなかった	259人	65.2%	183人	67.5%	250人	53.2%	222人	61.8%
5 無回答	3人	0.8%	2人	0.7%	0人	0.0%	3人	0.8%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

26 6月中に読んだ電子書籍の数

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 0冊	299人	75.3%	191人	70.5%	386人	82.1%	275人	76.6%
2 1冊	36人	9.1%	24人	8.9%	23人	4.9%	30人	8.4%
3 2冊	19人	4.8%	19人	7.0%	14人	3.0%	18人	5.0%
4 3冊	13人	3.3%	16人	5.9%	11人	2.3%	7人	1.9%
5 4冊～6冊	13人	3.3%	12人	4.4%	15人	3.2%	11人	3.1%
6 7冊～9冊	6人	1.5%	2人	0.7%	8人	1.7%	8人	2.2%
7 10冊～20冊	5人	1.2%	1人	0.4%	5人	1.0%	4人	1.1%
8 21冊以上	2人	0.5%	3人	1.1%	4人	0.9%	4人	1.1%
9 無回答	4人	1.0%	3人	1.1%	4人	0.9%	2人	0.6%
合計	397人	100.0%	271人	100.0%	470人	100.0%	359人	100.0%

27 読書による影響

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 知識が増える	313人	78.8%	205人	75.6%	361人	76.8%	285人	79.4%
2 言葉を覚える	269人	67.8%	179人	66.1%	275人	58.5%	229人	63.8%
3 創造力が養われる	156人	39.3%	87人	32.1%	210人	44.7%	159人	44.3%
4 読解力が身につく	210人	52.9%	147人	54.2%	268人	57.0%	201人	56.0%
5 表現力が身につく	186人	46.9%	112人	41.3%	192人	40.9%	185人	51.5%
6 想像力が養われる	240人	60.5%	146人	53.9%	242人	51.5%	205人	57.1%
7 理論的な思考が身につく	101人	25.4%	65人	24.0%	124人	26.4%	95人	26.5%
8 感性が養われる	131人	33.0%	72人	26.6%	199人	42.3%	178人	49.6%
9 作文力が身につく	175人	44.1%	125人	46.1%	133人	28.3%	120人	33.4%
10 集中力が身につく	234人	58.9%	158人	58.3%	163人	34.7%	129人	35.9%
11 期待しているものはない	10人	2.5%	10人	3.7%	16人	3.4%	10人	2.8%
12 その他	4人	1.0%	5人	1.8%	6人	1.3%	2人	0.6%

28-1 読書が好きになるための学校での取り組み

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 先生がほめる・評価する	20人	5.0%	14人	5.2%	23人	4.9%	24人	6.7%
2 読書の時間の設定	269人	67.8%	175人	64.6%	314人	66.8%	244人	68.0%
3 「読み聞かせ」などの読書イベントの実施	73人	18.4%	32人	11.8%	50人	10.6%	32人	8.9%
4 「調べ学習」などの図書館を使った学習の充実	108人	27.2%	94人	34.7%	82人	17.4%	91人	25.3%
5 学校図書館の蔵書や情報機器の充実	105人	26.4%	63人	23.2%	87人	18.5%	72人	20.1%
6 学校図書館の開放	66人	16.6%	50人	18.5%	41人	8.7%	45人	12.5%
7 学校の図書館にいつでも相談できる職員を置く	26人	6.5%	18人	6.6%	19人	4.0%	16人	4.5%
8 その他	20人	5.0%	11人	4.1%	20人	4.3%	13人	3.6%

28-2 読書が好きになるための家庭での取り組み

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 家族がほめる・評価する	20人	5.0%	6人	2.2%	18人	3.8%	17人	4.7%
2 本のことについて話をする	87人	21.9%	69人	25.5%	105人	22.3%	79人	22.0%
3 家に本をたくさん置く	184人	46.3%	114人	42.1%	177人	37.7%	136人	37.9%
4 家族も読書をする	73人	18.4%	38人	14.0%	87人	18.5%	65人	18.1%
5 図書館を利用する	95人	23.9%	63人	23.2%	91人	19.4%	58人	16.2%
6 本を買う	255人	64.2%	186人	68.6%	233人	49.6%	219人	61.0%
7 その他	7人	1.8%	8人	3.0%	7人	1.5%	8人	2.2%

28-3 読書が好きになるために地域での取り組み

区分	中学2年生				高校2年生			
	H27		R2		H27		R2	
1 地域の図書館が、中高生向けの図書を充実させる	211人	53.1%	152人	56.1%	209人	44.5%	175人	48.7%
2 図書館以外の公共施設に本を置く	134人	33.8%	86人	31.7%	145人	30.9%	92人	25.6%
3 今ある図書館施設を利用しやすくする	165人	41.6%	130人	48.0%	195人	41.5%	164人	45.7%
4 ビブリオバトルなど読書に関する発表の機会を提供する	50人	12.6%	45人	16.6%	41人	8.7%	51人	14.2%
5 図書館ボランティアの養成講座などを開催する	32人	8.1%	13人	4.8%	23人	4.9%	18人	5.0%
6 その他	14人	3.5%	8人	3.0%	11人	2.3%	5人	1.4%

(2) 乳幼児の保護者

1 お子さんとの続柄

区分	H27	R2
父	21人	34人
母	403人	419人
祖父	0人	0人
祖母	4人	4人
その他	0人	7人
計	428人	464人

2 お子さんの年齢

区分	H27	R2
0歳児	36人	21人
1歳児	88人	94人
2歳児	98人	104人
3歳児	35人	50人
4歳児	3人	16人
5歳児	120人	125人
6歳児	48人	49人
7歳以上	0人	5人
計	428人	464人

3 記入者の年齢

区分	H27	R2
20代	81人	65人
30代	291人	293人
40代	52人	96人
50代	3人	7人
60代	1人	0人
無回答	0人	3人
計	428人	464人

(1) 日ごろの読書の状況

①本を読むことについて(保護者本人)

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
好き	155人	33.4%	210人	45.3%
どちらかという好き	202人	43.5%	228人	49.1%
どちらかという嫌い	100人	21.6%	22人	4.7%
嫌い	7人	1.5%	4人	0.9%
無回答	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

(注)R2年度アンケートは、記入者と子どもを一つにまとめた質問のため単純比較はできません。

②本を読む理由(複数回答)

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
娯楽のため	260人	56.0%	273人	58.8%
趣味のため	201人	43.3%	208人	44.8%
教養のため	173人	37.3%	218人	47.0%
仕事のため	103人	22.2%	108人	23.3%
その他	21人	4.5%	17人	3.7%

③本を読む場所(複数回答)

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
自宅	428人	92.2%	443人	95.5%
地域の図書館	20人	4.3%	23人	5.0%
電車やバスの中	7人	1.5%	4人	0.9%
職場	79人	17.0%	79人	17.0%
その他	22人	4.7%	17人	3.7%

④どんな本が好きですか（複数回答）

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
児童書や絵本	174人	37.5%	264人	56.9%
小説やエッセイなどの文学の本	259人	55.8%	247人	53.2%
歴史や地理の本	42人	9.1%	38人	8.2%
自然科学の本	32人	6.9%	34人	7.3%
芸術(美術・音楽など)の本	39人	8.4%	36人	7.8%
実用書(木工、機械、料理、手芸などの本)	225人	48.5%	206人	44.4%
スポーツの本	25人	5.4%	24人	5.2%
資格取得に必要な本	70人	15.1%	73人	15.7%
その他	29人	6.3%	20人	4.3%

⑤本を選ぶ要因は？

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
家族がすすめる本	16人	3.4%	11人	2.4%
幼稚園や保育施設などの職員がすすめる本	58人	12.5%	24人	5.2%
友人がすすめる本	7人	1.5%	8人	1.7%
地域の図書館などですすめる本	16人	3.4%	11人	2.4%
自分で本を見て選ぶ	309人	66.6%	333人	71.8%
人気のある本	56人	12.1%	75人	16.2%
無回答	2人	0.5%	2人	0.4%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

⑥本の入手先

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
地域の図書館で借りる	62人	13.4%	43人	9.3%
子育て支援センターなどの施設から借りる	6人	1.3%	10人	2.2%
友だちに借りる	6人	1.3%	2人	0.4%
自宅にある本	36人	7.7%	32人	6.9%
買う	340人	73.3%	369人	79.5%
その他	13人	2.8%	8人	1.7%
無回答	1人	0.2%	0人	0.0%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

⑦6月中に何冊本を読みましたか

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
0冊	207人	44.6%	123人	26.5%
1冊	89人	19.2%	86人	18.5%
2冊	58人	12.5%	54人	11.6%
3冊	38人	8.2%	33人	7.1%
4冊～6冊	24人	5.2%	63人	13.6%
7冊～9冊	14人	3.0%	16人	3.4%
10冊～20冊	15人	3.2%	50人	10.8%
21冊以上	12人	2.6%	33人	7.1%
無回答	7人	1.5%	6人	1.3%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

⑧読まなかった理由（複数回答）

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
仕事や家事で忙しいから	181人	87.4%	108人	87.8%
読みたい本がないから	22人	10.6%	14人	11.4%
読書以外にやりたいことがあるから	30人	14.5%	27人	22.0%
本を読むのが嫌いなため	15人	7.2%	5人	4.1%
その他	3人	1.4%	0人	0.0%

⑨6月中に何冊マンガを読みましたか

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
0冊	335人	72.2%	281人	60.6%
1冊	43人	9.3%	27人	5.8%
2冊	25人	5.4%	36人	7.8%
3冊	14人	3.0%	23人	5.0%
4冊～6冊	11人	2.3%	44人	9.5%
7冊～9冊	7人	1.5%	5人	1.1%
10冊以上	22人	4.8%	43人	9.3%
無回答	7人	1.5%	5人	1.1%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

⑩6月中に電子書籍を読みましたか

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
0冊	422人	91.0%	382人	82.3%
1冊	28人	6.0%	26人	5.6%
2冊	5人	1.1%	19人	4.1%
3冊	2人	0.4%	7人	1.5%
4冊～6冊	1人	0.2%	13人	2.8%
7冊～9冊	2人	0.4%	4人	0.9%
10冊以上	0人	0.0%	11人	2.4%
無回答	4人	0.9%	2人	0.4%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

(2)図書館の利用状況

①6月中に地域の図書館へ行った回数

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
0回	416人	89.7%	391人	84.3%
1回～2回	36人	7.8%	53人	11.4%
3回～4回	8人	1.7%	17人	3.7%
5回～6回	1人	0.2%	1人	0.2%
7回～10回	1人	0.2%	0人	0.0%
11回以上		0.0%	1人	0.2%
無回答	2人	0.4%	1人	0.2%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

②図書館に行かない理由

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
行きたいと思わない	59人	14.2%	51人	13.0%
行く時間がない	289人	69.5%	226人	57.8%
本を買うので行かない	22人	5.3%	37人	9.5%
読みたい本がない	2人	0.5%	4人	1.0%
遠いので行かない	9人	2.2%	3人	0.8%
駐車場が狭い	5人	1.2%	9人	2.3%
その他	27人	6.5%	57人	14.6%
無回答	3人	0.6%	4人	1.0%
合計	416人	100.0%	391人	100.0%

③6月中に地域の図書館で借りた本の数

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
0冊	426人	91.8%	15人	20.8%
1冊	1人	0.2%	3人	4.2%
2冊	1人	0.2%	3人	4.2%
3冊	1人	0.2%	2人	2.8%
4冊～6冊	19人	4.2%	15人	20.8%
7冊～9冊	3人	0.6%	11人	15.3%
10冊以上	11人	2.4%	22人	30.6%
無回答	2人	0.4%	1人	1.4%
合計	464人	100.0%	72人	100.0%

④地域の図書館へ行く手段

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
徒歩で行く	17人	3.7%	19人	4.1%
自転車で行く	10人	2.2%	5人	1.1%
車で行く	402人	86.6%	406人	87.5%
その他	8人	1.7%	11人	2.4%
無回答	27人	5.8%	23人	5.0%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

⑤地域の図書館で何をするか

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
本を借りる	230人	49.6%	271人	58.4%
本を読む	88人	19.0%	68人	14.7%
調べものをする	48人	10.3%	29人	6.3%
インターネットを見る	5人	1.1%	7人	1.5%
その他	42人	9.0%	37人	8.0%
無回答	51人	11.0%	52人	11.2%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

⑥地域の図書館のイベントへの参加

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
よく参加する	3人	0.6%	6人	1.3%
時々参加する	40人	8.6%	39人	8.4%
あまり参加しない	61人	13.2%	64人	13.8%
参加しない	353人	76.1%	352人	75.9%
無回答	7人	1.5%	3人	0.6%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

(3) 読み聞かせの状況

① 幼少のころ本を読んでもらったか

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
よく読んでもらった	138人	29.7%	156人	33.6%
時々読んでもらった	186人	40.1%	200人	43.1%
あまり読んでもらわなかった	90人	19.4%	67人	14.4%
読んでもらわなかった	49人	10.6%	37人	8.0%
無回答	1人	0.2%	4人	0.9%
合計	464人	100.0%	464人	100.0%

② 誰に読んでもらったか

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
父	17人	4.1%	21人	5.0%
母	298人	72.0%	338人	79.9%
兄や姉	15人	3.6%	12人	2.8%
祖父母	69人	16.7%	41人	9.7%
その他	11人	2.6%	9人	2.1%
無回答	4人	1.0%	2人	0.5%
合計	414人	100.0%	423人	100.0%

③ 自分の子どもへ本の読み聞かせ頻度(0歳)

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
「毎日読んでいる」	5人	13.2%	7人	33.3%
「週に3~4回」	9人	23.7%	3人	14.3%
「週に1~2回」	8人	21.0%	4人	19.0%
「月に2~3回」	7人	18.4%	5人	23.8%
「それ以下」	9人	23.7%	2人	9.5%
無回答	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	38人	100.0%	21人	100.0%

④ 自分の子どもへ本の読み聞かせ頻度(1歳)

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
「毎日読んでいる」	13人	14.6%	27人	28.7%
「週に3~4回」	22人	24.7%	30人	31.9%
「週に1~2回」	22人	24.7%	20人	21.3%
「月に2~3回」	16人	18.0%	10人	10.6%
「それ以下」	15人	16.9%	7人	7.4%
無回答	1人	1.1%	0人	0.0%
合計	89人	100.0%	94人	100.0%

⑤ 自分の子どもへ本の読み聞かせ頻度(2歳)

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
「毎日読んでいる」	24人	24.5%	29人	27.9%
「週に3~4回」	26人	26.5%	23人	22.1%
「週に1~2回」	15人	15.3%	34人	32.7%
「月に2~3回」	20人	20.4%	13人	12.5%
「それ以下」	11人	11.2%	5人	4.8%
無回答	2人	2.1%	0人	0.0%
合計	98人	100.0%	104人	100.0%

⑥自分の子どもへ本の読み聞かせ頻度(3歳)

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
「毎日読んでいる」	8人	22.9%	20人	40.0%
「週に3～4回」	5人	14.2%	11人	22.0%
「週に1～2回」	8人	22.9%	7人	14.0%
「月に2～3回」	11人	31.4%	5人	10.0%
「それ以下」	3人	8.6%	7人	14.0%
無回答	0人	0.0%	0人	0.0%
合計	35人	100.0%	50人	100.0%

⑦自分の子どもへ本の読み聞かせ頻度(4歳以上)

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
「毎日読んでいる」	25人	12.4%	20人	10.3%
「週に3～4回」	18人	9.0%	47人	24.1%
「週に1～2回」	50人	24.9%	50人	25.6%
「月に2～3回」	68人	33.8%	50人	25.6%
「それ以下」	37人	18.4%	28人	14.4%
無回答	3人	1.5%	0人	0.0%
合計	201人	100.0%	195人	100.0%

⑧ブックスタート

ア ブックスタートを知っているか

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
知っている	307人	66.5%	389人	83.8%
知らない	155人	33.5%	75人	16.2%
合計	462人	100.0%	464人	100.0%

イ ブックスタートは読み聞かせのきっかけになったか

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
きっかけになった	137人	44.6%	230人	59.1%
どちらかといえばきっかけになった	129人	42.0%	129人	33.2%
どちらかといえばきっかけにならなかった	21人	6.9%	12人	3.1%
きっかけにならなかった	20人	6.5%	10人	2.6%
無回答	0人	0.0%	8人	2.1%
合計	307人	100.0%	389人	100.0%

(4)子どもの読書活動の推進に関して

①子どもが読書に興味をもつためにしていること(複数回答)

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
子どもが本を読んだらほめる	222人	47.8%	221人	47.6%
本のことについて話をする	106人	22.8%	133人	28.7%
家に本をたくさん置く	168人	36.2%	228人	49.1%
自分(保護者)が読書している姿を見せる	47人	10.1%	53人	11.4%
図書館へ連れて行く	54人	11.6%	94人	20.3%
「おはなし会」などに参加する	25人	5.4%	27人	5.8%
本を買い与える	177人	38.1%	210人	45.3%
何もしていない	52人	11.2%	35人	7.5%
その他	14人	3.0%	27人	5.8%

②子どもの読書活動を推進するために必要なこと

ア 施設での活動（複数回答）

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
先生がほめる・評価する	115人	24.8%	136人	29.3%
施設の図書 of 充実	202人	43.5%	237人	51.1%
おはなし会などの充実	178人	38.4%	167人	36.0%
ボランティアの受け入れなど、施設、家庭、地域の連携	73人	15.7%	64人	13.8%
保護者への情報提供	167人	36.0%	171人	36.9%
その他	27人	5.8%	19人	4.1%

イ 家庭での活動（複数回答）

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
子どもが本を読んだらほめる	277人	59.7%	267人	57.5%
本のことについて話をする	162人	34.9%	208人	44.8%
家に本をたくさん置く	163人	35.1%	212人	45.7%
家族が読書している姿を見せる	124人	26.7%	158人	34.1%
図書館に連れて行く	172人	37.1%	181人	39.0%
「おはなし会」などに参加する	153人	33.0%	143人	30.8%
本を買い与える	123人	26.5%	157人	33.8%
その他	20人	4.3%	25人	5.4%

ウ 地域での活動（複数回答）

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
公共図書館における子ども向け図書の充実	247人	53.2%	299人	64.4%
施設配本（団体貸出）の充実	93人	20.0%	118人	25.4%
図書館職員の充実	19人	4.1%	23人	5.0%
読み聞かせ会などの催し物の実施	212人	45.7%	194人	41.8%
ボランティアの養成・協力	40人	8.6%	31人	6.7%
教育や読書に関する情報提供	159人	34.3%	165人	35.6%
その他	11人	2.4%	10人	2.2%

③子どもの読書に期待すること（複数回答）

区分	H27		R2	
	人数	割合	人数	割合
知識が増える	311人	67.0%	340人	73.3%
言葉を覚える	301人	64.9%	332人	71.6%
創造力が養われる	281人	60.6%	308人	66.4%
読解力が身につく	235人	50.6%	254人	54.7%
表現力が身につく	217人	46.8%	247人	53.2%
想像力が養われる	302人	65.1%	321人	69.2%
理論的な思考が身につく	64人	13.8%	81人	17.5%
感性が養われる	241人	51.9%	265人	57.1%
作文力が身につく	136人	29.3%	122人	26.3%
集中力が身につく	218人	47.0%	236人	50.9%
期待しているものはない	5人	1.1%	8人	1.7%
その他	5人	1.1%	0人	0.0%

(3) 小学校・中学校・高等学校

	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1.学校数	11校	11校	6校	6校	4校	3校	21校	20校
2.全児童・生徒数	1,886人	1,466人	1,152人	869人	1,456人	1,121人	4,494人	3,456人
3.1年間の書購入費平均	225,890円	244,231円	288,000円	213,917円	412,500円	504,000円	279,180円	320,716円
4.学校図書館の蔵書冊数平均	6,927冊	5,879冊	7,061冊	7,153冊	10,177冊	10,907冊	7,584冊	7,980冊

5 学校図書館の開放状況

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 随時開放している	11	10	6	6	3	0	20	16
2 授業中のみ	0	0	0	0	0	0	0	0
3 放課後のみ	0	0	0	0	1	1	1	1
4 その他	0	0	0	0	0	2	0	2

6 読書する時間の設定状況

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 設定している	11	9	6	6	3	1	20	16
2 設定していない	0	1	0	0	1	2	1	3
3 検討中	0	0	0	0	0	0	0	0

7 読書する時間の実施状況

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 毎日	4	3	6	4	1	1	11	8
2 1回～2回	1	0	0	0	1	0	2	0
3 3回～4回	3	0	0	0	0	0	3	0
4 5回～10回	2	1	0	0	0	0	2	1
5 10回以上	1	5	0	1	0	0	1	6
6 その他	0	0	0	1	1	0	1	1

8 読み聞かせの効果

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 知識が増える	10	8	3	4	3	2	16	14
2 言葉を覚える	11	8	3	5	1	2	15	15
3 創造力が養われる	3	4	2	1	2	2	7	7
4 読解力が身につく	5	6	2	2	1	2	8	10
5 表現力が身につく	5	3	2	2	2	2	9	7
6 想像力が養われる	10	8	6	4	4	3	20	15
7 理論的な思考が身につく	3	0	0	0	2	3	5	3
8 感性が養われる	8	7	5	4	3	2	16	13
9 作文力が身につく	2	0	1	0	1	1	4	1
10 集中力が身につく	6	4	4	4	3	3	13	11
11 その他	0	1	0	1	0	0	0	2

9 公共図書館団体貸出の利用

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 利用したことがある	6	6	2	1	4	2	12	9
2 利用したことがない	5	4	4	5	0	1	9	10

9-2 利用しなかった理由

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 団体貸出しの制度を知らない	0	0	1	0	0	0	1	0
2 紛失や破損が心配だから	0	0	1	0	0	0	1	0
3 施設のある本で足りている	2	3	0	3	0	0	2	6
4 その他	3	1	1	1	0	0	4	2

10 学校図書館専任職員の有無

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 いる	0	0	3	1	1	0	4	1
2 いない	10	10	3	4	3	3	16	17

11 子どもの読書活動推進のために必要なこと

(1) 学校で必要なこと

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 先生がほめる・評価する	7	7	1	0	1	1	9	8
2 読書の時間の設定	11	10	6	5	3	2	20	17
3 読み聞かせ	8	9	1	2	1	0	10	11
4 「調べ学習」など図書館を使った学習の充実	10	7	4	2	3	3	17	12
5 学校図書館の蔵書や情報機器の充実	6	8	1	3	3	3	10	14
6 学校図書館の開放	4	4	4	2	0	1	8	7
7 ボランティアの受け入れなど、学校、家庭、地域の連携	6	6	4	3	0	1	10	10
8 学校図書館専任職員の配置	9	5	6	4	2	3	17	12
9 その他	1	1	0	0	0	0	1	1

(2) 家庭で必要なこと

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 子どもが本を読んだらほめる	4	5	0	2	1	1	5	8
2 本のことについて話をする	11	8	6	5	4	2	21	15
3 家に本をたくさん置く	4	3	3	3	3	1	10	7
4 家族が読書している姿を見せる	10	10	5	3	3	3	18	16
5 公共図書館に連れて行く	7	9	4	4	3	3	14	16
6 「おはなし会」などに参加する	6	6	1	1	0	1	7	8
7 本を買い与える	5	5	2	1	2	1	9	7
8 その他	1	0	0	1	0	0	1	1

(3)地域で必要なこと

(単位:校)

区分	小学校		中学校		高校		合計	
	H27	R2	H27	R2	H27	R2	H27	R2
1 公共図書館における児童生徒向け図書の充実	9	7	4	4	4	3	17	14
2 図書館以外の公共施設での図書の設置	3	2	2	1	2	1	7	4
3 図書館職員の充実	3	1	0	1	3	1	6	3
4 読み聞かせ会などの催し物の実施	8	8	3	1	1	2	12	11
5 ボランティアの養成・協力	7	1	3	1	2	1	12	3
6 読書に関するイベントの実施や広報活動	6	7	3	2	4	2	13	11
7 その他	2	1	0	1	0	0	2	2

(4) 認定こども園・保育所・放課後児童クラブ・子育て支援センター

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1.施設数	14施設	12施設	14施設	14施設	3施設	28施設	29施設
2.利用している子どもの人数	1,269人	1,084人	587人	588人	2,820人	1,856人	4,492人
3.図書購入費平均	19,786円	45,083円	4,571円	9,857円	9,653円	12,178円	21,531円
4.蔵書冊数平均	547冊	292冊	212冊	225冊	225冊	379冊	247冊

5 読み聞かせの実施

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 実施している	13	12	7	8	3	20	23
2 実施していない	0	0	5	6	0	5	6
3 検討中	1	0	2	0	0	3	0

6 読み聞かせ 一ヶ月の実施状況

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 毎日	13	11	0	0	0	13	11
2 1回～2回	0	0	2	1	1	2	2
3 3回～4回	0	0	2	2	0	2	2
4 5回～10回	0	0	0	0	0	0	0
5 10回以上	0	1	2	0	0	2	1
6 その他	0	0	1	5	2	1	7

6-2 読み聞かせ 実施の時間帯

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 子どもに「読んで」と言われたとき	0	2	2	1	0	2	3
2 活動の中で	4	8	4	3	1	8	12
3 時間を決めている	5	1	0	2	2	5	5
4 その他	4	1	1	2	0	5	3

6-3 読み聞かせ 市民ボランティアによる実施

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 実施している	1	2	3	2	0	4	4
2 実施していない	11	8	3	3	2	14	13
3 検討中	1	1	1	3	1	2	5

7 読み聞かせの効果

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 知識が増える	11	9	8	8	0	19	17
2 言葉を覚える	12	12	4	8	3	16	23
3 創造力が養われる	11	9	8	9	0	19	18
4 読解力が身につく	8	6	6	5	1	14	12
5 表現力が身につく	10	5	9	7	2	19	14
6 想像力が養われる	11	11	11	9	3	22	23
7 理論的な思考が身につく	1	2	1	2	0	2	4
8 感性が養われる	11	7	8	9	2	19	18
9 作文力が身につく	1	1	2	2	0	3	3
10 集中力が身につく	13	8	9	9	3	22	20
11 その他	2	1	1	2	0	3	3

8 施設配本の利用

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 利用したことがある	10	10	7	12	2	17	24
2 利用したことがない	3	2	6	2	1	9	5

8-2 利用しなかった理由

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 施設配本(団体貸出)の制度を知らない	2	1	3	0	0	5	1
2 紛失や破損が心配だから	0	0	0	2	0	0	2
3 施設のある本で足りている	1	1	3	0	1	4	2
4 その他	0	0	0	0	0	0	0

12 (1) 施設で必要なこと

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 先生がほめる・評価する	8	3	10	10	1	18	14
2 施設の図書の充実	12	9	12	9	1	24	19
3 おはなし会などの充実	6	1	8	9	1	14	11
4 ボランティアの受け入れなど、施設、家庭、地域の連携	4	1	6	8	0	10	9
5 保護者への情報提供	12	9	5	4	3	17	16
6 その他	3	3	4	1	0	7	4

12 ㉒)家庭で必要なこと

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 子どもが本を読んだらほめる	5	3	7	6	1	12	10
2 本のことについて話をする	7	8	10	11	2	17	21
3 家に本をたくさん置く	4	5	1	5	1	5	11
4 家族が読書している姿を見せる	10	7	9	11	2	19	20
5 図書館に連れて行く	7	7	11	11	1	18	19
6 「おはなし会」などに参加する	6	4	5	8	1	11	13
7 本を買い与える	1	1	4	2	1	5	4
8 その他	5	5	2	0	0	7	5

12 ㉓)地域で必要なこと

(単位:施設)

区分	認定こども園・幼稚園・保育所		児童クラブ		子育て支援センター	合計	
	H27	R2	H27	R2	R2	H27	R2
1 公共図書館における子ども向け図書の充実	12	12	10	8	3	22	23
2 施設配本(団体貸出)の充実	9	8	8	9	1	17	18
3 図書館職員の充実	1	0	3	1	0	4	1
4 読み聞かせ会などの催し物の実施	10	6	8	8	1	18	15
5 ボランティアの養成・協力	4	0	2	3	0	6	3
6 教育や読書に関する情報提供	9	4	8	5	3	17	12
7 その他	0	0	0	0	0	0	0

※子育て支援センターは、平成27年度にアンケート調査を実施していないため「H27」の結果表示がありません。

※回答比率は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、合計が100.0%にならない場合があります。

(5) 放課後時間の使い方

【小学校2年生】

平日1番	勉強	57.6%
	遊ぶ	11.8%
	テレビ	9.0%
	ゲーム	7.8%
	読書	5.9%
	動画・SNS	5.9%
	その他	1.6%
	計	99.6%

休日1番	勉強	27.8%
	遊ぶ	21.2%
	ゲーム	17.6%
	テレビ	11.4%
	動画・SNS	10.6%
	読書	5.9%
	その他	4.7%
	計	99.2%

平日2番	テレビ	24.7%
	遊ぶ	20.4%
	勉強	18.0%
	読書	13.3%
	ゲーム	13.3%
	動画・SNS	6.3%
	その他	3.1%
	計	99.2%

休日2番	テレビ	23.5%
	勉強	23.1%
	遊ぶ	16.9%
	ゲーム	14.1%
	動画・SNS	9.0%
	読書	6.7%
	その他	5.5%
	計	98.8%

平日3番	テレビ	26.7%
	遊ぶ	21.6%
	勉強	16.1%
	ゲーム	14.1%
	読書	10.6%
	動画・SNS	4.7%
	その他	4.7%
	計	98.4%

休日3番	遊ぶ	21.6%
	ゲーム	18.0%
	テレビ	17.6%
	勉強	12.2%
	動画・SNS	11.4%
	その他	9.4%
	読書	7.8%
	計	98.0%

【小学校5年生】

■ 平日

時間	1. 読書	2. 勉強	3. テレビ	4. 動画 SNS	5. ゲーム	6. 遊ぶ	7. 部活 スポ少	8. その他
1時間未満	11.0%	1.5%	3.4%	4.5%	4.5%	3.8%	0.0%	0.8%
1時間以上 ～2時間未満	51.9%	74.2%	40.2%	41.7%	48.5%	44.3%	9.1%	5.7%
2時間以上 ～3時間未満	6.8%	20.5%	28.8%	14.8%	20.5%	22.3%	55.3%	0.8%
3時間以上 ～4時間未満	1.1%	2.7%	11.4%	5.7%	5.7%	6.8%	10.6%	0.0%
4時間以上 ～5時間未満	0.0%	0.8%	5.7%	2.7%	1.5%	1.5%	0.0%	0.8%
5時間以上 ～6時間未満	0.0%	0.0%	1.9%	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
6時間以上 ～7時間未満	0.0%	0.0%	1.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8時間以上	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.4%
計	71.2%	99.6%	93.2%	70.5%	81.4%	79.5%	75.0%	8.3%

■ 休日

時間	1. 読書	2. 勉強	3. テレビ	4. 動画 SNS	5. ゲーム	6. 遊ぶ	7. 部活 スポ少	8. その他
1時間未満	6.1%	1.1%	1.5%	4.2%	1.9%	1.9%	0.0%	0.4%
1時間以上 ～2時間未満	45.5%	33.0%	22.3%	27.3%	24.2%	28.0%	3.8%	4.5%
2時間以上 ～3時間未満	16.7%	44.3%	24.6%	21.6%	33.3%	18.6%	33.3%	3.8%
3時間以上 ～4時間未満	3.4%	13.3%	17.8%	11.4%	14.0%	21.2%	22.7%	0.8%
4時間以上 ～5時間未満	1.9%	3.8%	9.8%	4.5%	6.1%	7.6%	4.2%	0.0%
5時間以上 ～6時間未満	0.4%	1.5%	8.0%	4.2%	4.2%	5.3%	1.9%	0.0%
6時間以上 ～7時間未満	0.0%	0.4%	4.9%	1.9%	2.7%	1.5%	0.4%	1.1%
8時間以上	0.8%	0.4%	4.5%	1.9%	1.1%	1.1%	0.0%	1.1%
計	74.6%	97.7%	93.6%	76.9%	87.5%	85.2%	66.3%	11.7%

【中学校2年生】

■ 平日

時間	1. 読書	2. 勉強	3. テレビ	4. 動画 SNS	5. ゲーム	6. 遊ぶ	7. 部活 スポ少	8. その他
1時間未満	16.2%	1.8%	7.0%	8.5%	8.5%	4.4%	0.0%	0.7%
1時間以上 ～2時間未満	35.1%	48.3%	42.8%	42.8%	38.0%	27.7%	2.6%	2.6%
2時間以上 ～3時間未満	3.0%	42.4%	18.8%	24.0%	14.4%	6.6%	73.4%	0.7%
3時間以上 ～4時間未満	0.4%	4.8%	10.3%	7.0%	3.7%	1.1%	22.1%	0.0%
4時間以上 ～5時間未満	0.0%	0.0%	0.7%	2.6%	1.1%	0.4%	1.1%	0.0%
5時間以上 ～6時間未満	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6時間以上 ～7時間未満	0.0%	0.7%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
8時間以上	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	1.1%
計	55.0%	98.9%	81.5%	85.2%	66.1%	40.2%	99.3%	5.5%

■ 休日

時間	1. 読書	2. 勉強	3. テレビ	4. 動画 SNS	5. ゲーム	6. 遊ぶ	7. 部活 スポ少	8. その他
1時間未満	11.4%	0.0%	3.0%	2.2%	4.1%	0.7%	0.0%	0.4%
1時間以上 ～2時間未満	30.6%	15.1%	25.1%	16.6%	21.4%	24.0%	0.4%	0.4%
2時間以上 ～3時間未満	7.4%	38.7%	31.4%	31.4%	21.8%	16.2%	16.2%	3.0%
3時間以上 ～4時間未満	4.1%	29.9%	15.9%	20.3%	14.8%	10.0%	53.1%	0.7%
4時間以上 ～5時間未満	0.4%	10.7%	7.4%	9.6%	7.4%	7.0%	15.1%	0.4%
5時間以上 ～6時間未満	0.4%	4.1%	7.7%	6.3%	2.6%	8.1%	4.1%	0.4%
6時間以上 ～7時間未満	0.4%	0.0%	3.7%	2.2%	1.5%	2.2%	1.8%	0.4%
8時間以上	0.4%	0.0%	1.1%	0.7%	1.1%	2.6%	0.0%	1.8%
計	55.0%	98.5%	95.2%	89.3%	74.5%	70.8%	90.8%	7.4%

【高校2年生】

■ 平日

時間	1. 読書	2. 勉強	3. テレビ	4. 動画 SNS	5. ゲーム	6. 遊ぶ	7. 部活 スポ少	8. その他
1時間未満	6.7%	4.2%	7.0%	4.2%	5.8%	2.2%	0.0%	0.6%
1時間以上 ～2時間未満	15.9%	41.2%	37.3%	32.9%	30.6%	14.2%	10.6%	2.5%
2時間以上 ～3時間未満	2.2%	33.7%	15.6%	32.9%	11.7%	5.8%	31.8%	0.6%
3時間以上 ～4時間未満	0.6%	7.0%	5.0%	13.4%	5.3%	1.4%	35.4%	0.0%
4時間以上 ～5時間未満	0.6%	0.3%	1.1%	4.7%	1.7%	0.8%	3.9%	0.6%
5時間以上 ～6時間未満	0.0%	0.3%	0.0%	3.1%	1.9%	0.0%	0.8%	0.0%
6時間以上 ～7時間未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	1.1%
8時間以上	0.6%	0.6%	0.3%	1.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
計	26.5%	87.2%	66.3%	93.0%	58.5%	24.5%	82.5%	5.3%

■ 休日

時間	1. 読書	2. 勉強	3. テレビ	4. 動画 SNS	5. ゲーム	6. 遊ぶ	7. 部活 スポ少	8. その他
1時間未満	5.0%	1.7%	3.3%	0.3%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%
1時間以上 ～2時間未満	20.1%	17.5%	23.7%	10.3%	17.8%	15.9%	1.7%	1.4%
2時間以上 ～3時間未満	5.8%	25.9%	21.7%	22.8%	17.0%	7.0%	7.2%	1.4%
3時間以上 ～4時間未満	2.8%	18.1%	13.9%	17.5%	12.8%	7.5%	30.1%	0.8%
4時間以上 ～5時間未満	0.3%	14.8%	6.4%	13.1%	5.3%	4.2%	16.4%	0.0%
5時間以上 ～6時間未満	0.6%	6.7%	3.3%	11.4%	6.4%	3.3%	1.7%	0.0%
6時間以上 ～7時間未満	0.0%	4.2%	3.1%	5.8%	1.9%	2.2%	1.7%	0.6%
8時間以上	0.6%	1.1%	0.3%	8.9%	2.8%	2.5%	4.5%	0.6%
計	35.1%	90.0%	75.8%	90.3%	65.2%	43.7%	63.2%	4.7%

2 関係法令

(1) 子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)

(法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。
(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。
(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。
(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

(2) 秋田県民の読書活動の推進に関する条例

平成二十二年三月三十日

秋田県条例第二十五号

(目的)

第一条 この条例は、県民の読書活動の推進に関し、基本理念を定め、県の責務を明らかにするとともに、県民の読書活動の推進に関する施策の基本的な事項を定めることにより、県民の読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって県民一人ひとりの心豊かな生活と活力ある社会の実現に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 読書活動は、県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的で豊かな社会の構築に寄与するものであることにかんがみ、すべての県民が読書活動を容易に行うことができるよう、そのための環境の整備が積極的に推進されなければならない。

(県の責務)

第三条 県は、前条に定める基本理念にのっとり、県民の読書活動の推進に関する総合的な施策を策定し、及び実施するものとする。

(県民読書活動推進基本計画)

第四条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県民の読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「基本計画」という。)を策定するものとする。

2 県は、毎年、基本計画により実施した施策を議会に報告するものとする。

3 県は、必要があると認めるときは、基本計画を変更するものとする。

(財政上の措置等)

第五条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策を実施するために必要な財政上の措置その他の措置を講ずるものとする。

(関係機関等との連携)

第六条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、市町村が設置する学校又は図書館その他の関係機関及び民間団体との連携に努めるものとする。

(委任)

第七条 この条例の施行に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、平成二十二年四月一日から施行する。

(3) 湯沢市子ども読書活動推進計画策定会議要綱

平成27年4月24日

教育委員会告示第7号

改正 平成28年3月24日教委告示第12号

平成30年3月29日教委告示第7号

令和2年4月1日教委告示第12号

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項の規定に基づき、湯沢市子ども読書活動推進計画（以下「読書活動推進計画」という。）を策定するため、湯沢市子ども読書活動推進計画策定会議（以下「策定会議」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 策定会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 読書活動推進計画の策定（以下「計画の策定」という。）に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、計画の策定に関し必要な事項

(組織)

第3条 策定会議は、別表第1に掲げる会長、副会長及び委員をもって組織し、湯沢市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が任命する。

- 2 会長は、策定会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 策定会議の会議は、会長が招集し、会議の議長となる。

- 2 策定会議は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(作業部会)

第5条 策定会議が指示した事項を処理し、専門的な事項を調査、研究及び検討するため、策定会議に作業部会を置く。

- 2 作業部会は、別表第2に掲げる部会長及び委員をもって組織し、教育委員会が委嘱又は任命する。
- 3 部会長は、作業部会を代表し、会務を総理する。
- 4 部会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。
- 5 作業部会の会議は、部会長が招集し、会議の議長となる。
- 6 作業部会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(任期)

第6条 策定会議の会長、副会長及び委員並びに作業部会の部会長及び委員の任期は、計画の策定の日までとする。

(庶務)

第7条 策定会議及び作業部会の庶務は、教育委員会事務局教育部生涯学習課及び湯沢図書館において処理する。

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、策定会議の運営に関し必要な事項は、会長が策定会議に諮って定める。

附 則

この告示は、平成27年4月24日から施行する。

附 則（平成28年3月24日教委告示第12号）

この告示は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月29日教委告示第7号）

この告示は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日教委告示第12号）

この告示は、令和2年4月1日から施行する。

3 湯沢市子ども読書活動推進計画策定会議名簿

(R2.6.29現在)

策定会議委員

No.	役職	要綱規定	職名	氏名
1	会長	教育部長	教育部長	佐藤 司
2	副会長	生涯学習課長	課長	藤山 英信
3	委員	子ども未来課長	課長	菅原 知子
4	委員	学校教育課長	課長	寺田 玲子
5	委員	作業部会長（湯沢図書館長）	館長	高山 見美子

作業部会委員

No.	役職	要綱規定	職名	氏名
1	部会長	湯沢図書館長	館長	高山 見美子
2	委員	子ども未来課 児童福祉班長	班長	佐藤 美奈子
3	委員	子ども未来課 子ども子育て応援班長	班長	吉田 典子
4	委員	子ども未来課 子育て支援総合センター長	センター長	佐藤 孝子
5	委員	学校教育課指導班 指導主事	主幹（指導主事）	山田 わかば
6	委員	市内小・中学校教諭代表	三関小学校教諭	伊藤 潤子
7	委員	市内小・中学校教諭代表	稲川中学校教諭	高橋 美奈子

庶務

No.	課所名	職名	氏名
1	生涯学習課社会教育班	班長	谷藤 真希子
2	同上	主任	藤原 裕希子
3	湯沢図書館	主幹	鈴木 裕子
4	同上	主幹	高岡 誠
5	同上	主査	沓澤 直子

湯沢市子ども読書活動推進計画
(令和3年度～令和7年度)

〒012-8501 湯沢市佐竹町1番1号
湯沢市教育委員会事務局教育部生涯学習課
電話 0183-73-2163 FAX 0183-72-8515

表紙イラスト：西村 祥子